

資料1

取扱注意

東日本大震災・原子力災害アーカイブ拠点施設

展示基本構成（詳細）

2019年1月

福島県

展示基本構成(詳細) INDEX

A 1. プロローグ		P3
A 2. 災害の始まり～安全神話の崩壊～	A 2-1. 事故前の暮らし	P12
	A 2-2. 東日本大震災～地震と津波の記録～	P17
	A 2-3. 原子力発電所事故の発生	P22
	A 2-4. 災害対策本部の記録	P28
A 3. 原子力発電所事故直後の対応	A 3-1. 避難の開始	P36
	A 3-2. 県内に広がる不安	P41
	A 3-3. 国内外の反応と支援	P49
A 4. 県民の想い		P54
A 5. 長期化する原子力災害への対応	A 5-1. 風評の払拭	P66
	A 5-2. 除染の取り組み	P70
	A 5-3. 長期避難に対する取り組み	P78
	A 5-4. 健康不安に対する取り組み	P81
A 6. 復興への挑戦	A 6-1. 行政による復興への取り組み	P88
	A 6-2. 廃炉の今	P91
	A 6-3. 福島イノベーション・コースト構想の取り組み	P94
	A 6-4. 12市町村の復興への取り組み	P97
	A 6-5. みらいの街	P99
	A 6-6. 県民による復興への取り組み (チャレンジ!ふくしま)	P101
A 7. 企業ブース・情報検索コーナー		P104

A1. プロローグ



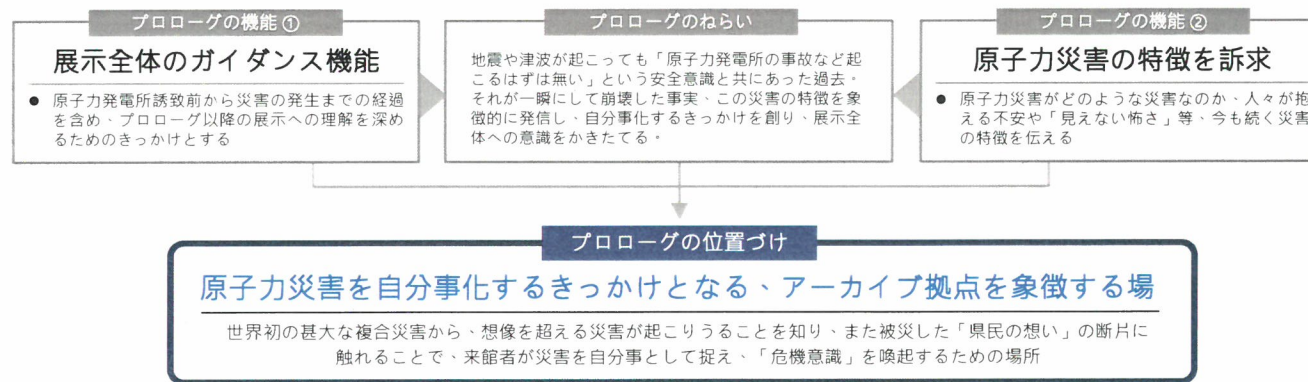
大項目: A1 プロローグ	小項目: A1-1 導入映像	アイテム: 導入映像	工種: 映像 7面マルチモニター
---------------	----------------	------------	------------------

【コンテンツ仕様】 プロジェクター7台、映像再生パソコン2台、通常待機と本編ループ再生、リモコンによって本編強制スタート

展示のねらい 原子力発電所と生活を共にし、その安全性を信頼してきた人々。しかし、それまでの安全神話が3.11の震災をきっかけに瞬間のうちに崩壊した。予想していなかった災害がある日突然襲いかかり、これまで経験したことのない事態に、手探りで対応した住民や行政。プロローグ映像では、日常が突然災害により一変するということを、意識させるきっかけをつくる。そしてこれから見学する展示全体を通して、この災害の「自分事化」のファーストステップとして、ガイダンスの役割を担う。

プロローグ (導入シアター) について

■プロローグの位置づけ



■展開のポイント

1 アーカイブ拠点を象徴する展示・空間構成

- 1階の展示エントランスに入ってすぐの吹き抜け全体を演出空間としたプロローグ (導入シアター) とする
- 原子力発電所誘致前から災害の始まり、その後の混乱までをタイムラインに沿って展開し、原子力災害の特徴を含め災害への理解を深めるきっかけとする
- 「事故前の日常」や「原子力災害のさまざまな側面」、そして「県民それぞれの想い」といった「記録」と「記憶」を埋もれさせることなく、伝えていくことができる演出空間とする

2 災害を自分事として認識するための演出

- シームレスの大型のスクリーンではなく、空間を覆うように複数のスクリーンを設け、床面を含めて映像投影・照明演出を行い、立体的な効果を創出する
- 来館者が映像に包まれるような没入感、臨場感の高い演出とすることで、被災者が体験してきたことを同じ目線で伝え、災害を自分事として受け入れてもらう
- ナレーションや解説を極力少なくし、事実を淡々と伝えていくことで来館者の気づきを促す

3 展示エリアへとスムーズに誘うアプローチ

- 60名以上の来館者が待機時間なくプロローグ (導入シアター) に入れる十分なスペースを確保する
- 映像観覧スペースの周囲に、2階展示エリアへと続くスロープを設け、その途中に原子力発電所誘致前から復興への挑戦までの「記録」と「記憶」の断片を伝えるアーカイブ展示を設け、展示全体のインデックスとする
- 演出空間となるスロープを設けることで、来館者をゆるやかに展示室へと誘導し、大勢が一気に展示室エリアになだれ込むことを避ける

コメント

大項目: A1 プロローグ	小項目: A1-1 導入映像	アイテム: 導入映像	工種: 映像 7面マルチモニター
---------------	----------------	------------	------------------

【コンテンツ仕様】 プロジェクター7台、映像再生パソコン2台、通常待機と本編ループ再生、リモコンによって本編強制スタート

展示のねらい 原子力発電所と生活を共にし、その安全性を信頼してきた人々。しかし、それまでの安全神話が3.11の震災をきっかけに一瞬のうちに崩壊した。予想していなかった災害がある日突然襲いかかり、これまで経験したことのない事態に、手探りで対応した住民や行政。プロローグ映像では、日常が突然災害により一変するということ、意識させるきっかけをつくる。そしてこれから見学する展示全体を通して、この災害の「自分事化」のファーストステップとして、ガイダンスの役割を担う。

プロローグ (導入シアター) 構成案 映像の流れ

① 今の福島

○福島本来の美しさ

「うつくしまふくしま」を体現する美しい自然と、人々の生き生きとした生活から映像はスタート。

【映像内容 (仮)】

相馬野馬追から映像は始まり、ドローンを駆使した迫力のマルチ映像演出。
 撮影予定
 会津地方 騎梯山・猪苗代湖
 中通り地方 半田自然公園、高柴山つつじ、乙字ヶ滝
 浜通り地方 松川浦、塩屋崎灯台等



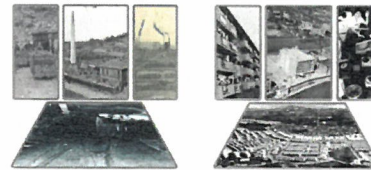
② 福島の歴史とエネルギー変遷

○福島に原子力発電所ができた理由

戦前・戦後と福島は林業や石炭業で日本の経済を支えていた。
 また、福島県は国が進める原子力発電の政策を受け入れ、建設を着工。
 地元に必要な雇用を生み出した。

【映像内容】

戦前戦後の福島の産業を当時の資料や坑道内部をイメージさせる映像で構成します。



③ 原子力発電所と町と住民の共存共栄の様子

○原子力発電所の完成と事故前の町

原子力発電所の電気は東京に送られる。
 そして住民との共存の日々。
 そこには明るい未来を信じ、笑顔あふれる暮らしがあった。

【映像内容】

資料映像を中心に構成。
 建築中の原子力発電所や、原子力発電所が完成した当時の様子
 また、人々の笑顔や暮らしを素材を使い紹介します。
 * 例「明るい未来...」の看板。アトムまんじゅう



④ 3.11

○3.11を体感する

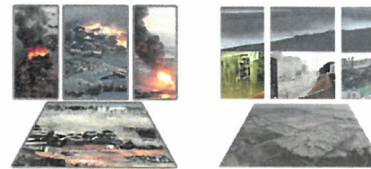
誰も経験したことが無い巨大地震
 30分後の津波の始まりは地震からだった。

原子力発電所も全交流電源喪失!
 たたみかけるような恐怖感が襲う...

【映像内容】

地震から原子力発電所建屋の水素爆発までを、まるでここで見ているかのような臨場感あふれる全画面マルチスクリーンで表現します。

全てを素材編集で構成するのでは無く、地震の揺れ感、緊急停止後の原子力発電所内での混乱の様子、画面に向かい襲ってくる巨大津波など、災害の始まりを体感的迫力を重視して構成します。



コメント

大項目: A1 プロローグ	小項目: A1-1 導入映像	アイテム: 導入映像	工種: 映像 7面マルチモニター
---------------	----------------	------------	------------------

【コンテンツ仕様】 プロジェクター7台、映像再生パソコン2台、通常待機と本編ループ再生、リモコンによって本編強制スタート

展示のねらい 原子力発電所と生活を共にし、その安全性を信頼してきた人々。しかし、それまでの安全神話が3.11の震災をきっかけに一瞬のうちに崩壊した。予想していなかった災害がある日突然襲いかかり、これまで経験したことのない事態に、手探りで対応した住民や行政。プロローグ映像では、日常が突然災害により一変するということを、意識させるきっかけをつくる。そしてこれから見学する展示全体を通して、この災害の「自分事化」のファーストステップとして、ガイダンスの役割を担う。

プロローグ (導入シアター) 構成案

⑤ 原子力発電所爆発～避難

○避難時の不安感を映像化

大気中に放出される放射性物質。
暗闇の中の移動・搬送される病院の患者。
避難先では避難者がスクリーニング検査を受ける。
避難場所を転々と変えられ
先の見えない不安を抱く。

【映像内容】

当時の素材を交え、避難する方々の目線イメージカット(主観映像)も挿入することで、避難時の困難さを追体験していただきます。
目線イメージとしては、スクリーニング検査を受ける避難者の様子や、避難者の見た町等、主観映像を入れる事で、だれでも日常の中から災害という非日常に巻き込まれる可能性がある事を示唆します。



⑥ 避難を余儀なくされた町

○事故後の町

避難直後から、数年経過した町のイメージ。
残された動物たち。いわれもない風評。
観光客のキャンセルが増え、地元の観光産業、農業は大打撃を受ける。

【映像内容】

県民を苦しめる原子力災害特有の長期にわたる避難生活や風評、人が住めなくなることの恐怖感を描きます。
人がいない町や、耕作されなくなった畑など



⑦ 除染～廃炉へ

○未来への予感

避難生活が長期化しているが、同時に除染作業や廃炉作業も進み、住民は順次帰還を開始。
復興へ向かう明るい兆しを見せる。

【映像内容】

長期化する避難生活、除染作業、廃炉作業、避難解除に伴う住民の帰還に関する映像を組み合わせ、徐々に復興へ向かっていく様子を表現します。



コメント

大項目: A1 プロローグ	小項目: A1-1 導入映像	アイテム: 導入映像	工種: 映像 7面マルチモニター
---------------	----------------	------------	------------------

【コンテンツ仕様】 プロジェクター7台、映像再生パソコン2台、通常待機と本編ループ再生、リモコンによって本編強制スタート

展示のねらい 原子力発電所と生活を共にし、その安全性を信頼してきた人々。しかし、それまでの安全神話が3.11の震災をきっかけに一瞬のうちに崩壊した。予想していなかった災害がある日突然襲いかかり、これまで経験したことのない事態に、手探りで対応した住民や行政。プロローグ映像では、日常が突然災害により一変するということ、意識させるきっかけをつくる。そしてこれから見学する展示全体を通して、この災害の「自分事化」のファーストステップとして、ガイダンスの役割を担う。

プロローグ (導入シアター) シナリオ案

※エンディングは除染・廃炉作業が始まり、一部住民の帰還が進みだした事を描きます。

■P-1

visual	image	caption	comment
○オープニング【30"/30"】 7面マルチ映像の活かした 迫力ある映像 地球から日本→福島へ			BGM♪
福島の良い自然 CGの光が マルチの中を 飛び全体を輝かせる		撮影予定 会津地方 磐梯山・猪苗代湖 中通り地方 半田自然公園、高梁山つつじ 乙子ヶ滝 浜通り地方 松川浦、塩屋崎灯台等	
猪苗代湖 タイムラプス で夜から朝へ そこで映像がスタート		撮影実施 猪苗代湖タイムラプス映像	
三春滝桜 春をイメージ 五色沼・三の倉高原花畑 夏をイメージ 磐梯吾妻スカイライン の紅葉 *ドローン撮影		撮影予定 中通り地方 三春滝桜の実景 会津地方 五色沼の実景(撮影) 浜通り地方 いわき芝山公園	

■P-2

visual	image	caption	comment
雪の大内宿 冬をイメージ			撮影予定 会津地方 大内宿の実景(冬)
福島の良い自然 から一転 野馬追の迫力ある映像 県民のエネルギーな姿 を表現 そして暗転 シアターが暗くなる		撮影予定 浜通り地方 相馬野馬追	
○原子力発電所建設前の 地域の状況 【50"/120"】 暗闇を撮るつるはし イメージカット・新規撮影 3面マルチ 下面面は坑道の中 移動ショット		明治時代 撮影実施 炭鉱跡・ほるるの再現坑道など検討	(ツルハシの音) カンカンカン... (NA) 時は明治時代 福島県浜通りは、 大規模な炭鉱開発が 行われました。
常磐炭田 内務館中央選炭工場 下面面当時の常磐炭 田 当時の写真を疑似3D 当時の掘削の様子 当時の素材を使いながら 下面面は引き継ぎ 常磐炭田当時の写真		常磐炭田 開発 当時の写真素材・使用許諾 ※想定許諾先-いわき市石炭・化石館	常磐炭田は、第二次世 界大戦前、首都・東京 に近い鉱工業地帯とし て大いに発展しました。

コメント

大項目: A1 プロローグ	小項目: A1-1 導入映像	アイテム: 導入映像	工種: 映像 7面マルチモニター
---------------	----------------	------------	------------------

【コンテンツ仕様】 プロジェクター7台、映像再生パソコン2台、通常待機と本編ループ再生、リモコンによって本編強制スタート

原子力発電所と生活を共にし、その安全性を信頼してきた人々。しかし、それまでの安全神話が3.11の震災をきっかけに一瞬のうちに崩壊した。予想していなかった災害がある日突然襲いかかり、これまで経験したことのない事態に、手探りで対応した住民や行政。プロローグ映像では、日常が突然災害により一変するという点を、意識させるきっかけをつくる。そしてこれから見学する展示全体を通して、この災害の「自分事化」のファーストステップとして、ガイドンスの役割を担う。

■P-3				■P-4				コメント
visual	image	caption	comment	visual	image	caption	comment	
高度経済成長期の素材をテンポ良く (素材例)ラッシュアワー 東京の人混み・渋滞 建設ラッシュ 高度経済成長に伴う国のエネルギー転換 石油をイメージさせる 当時の素材 タンカー 車社会		1950年代 高度経済成長期の日本 エネルギーは 石炭から石油へ...	(NA) しかし戦後になると エネルギーの中心 は石炭から石油へ。	発展した東京の町並み、夜景 ラッシュの人々 原子力発電所と県民生活が 共存している様子 (例)第一原発 展示ホール 第二原発 エネルギー館			(NA) 東京・日本の発展を支えて きました。 また、福島も原子力発電所 と共存しながら発展してき ました。	
炭鉱の廃坑 新聞の見出しを画面中に コラージュ 当時の写真			時代の波とともに常 磐炭田は閉鎖	街の様子から、人々の暮らしを 中心にした素材 豊かな自然 学校や商店街 日常の人々の姿 農業・漁業等の産業 に従事する人々			福島県は、東西に広く、阿武隈 高地と奥羽山脈によって3つの 地方に分けられます。 豊かな大自然と歴史が魅力の 会津地方。美しい花々と果実 栽培が盛んな中通り地方。漁 業の賑わいと海沿いの開放的 な雰囲気を持つ浜通り地方と その特徴も異なります。	
○原子力発電所建設 【40"2'00"】 福島第一原子力発電所 誘致当時の映像 福島原子力発電所の着工の様子 当時の映像		新しいエネルギー、原子力。 1960年 福島県 原子力発電所の設置計画	電力ニーズの急増に 対し、新しいエネル ギーとして注目され たのが原子力でした。 国が進める原子力の 政策の下、1960年福 島県でも原子力発電 所の設置計画が策定 されました。	伝統工芸～匠の技 三春駒 会津塗 日本甲冑		伝統工芸	各地の豊かな自然の中 で育まれた伝統。 ここには生き生きとした 暮らしが満ちあふれて いました。	
工場の様子 軽水炉		1967年 着工	1967年、原子力発 電所の建設が始まり、 地元へ大きな雇用を 生み出しました。	暮らしに忍び寄る影 事故へのカウントダウン 色々な時計が象徴的に 登場			(SE・時計の音) チッチッチ...	
原子力発電所 の完成 完成直後の外観 テープカットなどの オープンセレモニー 運転の様子 *福島で作られていた 電気の流れの地図		1971年3月26日、 福島第一原子力発電所1号機 運転開始。 総電気出力4,696MW、 首都圏の電源供給基地	1971年3月26日、 福島第一原子力発電 所1号機の運転が始 まりました。ここで作ら れた電気は首都圏に 送られ、	ブラックアウト			(SE・時計の音) 時計の音がとまる	

大項目: A1 プロローグ	小項目: A1-1 導入映像	アイテム: 導入映像	工種: 映像 7面マルチモニター
---------------	----------------	------------	------------------

【コンテンツ仕様】 プロジェクター7台、映像再生パソコン2台、通常待機と本編ループ再生、リモコンによって本編強制スタート

展示のねらい 原子力発電所と生活を共にし、その安全性を信頼してきた人々。しかし、それまでの安全神話が3.11の震災をきっかけに一瞬のうちに崩壊した。予想していなかった災害がある日突然襲いかかり、これまで経験したことのない事態に、手探りで対応した住民や行政。プロローグ映像では、日常が突然災害により一変するということを、意識させるきっかけをつくる。そしてこれから見学する展示全体を通して、この災害の「自分事化」のファーストステップとして、ガイドンスの役割を担う。

■P-5

visual	image	caption	comment
<p>○地震～津波～原子力発電所事故～避難【80"/420"】</p> <p>地震の素材で構成</p> <p>*テンボ良く構成 まずは強烈な地震が襲った</p> <p>全画面で表現 *荒れた画面で臨場感</p>		<p>2011年3月11日、14時46分、東北地方太平洋沖地震発生</p> <p>地震・津波・原発事故/映像素材・使用許諾 想定許諾先—福島県内テレビ局、その他キー局、通信社等</p>	<p>(衝撃音) (ニュース素材) *音も使いその臨場感を演出</p> <p>(NA) 2011年3月11日、14時46分、東北地方太平洋沖地震発生。</p>
<p>地震の被害がわかるような素材(県内各所)</p> <p>家具などが倒れた室内マルチ画面</p>		<p>マグニチュード9.0</p> <p>地震の様子/映像素材・使用許諾 想定許諾先—福島県内テレビ局、その他キー局、通信社等</p>	<p>地震の規模はマグニチュード9.0。日本の観測史上最大規模の地震でした。</p>
<p>緊急停止した原子力発電所の地震直後の混乱の様子</p> <p>原子力発電所外観</p>		<p>福島第一原子力発電所運転中だった1号機、2号機、3号機は緊急停止</p> <p>原発内部職員の様子/映像素材・使用許諾 想定許諾先—福島県内テレビ局、その他キー局、通信社等</p>	<p>発生後、福島第一原子力発電所運転中だった1号機、2号機、3号機は緊急停止。</p>
<p>津波の素材様々な角度で津波が県内各地、原子力発電所を襲う様子</p>		<p>地震の約50分後、福島県沿岸部に高さ約13メートルの津波到来</p> <p>津波の状況・原発への浸水/映像素材・使用許諾 想定許諾先—福島県内テレビ局、その他キー局、通信社等</p>	<p>そして約50分後、高さ約13メートルの津波が発電所を襲います。</p> <p>*波の高さはTEPCOHPより引用</p>
<p>原子力発電所建屋の水素爆発の素材</p> <p>*映像使用許諾確認中</p>	Photo	<p>3月12日15時36分1号機原子炉建屋の水素爆発が発生</p> <p>3月14日11時1分3号機原子炉建屋の水素爆発が発生</p> <p>3月15日6時頃4号機の原子炉建屋も水素爆発が発生する</p> <p>建屋の水素爆発/映像素材・使用許諾 想定許諾先—福島中央テレビ</p>	<p>翌12日、1号機原子炉建屋の水素爆発が発生。</p> <p>さらに3号機、4号機の原子炉建屋も水素爆発。</p> <p>(衝撃音)</p>

■P-6

visual	image	caption	comment
<p>事故直後の町の様子</p> <p>事故直後の素材</p>		<p>3月11日 原子力緊急事態宣言発令</p> <p>20時50分、2キロ圏内 避難指示 発令</p> <p>事故直後の町の様子/映像素材・使用許諾 想定許諾先—福島県内テレビ局</p>	<p>(NA) 政府は史上初めてとなる原子力緊急事態宣言を発令。</p> <p>20時50分、福島県が2キロ圏内に避難指示を発令しました。</p>
<p>直後に避難する人々混乱の様子</p>		<p>避難者数は16万人を超えた。</p> <p>事故直後の避難の様子/映像素材・使用許諾 想定許諾先—福島県内テレビ局</p>	<p>避難者数は16万人を超えました。</p>
<p>拡散する放射性物質その上に避難指示推移地図も見える</p> <p>放射性物質の動きCG</p> <p>*素材によっては新規制作</p>		<p>放射線に対する不安</p> <p>編集にて作成 放射性物質拡散のCG</p>	<p>大気中には放射性物質が放出され、目に見えない放射線に対する不安を抱えながら、住民は避難を強いられました。</p>
<p>困難を極めた避難声をオフコメで構成</p> <p>避難所での生活の様子</p>		<p>避難所の様子/映像素材・使用許諾 想定許諾先—福島県内テレビ局</p>	<p>(インタビューコラージュ) 「ただ、不安でした」「いつ帰れるのか」「友達もバラバラに...」</p> <p>*等々</p>
<p>残された動物など避難直後の様子</p> <p>避難を余儀なくされた町・家の素材</p>		<p>避難後の街の風景/映像素材・使用許諾 想定許諾先—福島県内テレビ局</p>	<p>巨大地震と原子力発電所の事故により奪われた日常生活。</p>

コメント

大項目: A1 プロローグ	小項目: A1-1 導入映像	アイテム: 導入映像	工種: 映像 7面マルチモニター
---------------	----------------	------------	------------------

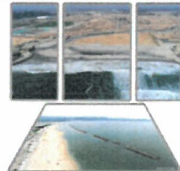

【コンテンツ仕様】 プロジェクター7台、映像再生パソコン2台、通常待機と本編ループ再生、リモコンによって本編強制スタート

展示のねらい 原子力発電所と生活を共にし、その安全性を信頼してきた人々。しかし、それまでの安全神話が3.11の震災をきっかけに一瞬のうちに崩壊した。予想していなかった災害がある日突然襲いかかり、これまで経験したことのない事態に、手探りで対応した住民や行政。プロローグ映像では、日常が突然災害により一変するということを、意識させるきっかけをつくる。そしてこれから見学する展示全体を通して、この災害の「自分事化」のファーストステップとして、ガイダンスの役割を担う。

■P-7

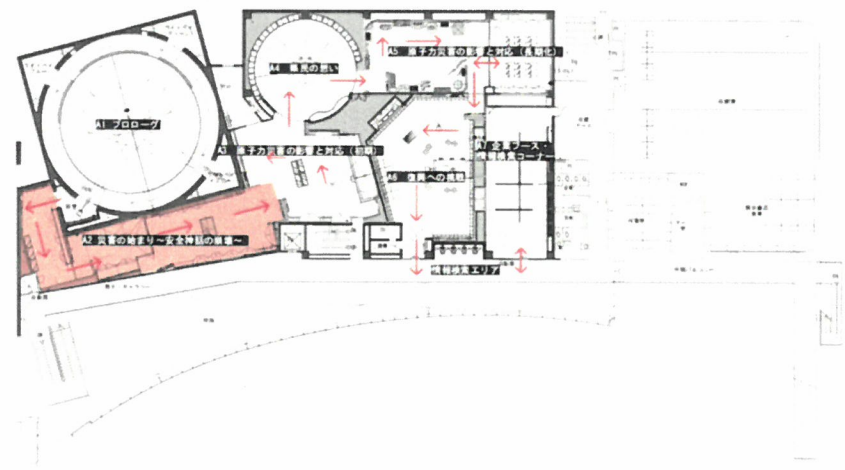
visual	image	caption	comment
<p>○風評被害～除染～帰還【60"/520"】</p> <p>新規撮影 タイムラプスなどギミックで</p> <p>＊ドローン撮影も使用 1画面で見せる</p>		<p>(NA)</p> <p>避難指示が出された町は静けさに包まれていました。</p> <p>荒れた町の様子／映像素材・使用許諾 想定許諾先—福島県内テレビ局</p>	
<p>県内外への避難 ＊福島県内避難、県外避難を地図等で表示</p> <p>＊仮設住宅の様子</p> <p>風評 ＊米の全量全袋検査の様子</p> <p>余震の不安、自粛のムード、放射線への不安による観光客の激減</p>		<p>(NA)</p> <p>やがて住民は県内・県外へ、住み慣れた土地から、戸惑いながら離れなければならなくなりました。そして風評による観光客の減少など、様々な影響を及ぼしました。</p> <p>全量全袋検査等／映像素材・使用許諾 想定許諾先—福島県内テレビ局</p>	
<p>除染の取り組み</p> <p>＊放射線量の低減を空間線量率マップで表現</p> <p>＊除染完了、未完了地域をマップで表現</p>		<p>除染の取り組み</p> <p>放射線量の低減</p> <p>除染の状況／映像素材・使用許諾 想定許諾先—福島県内テレビ局</p>	<p>一方事故後から現在まで、放射線量の低減に向けて除染作業が行われています。</p> <p>完了した地域や、今もなお作業が進められている地域があります。</p>
<p>原子力発電所の廃炉に向けての作業は進む</p> <p>タイムラプスなどのギミックを使い時間の動きなども表現します</p> <p>廃炉作業の様子 ＊新規撮影</p>		<p>廃炉に向けて作業は続く</p> <p>廃炉作業の様子／映像素材・使用許諾 想定許諾先—福島県内テレビ局、その他キー局、通信社等</p>	<p>福島第一原子力発電所では廃炉に向けての作業が着実に進められています。</p>
<p>学校では子供の笑顔が再び集う</p> <p>家への帰還の様子の素材</p> <p>帰宅した住民</p>		<p>住民の帰還が一步步進む。</p> <p>帰還した子供たちの様子／映像素材・使用許諾 想定許諾先—福島県内テレビ局</p>	<p>(SE・時計の音) チツチツツ...</p> <p>そして、避難指示の解除とともに住民の帰還が一步步進んでいます。</p>

■P-8

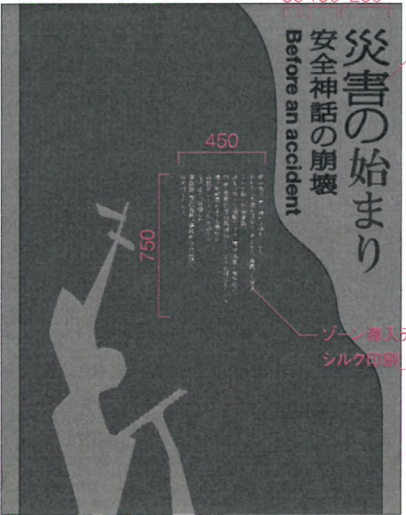
visual	image	caption	comment
<p>浜通りの自然や復興の様子をドローンで撮影</p> <p>＊オープニングにも重なる</p>		<p>福島から新しい世界へ挑戦。</p>	<p>福島の復興・挑戦は始まっています。</p> <p>撮影実施 復興する浜通り 防潮堤 Jヴィレッジ ロボットテストフィールド等</p>
<p>END</p>			<p>ここが「みらい」へのゲートウェイ。</p>

コメント


A 2. 災害の始まり～安全神話の崩壊～



No. G2-0-1	項目名 災害の始まり ゾーン導入	種類 ゾーン解説	中項目 A2-0 ゾーンサイン&イントロ	大項目 A2 災害の始まり～安全神話の崩壊
---------------	---------------------	-------------	-------------------------	--------------------------

 <p>※デザインは参考イメージです。</p>	<p>ねらい</p> <p>原子力災害の前の平穏な暮らし、その当たり前の日常を一変させた“地震”と“津波”、それに続く原子力発電所事故。誰もが初めて経験するこの複合災害の発生時に、国・県・市町村等行政組織、民間事業者等がどのように対応したのか、青天の霹靂のような事態に県民はどのような気持ちで受け止め、行動したのか。事故前、事故当時、事故直後の記録を時系列でたどり、様々な資料、証言、事故調査の記録から、原子力発電所事故の始まりを克明に描き出していく。</p>	コメント
	<p>仕様</p> <p>ゾーンサイン: LEDバックライトチャンネル文字 ゾーン導入テキスト:シルク印刷 白</p>	
	<p>サイズ</p> <p>ゾーンサイン: 日(大)W250/日(小)W150/英W8C ゾーン導入テキスト:約W450×H750</p>	
解説文(案)	<p>展示内容</p> <p>A2-0 ゾーンサイン&イントロ A2-1 事故前の暮らし A2-2 東日本大震災～地震と津波の記録 A2-3 原発事故の発生 A2-4 災害対策本部の記録</p> <p>備考</p>	

No. G2-1	項目名 事故前の暮らし コーナー導入	種類 コーナー解説	中項目 A2-1 事故前の暮らし	大項目 A2 災害の始まり～安全神話の崩壊
-------------	-----------------------	--------------	---------------------	--------------------------

 <p>※デザインは参考イメージです。</p>	ねらい	コメント
	仕様	
	サイズ	
解説文(案)	展示内容	備考

ねらい

事故で失われる前の原子力発電所周辺の暮らしはどのようなものだったのか？祭りや行事、学校生活、商店の賑わい、地元の経済を支えていた各種産業など、日常をかたちづけていたものごとを記録や証言を通し、描き出す。来館者には「ああ、本当に普通の暮らしがここにはあったのだな」ということを伝え、また当事者の方々には「そう、このように私たちの普通の暮らしがここにはあった」と、思い起こしてもらうなど、来館者に共感してもらえる展示を行う。

仕様

シルク印刷 白

サイズ

約 W1000×H510

- 展示内容
- A2-1-0 ○証言映像
 - A2-1-1 ○原発事故はここで起こった(地図解説)
 - A2-1-2 ○祭事・行事・地域の日常を示す映像
 - 事故前の原発立地周辺の産業に関する情報(解説)
 - 実物資料
 - ・学校生活に関する実物資料
 - ・地域の伝統(行事、祭り)を伝える実物資料
 - A2-1-3 ○原発と地域社会(解説)
 - 実物資料
 - ・原発のPR、地域との関係に関わる資料

大項目:A2 災害の始まり～安全神話の崩壊～

小項目:A2-1 事故前の暮らし

展示区分:実物資料

資料区分:日常生活の様子が伝わる資料

資料区分理由:事故の前「普通の暮らしがここにはあった」と、思い起こし、失われたものを通し被災者の思いを「自分の身近な出来事」ととらえるきっかけとなる資料。

A2-1事故前の暮らし

事故で失われる前の原子力発電所周辺の暮らしはどのようなものだったのか？祭りや行事、学校生活、商店の賑わい、地元の経済を支えていた各種産業など、日常をかたちづけていたものごとを記録や証言を通し、描き出す。来館者には「ああ、本当に普通の暮らしがここにはあったのだな」ということを伝え、また当事者の方々には「そう、このように私たちの普通の暮らしがここにはあった」と、思い起こしてもらおうなど、来館者に共感してもらえる展示を行う。

展示位置



・コメント

※実物資料候補については、未収集のものを含まず。収集可否の確認を含めて調整のため、確定ではありません。

ゾーン NO.	A2-1 事故前の暮らし 001	ゾーン NO.	A2-1 事故前の暮らし 002	ゾーン NO.	A2-1 事故前の暮らし 003	ゾーン NO.	A2-1 事故前の暮らし 004
資料名	・○○○○○○○出場旗	資料名	・○○高校硬式球	資料名	・学童ヘルメット	資料名	・表彰状マーチングバンド銀賞
寸法W・H	500 × 900	寸法W・H	73φ	寸法W・H	500 × 900	寸法W・H	266 × 390
保全・収集	○○○	保全・収集	○○○	保全・収集	○○○	保全・収集	○○○
出典・備考	※除染等作業中収集した品を返却のため公開展示中	出典・備考	※除染等作業中収集した品を返却のため公開展示中	出典・備考	※除染等作業中収集した品を返却のため公開展示中	出典・備考	※除染等作業中収集した品を返却のため公開展示中

ゾーン NO.	A2-1 事故前の暮らし 005	ゾーン NO.	A2-1 事故前の暮らし 006	ゾーン NO.	A2-1 事故前の暮らし 007	ゾーン NO.	A2-1 事故前の暮らし 008
資料名	・双葉駅時刻表(JR双葉駅)	資料名	・第6分団消防団ヘルメット	資料名	・配達員や客用の保温用薬缶と緑茶	資料名	・「浪江焼種太国マップ」
寸法W・H	500 × 900	寸法W・H	W250 × D250 × H 250	寸法W・H	302 × 230 × 250	寸法W・H	W700 × H 400
保全・収集	双葉町	保全・収集	○○○	保全・収集	○○○	保全・収集	○○○
出典・備考	JR東日本・水戸支社	出典・備考	※除染等作業中収集した品を返却のため公開展示中	出典・備考	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○●○○○●○●薬缶(32)アルミ缶入り 緑茶(290ml×7缶)	出典・備考	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○○○

※FURE:福島大学うつくしまふくしまみらい支援センター

大項目:A2 災害の始まり～安全神話の崩壊～		小項目:A2-1 事故前の暮らし		展示区分:実物資料		資料区分:日常生活の様子が伝わる資料	
資料区分理由:事故の前「普通の暮らしがここにはあった」と、思い起こし、失われたものを通し被災者の思いを「自分の身近な出来事」とらえるきっかけとなる資料。							
<p>A2-1事故前の暮らし</p> <p>事故で失われる前の原子力発電所周辺の暮らしはどのようなものだったのか？祭りや行事、学校生活、商店の賑わい、地元の経済を支えていた各種産業など、日常をかたちづくっていたものごとを記録や証言を通し、描き出す。来館者には「ああ、本当に普通の暮らしがここにはあったのだな」ということを伝え、また当事者の方々には「そう、このように私たちの普通の暮らしがここにはあった」と、思い起こしてもらうなど、来館者に共感してもらえる展示を行う。</p>				 <p>展示位置</p>		<p>・コメント</p> <p>※実物資料候補については、未収集のものを含まず。収集可否の確認を含めて調整中のため、確定ではありません。</p>	
ゾーン NO.	A2-1 009	ゾーン NO.	A2-1 010	ゾーン NO.	A2-1 011	ゾーン NO.	A2-1 012
資料名	・神社札	資料名	・だるま市会場案内位置図	資料名	・だるま市会場案内出店リスト	資料名	・だるま市のダルマ
Photo		Photo		Photo			
寸法W・H	W160×H 700程度	寸法W・H	W300×H 400	寸法W・H	W300×H 400	寸法W・H	W150×D150×H 150程度
保全・収集	○○○	保全・収集	○○○	保全・収集	○○○	保全・収集	○○○
出典・備考	※除染等作業中収集した品を返却のため公開展示中	出典・備考	※FURE+○○○○○	出典・備考	※FURE+○○○○○	出典・備考	※FURE+○○○○○
ゾーン NO.	A2-1 013	ゾーン NO.	A2-1 014	ゾーン NO.	A2-1 015	ゾーン NO.	A2-1 016
資料名	・市町村対抗リレー用具	資料名	・「We need 原子力。」ポスター	資料名	・ウランちゃんと原子力	資料名	・アトムふくしま
							
寸法W・H	W 900 ×D400×H 350程度	寸法W・H	W 700×H 1000	寸法W・H	W 210 ×H 300	寸法W・H	W 210 ×H 300
保全・収集	○○○	保全・収集	○○○	保全・収集	○○○	保全・収集	○○○
出典・備考	※FURE+○○○○○	出典・備考	日本電機工業会発行	出典・備考	※FURE+○○○○○	出典・備考	※FURE+○○○○○

大項目:A2 災害の始まり～安全神話の崩壊～

小項目:A2-1 事故前の暮らし

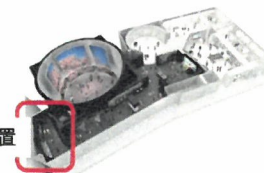
展示区分:実物資料

資料区分:日常生活の様子が伝わる資料

資料区分理由:事故の前「普通の暮らしがここにはあった」と、思い起こし、失われたものを通し被災者の思いを「自分の身近な出来事」ととらえるきっかけとなる資料。

A2-1事故前の暮らし

事故で失われる前の原子力発電所周辺の暮らしはどのようなものだったのか？祭りや行事、学校生活、商店の賑わい、地元の経済を支えていた各種産業など、日常をかたちづくっていたものごとを記録や証言を通し、描き出す。来館者には「ああ、本当に普通の暮らしがここにはあったのだな」ということを伝え、また当事者の方々には「そう、このように私たちの普通の暮らしがここにはあった」と、思い起こしてもらおうなど、来館者に共感してもらえる展示を行う。



展示位置

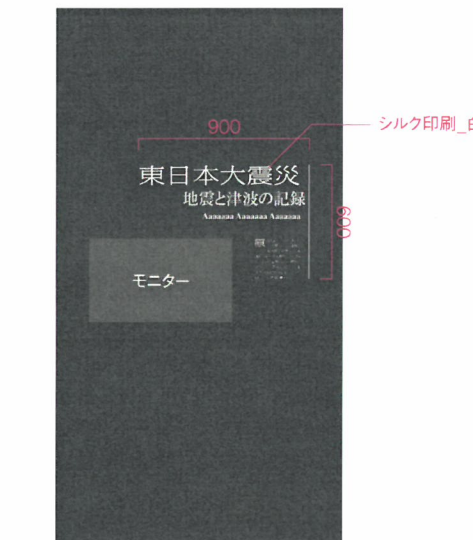
・コメント

※実物資料候補については、未収集のものを含まず、収集可否の確認を含めて調整中のため、確定ではありません。

ゾーン NO.	A2-1 事故前の暮らし 017	ゾーン NO.	A2-1 事故前の暮らし 018	ゾーン NO.	A2-1 事故前の暮らし 019	ゾーン NO.	A2-1 事故前の暮らし 020
資料名	・原子力安全保安院通信	資料名	エネルギー体験館VHS他	資料名	・東電提供スタンド	資料名	・東電提供ニュース掲示板
							Photo
			①エネルギー体験館VHS ②地域とともに(福島原子力発電所・30年の歩み)VHS ③・福島県双葉町VHS				
寸法W・H	W 210 × H 300	寸法W・H	W 104 × H 188 厚25	寸法W・H	W600 × H 1200	寸法W・H	W 420 × H 300
保全・収集	○○○	保全・収集	○○○	保全・収集	FURE・大野病院	保全・収集	○○○・○○○○○
出典・備考	※FURE+○○○○○	出典・備考	※FURE+○○○○○	出典・備考	※FURE	出典・備考	FURE+○○○○○

ゾーン NO.	A2-1 事故前の暮らし 021	ゾーン NO.	A2-1 事故前の暮らし 022
資料名	・原子力広報資料	資料名	・エネルギーグッズ記録ビデオ
寸法W・H	W 210 × H 300	寸法W・H	W 104 × H 188 厚25
保全・収集	県原子力センター	保全・収集	○○○
出典・備考	①「わんぱくアトムフェスティバル」広報資料 ②「ウランちゃん発電フェスタ」広報資料	出典・備考	FURE-○○○○○

No. G2-2	項目名 東日本大震災～地震と津波の記録コーナー導入	種類 コーナー解説	中項目 A2-2 東日本大震災～地震と津波の記録	大項目 A2 災害の始まり～安全神話の崩壊
-------------	---------------------------	--------------	-----------------------------	--------------------------

 <p>※デザインは参考イメージです。</p>	ねらい	コメント	
	仕様		シルク印刷 白
	サイズ		W900×H600
解説文(案)	展示内容		
	備考		<p>A2-2-0 ○証言映像</p> <p>A2-2-1 ★地震・津波の様子(映像)</p> <p>○実物資料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発災時間の記録資料 ・地震の記録 ・津波の記録、痕跡資料

大項目: A2 災害の始まり～安全神話の崩壊～	小項目: A2-2 東日本大震災～地震と津波の記録～	アイテム: ★A2-2-1地震・津波の様子	工種: 映像コンテンツ(3面マルチ映像)
-------------------------	----------------------------	-----------------------	----------------------

【コンテンツ仕様】 3面プロジェクター 映像尺:約3分 映像フォーマット:Hi-Vision x3 ナレーション:あり テロップ:あり 音楽:あり 効果音:あり プログラム:ループ再生

展示のねらい 原子力発電所事故のきっかけとなった地震と津波を取り上げ、その前後において世界がまったく異なってしまうことを象徴的に表現する。

平穏な日常が一瞬にして奪われてしまった2011年3月11日。福島県沿岸部を壊滅させた東日本大震災の恐ろしい様相を、実写映像のみで伝える。予測不能の自然災害がもたらした恐怖と被害の現実を、時系列に沿って3面マルチ映像で映し出す。



コメント

■映像展開イメージ ※NHK、地元TV局の素材を調査の上、詳細の検討をする

14時46分 東北地方太平洋沖地震発生
 2011年3月11日、14時46分18秒。突然の大地震に襲われる東北地方。県内各地の様相を映し出す。

- 揺れる建物
- 地割れ
- 飛散する窓ガラス
- 火災
- 逃げ惑う人々
- 混雑に陥る駅構内
- 定点カメラが捉えた地震の瞬間など

Photo

15時20分頃 福島県沿岸部に津波到来
 そのわずか30分後、巨大な津波が押し寄せる沿岸部の様子が原子力発電所にも押し寄せる津波を取り上げる。

- 沿岸部各地を襲う津波
- 流される車
- 津波が原発に迫る様子
- 被災後の情景
- 定点カメラが捉えた津波の様子
- 次々と浸水する家屋
- 南相馬かしまの一本松など

Photo

大項目:A2 災害の始まり～安全神話の崩壊～	小項目:A2-2 東日本大震災～地震と津波の記録～	展示区分:実物資料	資料区分:地震と津波の脅威を伝える資料
------------------------	---------------------------	-----------	---------------------

資料区分理由:原子力発電所事故のきっかけとなった、地震と津波の痕跡・自然災害の脅威を伝える資料。

A2-2 東日本大震災～地震と津波の記録～

原子力発電所事故のきっかけとなった地震と津波をとりあげ、その前後において世界が全く異なってしまうことを象徴的に表現する。地震・津波前のゆるやかな時の流れと、地震・津波後の怒涛のごとく激しい時の流れの落差を際立たせ、その瞬間から全てが変わってしまったことを意識してもらうため、地震・津波が襲った瞬間の恐ろしさを感じさせる。



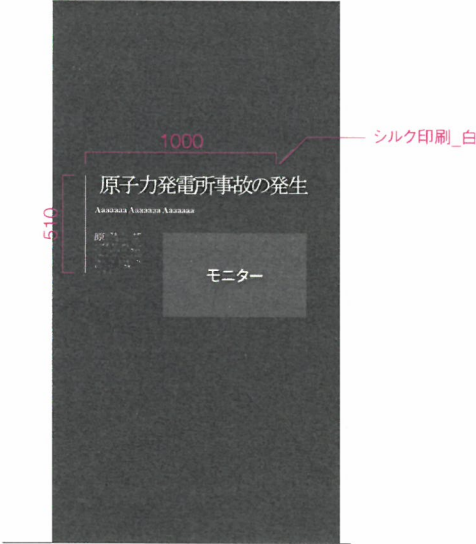
・コメント

※実物資料候補については、未収集のものを含まず。収集可否の確認を含めて調整のため、確定ではありません。

ゾーン	A2-2 東日本大震災～地震と津波の記録～	ゾーン	A2-2 東日本大震災～地震と津波の記録～	ゾーン	A2-2 東日本大震災～地震と津波の記録～	ゾーン	A2-2 東日本大震災～地震と津波の記録～
NO.	023	NO.	024	NO.	025	NO.	026
資料名	・地震の時間を示す時計	資料名	・地震の時間を示す時計(腕時計)	資料名	・津波の時間を示す時計	資料名	・津波の時間を示す時計(腕時計)
		Photo		Photo		Photo Photo	
寸法W・H	W 300φ	寸法W・H	W28×H 80	寸法W・H	W 700φ	寸法W・H	W28×H 80
保全・収集	FURE・保原高校	保全・収集	○○○	保全・収集	○○・○○○○○○○○	保全・収集	○○○
出典・備考	※除染等作業中収集した品を返却のため公開展示中	出典・備考	※除染等作業中収集した品を返却のため公開展示中	出典・備考	○○○○○○○○○○○○○○○○○○ 体育館時計	出典・備考	※除染等作業中収集した品を返却のため公開展示中

ゾーン	A2-2 東日本大震災～地震と津波の記録～	ゾーン	A2-2 東日本大震災～地震と津波の記録～	ゾーン	A2-2 東日本大震災～地震と津波の記録～	ゾーン	A2-2 東日本大震災～地震と津波の記録～
NO.	027	NO.	028	NO.	029	NO.	030
資料名	・ブリクラ帳	資料名	・津波ラインが残る野球場のカーテン	資料名	・○○小学校の吊り鐘	資料名	・被災○○○○アルバム
Photo		Photo		Photo		Photo	
寸法W・H	W300×H 200	寸法W・H	950×3000(1枚)	寸法W・H	W300φ×H 400	寸法W・H	W300×H 360
保全・収集	○○○	保全・収集	○○・○○○○	保全・収集	○○○	保全・収集	○○○
出典・備考	○○○○○・○○○	出典・備考	○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○○○○	出典・備考	※除染等作業中収集した品を返却のため公開展示中	出典・備考	※除染等作業中収集した品を返却のため公開展示中

No. G2-3	項目名 原子力発電所事故の発生 コーナー導入	種類 コーナー解説	中項目 A2-3 原子力発電所事故の発生	大項目 A2 災害の始まり～安全神話の崩壊
-------------	------------------------	--------------	-------------------------	--------------------------

 <p>※デザインは参考イメージです。</p>	<p>ねらい</p> <p>原子力発電所事故が起こった瞬間、そして次々と起こる想定外の事態。津波が到着してから原子力発電所で起きた事象を克明に表す。絶対の安全はないということ、災害は起こりうるということを伝え、それに対する備えについて考えるきっかけとする。また、チェルノブイリなど過去の原子力発電所事故との比較を行うことで、福島第一原子力発電所における事故の状況を明らかにする。</p>	<p>コメント</p>
	<p>仕様</p> <p>シルク印刷 白</p>	
	<p>サイズ</p> <p>W1000×H510</p>	
<p>解説文(案)</p>	<p>展示内容</p> <p>A2-3-0 ○証言映像 A2-3-1 ★原子力発電所事故解説映像／原発模型 ○5重壁の崩壊 (デジタルコンテンツ) ○チェルノブイリ、スリーマイル、JCO事故等との比較(解説) ○実物資料 ・新聞記事 ・原子力発電所事故による痕跡資料 ・原子力発電所事故対応当事者の生の記録</p>	
	<p>備考</p>	

大項目: A2 災害の始まり～安全神話の崩壊～	小項目: A2-3 原子力発電所事故の発生	アイテム: ★A2-3-1 原子力発電所事故解説映像 (事故記録 / 中央制御室の写真・動画)	工種: 映像コンテンツ(モニター映像)
-------------------------	-----------------------	--	---------------------

【コンテンツ仕様】 表示機器: プロジェクター 映像尺: 約2分 映像フォーマット: Hi-Vision ナレーション: あり 音楽: あり 効果音: あり 言語: 日本語のみ プログラム: 人感センサーによるスタート

展示のねらい 福島第一原子力発電所の災害前の様子から、地震発生、電源喪失、メルトダウン、水素爆発、放射性物質の放出までを、福島第一原子力発電所のジオラマとその上に設置された瞬間調光ガラスを活用した演出映像で紹介する。原子力発電所事故が起こった瞬間、そして次々と起こる想定外の事態。津波が到着してから原子力発電所で起きた事象を克明に表す。絶対の安全はないということ、災害は起こりうるということを伝え、それに対する備えについて考えるきっかけとする。

●原子力発電所事故の発生 P-1



瞬間調光ガラスを活用したガラススクリーン面で映像が始まる

visual	image	comment
地震素材 と日付のスーパー	Photo	【NA】 2011年3月11日14時46分 三陸沖を震源とするマグニチュード9.0の 東北地方太平洋沖地震が発生しました。
緊急停止する原子炉 外部電源が喪失	Photo	運転中だった福島第一原子力発電所 1～3号機の原子炉は地震ですべて緊急停止。 しかし地震により外部電源を喪失。
非常用 ディーゼル発電機が起動	Photo	すぐに非常用ディーゼル発電機が起動し、 電源供給が再開されました。
施設の全体図 配置関係図	Photo	災害当時、4～6号機は 定期点検中で停止していました。
巨大な津波が襲う 素材・CG素材	Photo	地震発生の50分後、 想定外の約13mもの巨大な津波が 原子力発電所を襲います。 ※波の高さはTEPCOより
破損する原子力発電所 敷地全体が水浸しになる	Photo	海側に設置された、原子炉の熱を海に 逃がすためのポンプなどの屋外施設が破損。 原子炉建屋周辺まで水浸しに。
海水に発電機がつかり、 全電源喪失	Photo	さらに、非常用ディーゼル発電機は タービン建屋地下に設置されていたため、海 水につかり 全交流電源喪失。
注水ができなくなる	Photo	それにより、高熱になる原子炉内部や核燃料 プールの冷やすための機器の制御ができなく なり、計測機器も含め安全上重要な機能をす べて失います。

●原子力発電所事故の発生 P-2

visual	image	comment
熱くなる原子炉内部 の様子 核燃料ペレットが 圧力容器の底に落ちる 様子をCGで表現	Photo	【NA】 津波から約4時間後、 はじめに1号機、その後、2号機、3号機も経て 核燃料が自らの熱で溶け出し、核燃料ペレ ットが、 原子炉圧力容器の底へ落下。
スーパーなどで メルトダウンをフォロー	Photo	それが炉心溶解・メルトダウンです。
大量の水素が 建屋内部に充滿する 様子をCGで表現	Photo	燃料棒の表面が圧力容器内の水蒸気と反応し、 大量の水素が発生。原子炉建屋・タービン建屋 に充滿しました。
ベント開始 混乱する現場	Photo	元々停止中であった4号機にも配管を通じ 水素が充滿。 3月12日14時に格納容器の圧力を下げるベ ントを開始しましたが、津波から24時間後となる 3月12日15時36分に1号機原子炉建屋が水素爆発。
水素爆発 実写素材	Photo	そして14日に3号機原子炉建屋、 15日に4号機原子炉建屋も経て水素爆発を起 こしました。 その爆発で大量の放射性物質が、大気中 に放出されました。 その後、陸地や海洋へ広がっていきました。
壊れた原子炉建屋	Photo	まさに様々な条件が重なり広がった 災害だったのです。

コメント

【コンテンツ仕様】 24インチタッチパネルディスプレイ2台、パソコン2台

展示のねらい 絶対の安全はないということ、災害は起こりうるということを伝え、それに対する備えについて考えるきっかけとする。他の発電所との違い、原子力発電所のしくみ、放射線の基礎知識を選択で学び、何故安全と言われた5重壁が破られたのかをデジタルコンテンツで学習する。

5重壁の崩壊

①原子力発電を学ぶ
②第1の壁から第5の壁(自動再生)
③第1の壁から第5の壁(選択して学ぶ)
【トップページ】

↓

①放射線・原子力とは?
②火力発電と原子力発電の違い
③原子力発電所の基礎知識
【メニュー】

①放射線・原子力とは?

②火力発電と原子力発電の違い

③原子力発電所の基礎知識

■ 原子力発電の仕組みからこれまで安全対策と言われた 厳重な5重の壁の崩壊までを学ぶ

5重壁の崩壊

・ トップ / 待機画面
・ 見たい項目をタッチして選択

放射線・原子力とは?

詳しく知る

火力発電と原子力発電の違い

詳しく知る

原子力発電所の基礎知識

詳しく知る

詳しく知りたいメニューをタップしてください

・ 「放射線・原子力とは?」「火力発電と原子力発電の違い」「原子力発電所の基礎知識」について理解しやすく、解説を写真、テキストで表示
・ 3つのアイコンの中から一つを選択して画面の切替

コメント

①放射線・原子力とは?

5重壁の崩壊

②火力発電と原子力発電の違い

5重壁の崩壊

③原子力発電所の基礎知識 (BWR)と(PWR)

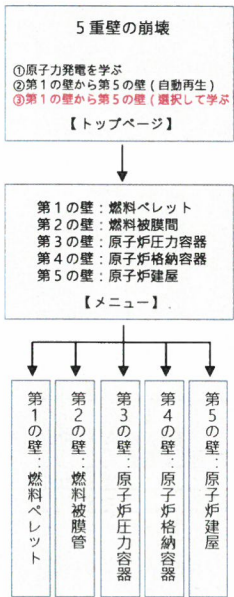
5重壁の崩壊

各ページの解説をテキスト、写真、図を用いて行う
・ 左右下のアイコンで画面切り替え、情報量が多いものは画面の上下スクロール可能

大項目: A2 災害の始まり～安全神話の崩壊～	小項目: A2-3 原子力発電所事故の発生	アイテム: A2-3-1 5重壁の崩壊	工種: タッチパネルコンテンツ
-------------------------	-----------------------	---------------------	-----------------

【コンテンツ仕様】 24インチタッチパネルディスプレイ2台、パソコン2台

展示のねらい 絶対の安全はないということ、災害は起こりうるということを伝え、それに対する備えについて考えるきっかけとする。原子力発電所、放射線の基礎知識を選択で学び、何故安全と言われた5重壁が破られたのかをデジタルコンテンツで学習する。



第1の壁：燃料ペレット

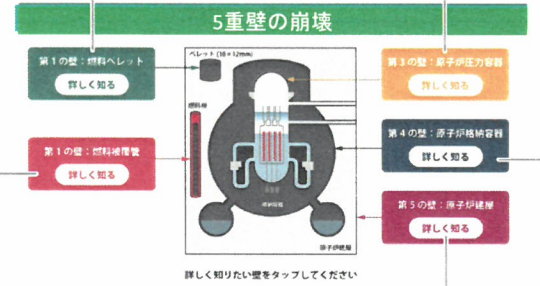
5重壁の崩壊

第1の壁：燃料ペレット
詳しく知る

第3の壁：原子炉圧力容器

5重壁の崩壊

第3の壁：原子炉圧力容器
詳しく知る



第2の壁：燃料被覆管

5重壁の崩壊

第2の壁：燃料被覆管
詳しく知る

第4の壁：原子炉格納容器

5重壁の崩壊

第4の壁：原子炉格納容器
詳しく知る

第5の壁：原子炉建屋

5重壁の崩壊

第5の壁：原子炉建屋
詳しく知る

・「第1の壁～第5の壁」についての解説の選択画面
・各項目のアイコンをタッチして画面の切替

・トップ / 待機画面
・見たい項目をタッチして選択

・各ページの解説をテキスト、写真、図を用いて行う
・左右下のアイコンで画面切り替えを行う

コメント

大項目:A2 災害の始まり～安全神話の崩壊～	小項目:A2-3 原子力発電所事故の発生	展示区分:実物資料	資料区分:原子力発電所事故を伝える資料
------------------------	----------------------	-----------	---------------------

資料区分理由:原子力発電所事故が起き、次々と起こる想定外の事態により残された資料。

A2-3 原子力発電所事故の発生

原子力発電所事故が起こった瞬間、そして次々と起こる想定外の事態。津波が到着してから原子力発電所で起きた事象を克明に表す。絶対の安全はないということ、災害は起こりうるということを伝え、それに対する備えについて考えるきっかけとする。また、チェルノブイリなど過去の原子力発電所事故との比較を行うことで、福島第一原子力発電所における事故の状況を明らかにする。



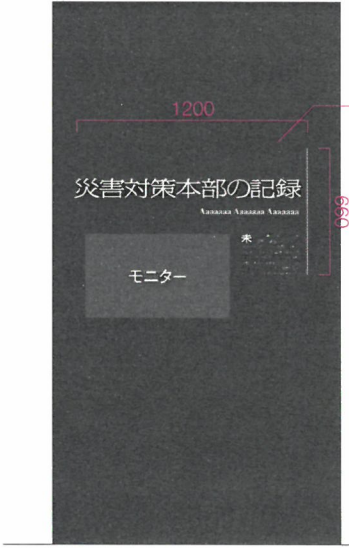
コメント

※実物資料候補については、未収集のものを含まず。収集可否の確認を含めて調整中のため、確定ではありません。

ゾーン	A2-3 原子力発電所事故の発生	ゾーン	A2-3 原子力発電所事故の発生	ゾーン	A2-3 原子力発電所事故の発生	ゾーン	A2-3 原子力発電所事故の発生
NO.	042	NO.	043	NO.	044	NO.	045
資料名	・大野病院仮対策本部の新聞	資料名	・3月13日(日)福島民報社紙面	資料名	・3月12日(土)福島民友新聞社紙面	資料名	・電源復旧用電源ケーブル
Photo		Photo		Photo		Photo	
2011年3月12日付け							
寸法W・H	W365 × H 265	寸法W・H	W365 × H 520	寸法W・H	W365 × H 520	L500	
保全・収集	○○○	保全・収集		保全・収集			
出典・備考	※大野病院資料、FURE収集時線量高く保留	出典・備考	福島民報社	出典・備考	福島民友新聞社	※複製品 参考画像 :6600Vケーブル 30φ×500程度	

ゾーン	A2-3 原子力発電所事故の発生	ゾーン	A2-3 原子力発電所事故の発生
NO.	046	NO.	047
資料名	・第10条通報FAX受信票	資料名	・ヨウ素剤配布指示書校正原稿FAX
Photo		Photo	
寸法W・H	W 210 × H 300	寸法W・H	W 210 × H 300
保全・収集		保全・収集	
出典・備考	複製品 第一発電所より福島県及び所在市町村宛FAX	出典・備考	複製品

No. G2-4	項目名 災害対策本部の記録	種類 コーナー解説	中項目 A2-4 災害対策本部の記録	大項目 A2 災害の始まり～安全神話の崩壊
-------------	------------------	--------------	-----------------------	--------------------------

 <p>※デザインは参考イメージです。</p>	ねらい	コメント
	仕様	
	サイズ	
解説文(案)	展示内容	備考

未だかつて誰も経験したことのない事態に、混乱を極めながらも懸命に対応した人々の記録を、当時の緊迫感とともに伝える。また、克明な記録を共有することで、今後万が一このような事態が起こった際に、行政などとはどのように対応するべきか、についての情報共有を図る。

仕様
シルク印刷 白

サイズ
W1200×H660

- 展示内容
- A2-4-0 ○証言映像
 - A2-4-1 ○行政の対策について(解説)
○報道映像
○実物資料
・当時の行政の動きを記録した資料
 - A2-4-2 ○オフサイトセンターの記録(解説)
○実物資料
・オフサイトセンター関連資料

大項目: A2 災害の始まり～安全神話の崩壊～	小項目: A2-4 災害対策本部の記録	アイテム: 報道映像	工種: 映像コンテンツ
-------------------------	---------------------	------------	-------------

【コンテンツ仕様】 表示機器: 32inchモニター 映像尺: 約2～3分 映像フォーマット: Hi-Vision コメント: あり 解説ナレーション: なし 音楽: なし 効果音: なし プログラム: センサースタート

展示のねらい 未だかつて誰も経験した事のない事態に、混乱を極めながら懸命に対応した人々の記録を報道映像を中心に構成し、当時の緊迫感と共に伝える。

《画面イメージ》	《展開イメージ》	《画面イメージ》	《展開イメージ》	コメント
    	<p>地震・津波・原子力災害</p> <p>東日本大震災では地震、津波によって多くの被害が発生した。津波は、東京電力福島第一原子力発電所を襲い、その後の原子力災害へと連なっていく。</p> <p>福島県は地震発生後直ちに佐藤雄平知事を本部長とする災害対策本部を福島市の自治会館に設置した。被害状況の収集に当たるとともに、自衛隊に災害派遣を要請した。</p> <p>福島第一原子力発電所で炉心を冷却できない状況が分かり、国は3月11日21時23分半径3キロ圏内の住民に避難指示を出した。佐藤知事は、災害対策本部会議で避難指示に基づき、速やかな避難を呼びかけた。</p>	    	<p>富岡町と川内村</p> <p>郡山市のビッグパレットふくしまには富岡町と川内村から2000人が避難していた。</p> <p>2つの町村は、避難所のビッグパレットふくしまに災害対策本部を設置し、安否情報の提供などを開始した。</p> <p>避難所には臨時の診療所も設置され、住民の避難生活を支えた。</p> <p>県外に避難した双葉町</p> <p>双葉町は川俣町を経て埼玉県へと避難した。住民1200人がさいたまスーパーアリーナに移りさらに、加須市にある旧騎西高校に移動した。</p> <p>計画的避難となった飯館村</p> <p>飯館村は、第一原子力発電所20キロ圏外にありながら放射線量が高いとして震災から1か月後に計画的避難区域に指定された。住民には1ヶ月以内の避難が求められた。</p> <p>飯館村の災害対策本部では、避難計画を作成した。計画では、乳幼児や妊婦、18歳未満の未成年がいる世帯の避難を優先させた。また、村が用意したホテルやアパートを一時避難先とし、整備され次第仮設住宅に移るというものだった。</p>	

大項目:A2 災害の始まり～安全神話の崩壊～	小項目:A2-4 災害対策本部の記録	展示区分:実物資料	資料区分:行政担当者が災害に対応した記録資料
------------------------	--------------------	-----------	------------------------

資料区分理由:自然災害、原子力発電所事故以降起きた数々の事態に、当事者がいかに対応したかを残された手書きのメモ・ボードや記録からたどる。

A2-4 災害対策本部の記録

未だかつて誰も経験したことのない事態に、混乱を極めながらも懸命に対応した人々の記録を、当時の緊迫感とともに伝える。また、克明な記録を共有することで、今後万が一このような事態が起こった際に、行政などはどのように対応するべきか、についての情報共有を図る。



・コメント

※実物資料候補については、未収集のものを含みます。収集可否の確認を含めて調整中のため、確定ではありません。

ゾーン NO.	A2-4 災害対策本部の記録 048	ゾーン NO.	A2-4 災害対策本部の記録 049	ゾーン NO.	A2-4 災害対策本部の記録 050	ゾーン NO.	A2-4 災害対策本部の記録 051
資料名	『国会事故調報告書』	資料名	相馬市災害対策本部中間報告書	資料名	双葉町東日本大震災記録誌	資料名	飯館村全村避難のあゆみ
寸法W・H	W 210 × H 300	寸法W・H	W 210 × H 300	寸法W・H	W 210 × H 300		W 210 × H 300
保全・収集		保全・収集		保全・収集			
出典・備考	国会事故調査委員会	出典・備考	福島民報社	出典・備考	福島民友新聞社		※複製品 参考画像 :6600Vケーブル 30φ×500程度

ゾーン NO.	A2-4 災害対策本部の記録	ゾーン NO.	A2-4 災害対策本部の記録	ゾーン NO.	A2-4 災害対策本部の記録 052	ゾーン NO.	A2-4 災害対策本部の記録 053
資料名	東日本大震災記録写真集	資料名	東日本大震災の記録と復興への歩み	資料名	相馬市対策本部WB記録	資料名	浪江町町長直筆メモ
					Photo Photo		Photo Photo
寸法W・H	W 210 × H 300	寸法W・H	W 210 × H 300	寸法W・H	W 1800×H 900	寸法W・H	W 210 × H 300
保全・収集	福島県	保全・収集	福島県	保全・収集	相馬市	保全・収集	浪江町
出典・備考	2016年3月 福島県広報課	出典・備考	2013年3月 福島県災害対策課	出典・備考	複製品 第一発電所より福島県及び所在市町村宛FAX	出典・備考	複製品

大項目:A2 災害の始まり～安全神話の崩壊～	小項目:A2-4 災害対策本部の記録	展示区分:実物資料	資料区分:行政担当者が災害に対応した記録資料
------------------------	--------------------	-----------	------------------------

資料区分理由:自然災害、原子力発電所事故以降起きた数々の事態に、当事者がいかに対応したかを残された手書きのメモ・ボードや記録からたどる。

A2-4 災害対策本部の記録

未だかつて誰も経験したことのない事態に、混乱を極めながらも懸命に対応した人々の記録を、当時の緊迫感とともに伝える。また、克明な記録を共有することで、今後万が一このような事態が起こった際に、行政などはどのように対応するべきか、についての情報共有を図る。



・コメント

※実物資料候補については、未収集のものを含まず。収集可否の確認を含めて調整中のため、確定ではありません。

ゾーン	A2-4 災害対策本部の記録	ゾーン	A2-4 災害対策本部の記録	ゾーン	A2-4 災害対策本部の記録	ゾーン	A2-4 災害対策本部の記録
NO.	054	NO.	055	NO.	056	NO.	057
資料名	・双葉町災害対策本部記録	資料名	・警戒段階における緊急事態対応策	資料名	・原子力災害時における優先対応事項	資料名	・東京電力福島第一2～5号機プラント全体系統概要
Photo		Photo		Photo		Photo	
寸法W・H	W 900 × H1200	寸法W・H	W 210 × H 300	寸法W・H	W 420 × H 300	寸法W・H	W 420 × H 300
保全・収集	複製品 双葉町	保全・収集	複製品 オフサイトセンター	保全・収集	オフサイトセンター	保全・収集	オフサイトセンター
出典・備考		出典・備考		出典・備考		出典・備考	

ゾーン	A2-4 災害対策本部の記録	ゾーン	A2-4 災害対策本部の記録	ゾーン	A2-4 災害対策本部の記録	ゾーン	A2-4 災害対策本部の記録
NO.	058	NO.	059	NO.	060	NO.	061
資料名	・1号機図面集	資料名	・運転操作手順書	資料名	・県・住民安全班記録ファイル	資料名	・放射線班ファイル
Photo		Photo		Photo		Photo	
・1号機図面集平成13年11月× Rew24東京電力株式会社福島第一原子力発電所		・福島第一平成21年度 4号機事故時運転操作手順書					
寸法W・H	W 210 × H 300	寸法W・H	W 210 × H 300	寸法W・H	W 210 × H 300	寸法W・H	W 210 × H 300
保全・収集	オフサイトセンター	保全・収集	オフサイトセンター	保全・収集	オフサイトセンター	保全・収集	オフサイトセンター
出典・備考		出典・備考		出典・備考		出典・備考	

大項目:A2 災害の始まり～安全神話の崩壊～

小項目:A2-4 災害対策本部の記録

展示区分:実物資料

資料区分:行政担当者が災害に対応した記録資料

資料区分理由:自然災害、原子力発電所事故以降起きた数々の事態に、当事者がいかに対応したかを残された手書きのメモ・ボードや記録からたどる。

A2-4 災害対策本部の記録


未だかつて誰も経験したことのない事態に、混乱を極めながらも懸命に対応した人々の記録を、当時の緊迫感とともに伝える。また、克明な記録を共有することで、今後万が一このような事態が起こった際に、行政などはどのように対応するべきか、についての情報共有を図る。



・コメント

※実物資料候補については、未収集のものを含まず。収集可否の確認を含めて調整中のため、確定ではありません。

ゾーン	A2-4 災害対策本部の記録	ゾーン	A2-4 災害対策本部の記録	ゾーン	A2-4 災害対策本部の記録	ゾーン	A2-4 災害対策本部の記録
NO.	062	NO.	063	NO.	064	NO.	065
資料名	・災害優先電話機他	資料名	ホワイトボードー1	資料名	ホワイトボードー2	資料名	ホワイトボードー3
Photo		Photo		Photo		Photo	
寸法W・H		寸法W・H	W 1800 × H900	寸法W・H	W 1800 × H900	寸法W・H	W 1800 × H900
保全・収集	オフサイトセンター	保全・収集	オフサイトセンター	保全・収集	オフサイトセンター	保全・収集	オフサイトセンター
出典・備考		出典・備考		出典・備考		出典・備考	

ゾーン	A2-4 災害対策本部の記録	ゾーン	A2-4 災害対策本部の記録	ゾーン	A2-4 災害対策本部の記録	ゾーン	A2-4 災害対策本部の記録
NO.	066	NO.	067	NO.	068	NO.	069
資料名	ホワイトボードー4	資料名	・福島第一原子力発電所周辺図ー1	資料名	・福島第一原子力発電所周辺図ー2	資料名	・OFC(オフサイトセンター)入口看板
Photo		Photo		Photo			
寸法W・H	W 1800 × H900	寸法W・H	W2000 × H2800	寸法W・H	W2000 × H2800	寸法W・H	W 1800 × H900
保全・収集	オフサイトセンター	保全・収集	オフサイトセンター (半径3km10km避難範囲)	保全・収集	オフサイトセンター (避難所位置及び防災車両図)	保全・収集	オフサイトセンター
出典・備考		出典・備考		出典・備考		出典・備考	

サイズが大きいため、他資料に先行して確定としたい。
どちらか一方を交互に展示予定。

大項目:A2 災害の始まり～安全神話の崩壊～

小項目:A2-4 災害対策本部の記録

展示区分:実物資料

資料区分:行政担当者が災害に対応した記録資料

資料区分理由:自然災害、原子力発電所事故以降起きた数々の事態に、当事者がいかに対応したかを残された手書きのメモ・ボードや記録からたどる。

A2-4 災害対策本部の記録

未だかつて誰も経験したことのない事態に、混乱を極めながらも懸命に対応した人々の記録を、当時の緊迫感とともに伝える。また、克明な記録を共有することで、今後万が一このような事態が起こった際に、行政などはどのように対応するべきか、についての情報共有を図る。

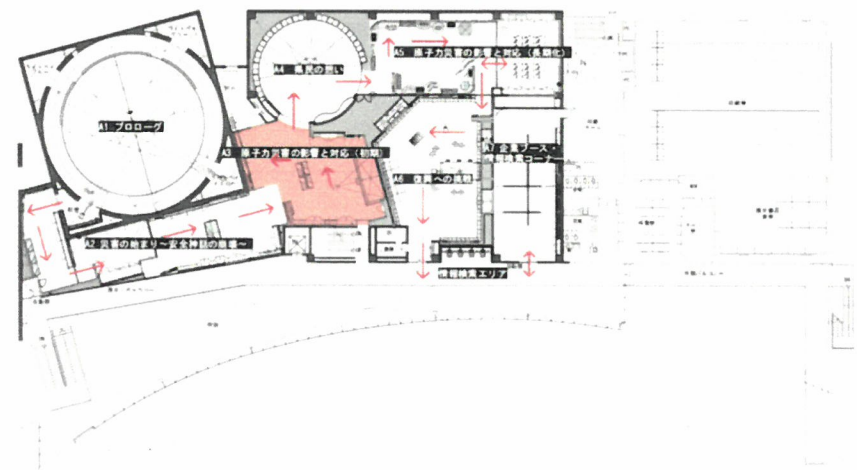


・コメント

※実物資料候補については、未収集のものを含みます。収集可否の確認を含めて調整中のため、確定ではありません。

ゾーン	A2-4 災害対策本部の記録	ゾーン	A2-4 災害対策本部の記録
NO.	070	NO.	071
資料名	・外部連絡用衛星携帯電話機台	資料名	衛星携帯電話機
Photo		Photo	
		※類似参考資料 「○○○○○○○」及び「衛星可搬端末01」	
寸法W・H	W600×D400×H 900程度	寸法W・H	W 180 × H200 厚40
保全・収集	オフサイトセンター	保全・収集	オフサイトセンター
出典・備考		出典・備考	

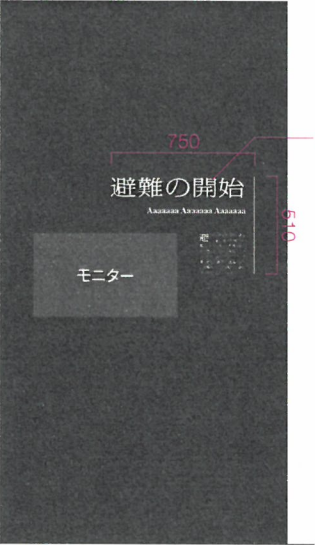
A 3. 原子力発電所事故直後の対応



No. G3-0-1	項目名 原子力発電所事故直後の対応ゾーン導入	種類 ゾーン解説	中項目 A3-0 ゾーンサイン&イントロ	大項目 A3原子力発電所事故直後の対応
---------------	---------------------------	-------------	-------------------------	------------------------

<p style="text-align: right;">S=1/30</p>	<p>ねらい</p> <p>着の身着のままの避難/情報の錯綜/避難生活の変遷。誰もが初めて経験する原子力災害発生直後の状況を、避難などの様子からその特殊性を訴求。国内外の事故事例などを参考とした県下での手探りの初期対応、国内外からの注目など、原子力災害の初動の記録と記憶を、証言などをもとに振り返り、後世への教訓の場とする。</p>	コメント
	<p>仕様</p> <p>ゾーンサイン: LEDバックライトチャンネル文字 ゾーン導入テキスト:シルク印刷 白</p>	
	<p>サイズ</p> <p>ゾーンサイン: 日(大)W250/日(小)W150/英W8C ゾーン導入テキスト:約W450×H750</p>	
解説文(案)	<p>展示内容</p> <p>A3-0 ゾーンサイン&イントロ A3-1 避難の開始 A3-2 県内に広がる不安 A3-3 国内外の反応と支援</p> <p>備考</p>	

No. G3-1	項目名 避難の開始 コーナー導入	種類 コーナー解説	中項目 A3-1 避難の開始	大項目 A3原子力発電所事故直後の対応
-------------	---------------------	--------------	-------------------	------------------------

 <p>※デザインは参考イメージです。</p>	ねらい	コメント
	仕様	
	サイズ	
	解説文(案)	
	ねらい	<p>避難の様子や当時の証言を通し、取るものもと りあえず故郷を後に、先が見えないままに、避 難先へ向かった人々の戸惑い、不安、恐怖を想 像してもらい、共感の深化を図る。</p> <p>また、情報が錯綜し、混乱を極めた避難所での 受け入れや、何度も避難先を変えなければなら なかった避難者のことなど、当時の現地の様子 を生々しく伝える。避難所で使われた品々から、 とりあえずの物資でなんとか日々を過ごしてい たことを想像してもらい、当時の避難生活の苦し さを伝える。また、現在の防災計画との比較等 をとおして、災害への日頃の備えの重要性を訴 求する。</p>
	仕様	シルク印刷 白
	サイズ	W750×H510
解説文(案)	展示内容	<p>A3-1-0 ○証言映像 A3-1-1 ○突然の避難と度重なる移動(解説) ○表物資料 ・福島特有の「緊急避難」状況を 記録した資料 A3-1-2 ○避難所の生活(解説) ○表物資料 ・避難状況を記録した資料</p>
	備考	

大項目: A3原子力発電所事故直後の対応		小項目: A3-1 避難の開始		展示区分: 実物資料		資料区分: 当時の避難生活の苦勞・戸惑い・不安や、突然の移動状況が伝わる資料			
資料区分理由: 自然災害による避難から、原子力発電所事故によりさらに転々とした避難の状況や苦勞を伝える資料。									
<p>A3-1 避難の開始</p> <p>避難の様子や当時の証言を通し、取るものもとりあえず故郷を後に、先が見えないままに、避難先へ向かった人々の戸惑い、不安、恐怖を想像してもらい、共感の深化を図る。</p> <p>また、情報が錯綜し、混乱を極めた避難所での受け入れや、何度も避難先を変えなければならなかった避難者のことなど、当時の現地の様子を生々しく伝える。避難所で使われた品々から、とりあえずの物資でなんとか日々を過ごしていたことを想像してもらい、当時の避難生活の苦しさを伝える。また、現在の防災計画との比較等をおして、災害への日頃の備えの重要性を訴求する。</p>								<p>・コメント</p> <p>※実物資料候補については、未収集のものを含みます。収集可否の確認を含めて調整中のため、確定ではありません。</p>	
ゾーン NO.	A3-1 避難の開始 072	ゾーン NO.	A3-1 避難の開始 073	ゾーン NO.	A3-1 避難の開始 074	ゾーン NO.	A3-1 避難の開始 075		
資料名	・書きかけの避難者役割分担表	資料名	・書きかけの避難バス患者割り当表	資料名	・書きかけの患者病状表	資料名	・パッケージのままの新聞		
Photo		Photo		Photo		Photo			
寸法W・H	W 210 × H 300	寸法W・H	W 210 × H 300	寸法W・H	W 210 × H 300	W 410 × H 280			
保全・収集	○ ○ / ○ ○ ○	保全・収集	大野病院	保全・収集	大野病院	○ ○ / ○ ○ ○			
出典・備考	※○○○○○○○	出典・備考	※記述済み入院患者病状リスト(掲示板含む)はFURE収集済み	出典・備考	※記述済み入院患者病状表はFURE収集済み	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○○福島民報(3/12)新聞紙二つ折束			
ゾーン NO.	A3-1 避難の開始 076	ゾーン NO.	A3-1 避難の開始 077	ゾーン NO.	A3-1 避難の開始 078	ゾーン NO.	A3-1 避難の開始 079		
資料名	・配達準備された新聞	資料名	・折り込みチラシ	資料名	・飲みかけのペットボトルと紙コップ	資料名	・玄関口に放置された医療ワゴン		
Photo		Photo				Photo			
寸法W・H	W265 × H 365厚100	寸法W・H	W265 × H 365	寸法W・H	67φ × H 212	寸法W・H	W 600 × D400 H 700+200		
保全・収集	○ ○ / ○ ○ ○	保全・収集	○ ○ / ○ ○ ○	保全・収集	福島大学/大野病院	保全・収集	○ ○ ○ ○		
出典・備考	※○○○○○○○	出典・備考	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○○広告 チラシ	出典・備考	※FURE収集済み	出典・備考			

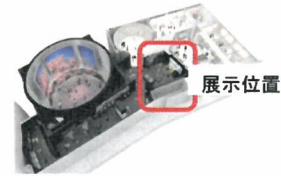
大項目: A3原子力発電所事故直後の対応	小項目: A3-1 避難の開始	展示区分: 実物資料	資料区分: 当時の避難生活の苦勞・戸惑い・不安や、突然の移動状況が伝わる資料
----------------------	-----------------	------------	--

資料区分理由: 自然災害による避難から、原子力発電所事故によりさらに転々としてしまった避難の状況や苦勞を伝える資料。

A3-1 避難の開始

避難の様子や当時の証言を通し、取るものもとりあえず故郷を後に、先が見えないままに、避難先へ向かった人々の戸惑い、不安、恐怖を想像してもらい、共感の深化を図る。

また、情報が錯綜し、混乱を極めた避難所での受け入れや、何度も避難先を変えなければならなかった避難者のことなど、当時の現地の様子を生々しく伝える。避難所で使われた品々から、とりあえずの物資でなんとか日々を過ごしていたことを想像してもらい、当時の避難生活の苦しさを伝える。また、現在の防災計画との比較等をおとして、災害への日頃の備えの重要性を訴求する。



・コメント

※実物資料候補については、未収集のものを含みます。収集可否の確認を含めて調整中のため、確定ではありません。

ゾーン NO.	A3-1 避難の開始 088	ゾーン NO.	A3-1 避難の開始 089	ゾーン NO.	A3-1 避難の開始 090	ゾーン NO.	A3-1 避難の開始 091
資料名	・非常用飲料水	資料名	・体育館を照らしたデスクライト	資料名	・灯油用ポリタンク	資料名	火を使わない線香
Photo		Photo		Photo		Photo	
寸法W・H	W330×D290×H 200	寸法	W 180φ ×L 600	寸法	W 360 ×D200H 420		W 200×H 200
保全・収集	○●/○○○	保全・収集	○●/○○○	保全・収集	○●/○○○		○●/○○○
出典・備考	○●○○○○○○○○○○○○○ 飲料水(透明袋入り)	出典・備考	○●○○○○○○○○○○○○○	出典・備考	○●○○○○○○○○○○○○○		○●○○○○○○○○○○○○○

ゾーン NO.	A3-1 避難の開始 092	ゾーン NO.	A3-1 避難の開始 093	ゾーン NO.	A3-1 避難の開始 094	ゾーン NO.	A3-1 避難の開始 095
資料名	・手袋	資料名	・石油ストーブとそれを取り囲むパイプいす	資料名	・使い捨てレインコート	資料名	・敷物・布団
Photo		Photo		Photo		Photo	
寸法W・H	W 200×H 200	寸法	W 1500×D 1500 範囲	寸法	410×435×112 折りたたみ状態	寸法	W 400 ×H 300
保全・収集	○●/○○○	保全・収集	○●/○○○	保全・収集	○●/○○○	保全・収集	○●/○○○
出典・備考	○●○○○○○○○○○○○○○	出典・備考	○●○○○○○○○○○○○○○	出典・備考	○●○○○○○○○○○○○○○ 雨具(カッパ)	出典・備考	○●○○○○○○○○○○○○○

大項目: A3原子力発電所事故直後の対応	小項目: A3-1 避難の開始	展示区分: 実物資料	資料区分: 当時の避難生活の苦勞・戸惑い・不安や、突然の移動状況が伝わる資料
----------------------	-----------------	------------	--

資料区分理由: 自然災害による避難から、原子力発電所事故によりさらに転々としてしまった避難の状況や苦勞を伝える資料。

A3-1 避難の開始

避難の様子や当時の証言を通し、取るものもとりあえず故郷を後に、先が見えないままに、避難先へ向かった人々の戸惑い、不安、恐怖を想像してもらい、共感の深化を図る。
また、情報が錯綜し、混乱を極めた避難所での受け入れや、何度も避難先を変えなければならなかった避難者のことなど、当時の現地の様子を生々しく伝える。避難所で使われた品々から、とりあえずの物資でなんとか日々を過ごしていたことを想像してもらい、当時の避難生活の苦しさを伝える。また、現在の防災計画との比較等をおとして、災害への日頃の備えの重要性を訴求する。



・コメント

※実物資料候補については、未収集のものを含みます。収集可否の確認を含めて調整中のため、確定ではありません。

ゾーン	A3-1 避難の開始	ゾーン	A3-1 避難の開始	ゾーン	A3-1 避難の開始	ゾーン	A3-1 避難の開始
NO.	096	NO.	097	NO.	098	NO.	099
資料名	・毛布・衣類など	資料名	・非常食(スティックパン・白米他)	資料名	・レトルト非常食	資料名	・仮設住宅団地案内看板
Photo		Photo		Photo		Photo	
寸法W・H	W 400 × H 300	寸法	W 360 × D260H 180	寸法	W 200 × H 200	寸法	W 900 × H 600 厚12
保全・収集	○○/○○○	保全・収集	○○/○○○	保全・収集	○○/○○○	保全・収集	○○/○○○○○
出典・備考	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	出典・備考	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ス ティックパン箱(2点)災害備蓄用パン箱(1点)	出典・備考	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○		○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ 標識: 応急仮設住宅団地

ゾーン	A3-1 避難の開始
NO.	100
資料名	・段ボールテーブル
Photo	
寸法W・H	W600×D600H 300
保全・収集	○○○・○○○○
出典・備考	FURE+○○○○○○○ ○○○○○へ寄託

No. G3-2	項目名 県内に広がる不安	種類 コーナー解説	中項目 A3-2 県内に広がる不安	大項目 A3原子力発電所事故直後の対応
-------------	-----------------	--------------	----------------------	------------------------

 <p>※デザインは参考イメージです。</p>	<p>ねらい</p> <p>「放射線」という目に見えないものの脅威に初めて晒され、混乱、困惑する社会と人々の記録とその対応を、放射線の影響の範囲や避難指示区域や避難所の推移などの情報と共に伝える。このような有事の際の正しい情報の入手や初期行動の重要性を改めて訴求する。</p> <p>また、放射線の影響は、福島の産業、特に農林水産業へ大きな打撃を与えた。未だに続く風評の始まりとして、福島が被った経済的な影響の大きさを伝える。</p>	コメント
	<p>仕様</p> <p>シルク印刷 白</p>	
	<p>サイズ</p> <p>W750×H510</p>	
解説文(案)	<p>展示内容</p> <p>A3-2-0 ○証言映像</p> <p>A3-2-1 ○放射線への不安(解説)</p> <p>★避難の推移など(原発避難の7日間) (映像+マップ)</p> <p>○実物資料</p> <p>・スクリーニング等に関する資料</p> <p>A3-2-2 ○産業への影響と各団体の対応経過 (解説)</p>	備考

大項目: A3原子力発電所事故直後の対応	小項目: A3-2 県内に広がる不安	アイテム: ★A3-2-1 避難の推移など(原発避難の7日間)	工種: デジタルコンテンツ
----------------------	--------------------	---------------------------------	---------------

【コンテンツ仕様】 プロジェクター、200インチLEDモニター、24タッチパネル、パソコン

展示のねらい 「放射線」という目に見えない脅威に晒され、混乱する社会と人々。その様子を様々なデータにより再現することで、リアルに表現する。また、スタッフの操作による解説モードを設け、研修での利用者に対して様々な情報を提供する。

映像構成概要

映像の構成とねらい

原発避難の7日間

被災者はもちろんのこと、日本全体に深い傷跡を残し、今なお終息に向けた不断の努力が続けられている福島第一原子力発電所事故。膨大なビッグデータや当事者の証言から明らかになってきた、3月11日の発災から18日までの7日間の軌跡を、「7日間の事故の実像」「避難を強いられた人々」「滞った物流」の3つのテーマにフォーカスして提示する展示映像を展開します。実写映像とビッグデータ（NHK協力）による解析映像をシンクロさせることで来館者に分かりやすく提示し、災害初期における行動のための課題を浮き彫りにしていきます。

■フォーカステーマと映像のねらい

7日間の事故の実像

発災からの7日間、次々と発生する「想定外」の出来事に、国や自治体、東京電力は何を考慮しどう行動したのか。事故当時明らかになっていなかった資料や証言をもとに、原子力災害の根幹となった福島第一原子力発電所における事故の実像を克明に解き明かすとともに、ビッグデータによって解析した放射性物質の飛散実態を重ねることで、手探りの状況の中、選択を迫られてきた人々の行動を追っていきます。

避難を強いられた人々

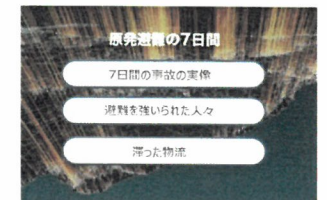
刻一刻と避難指示区域が拡大していく中、避難を強いられた人々とともに、錯綜する情報の中で「屋内退避」という特殊な状況に置かれた人々にも焦点を当て、生活基盤を奪われていった人々の7日間の動きを、ビッグデータの解析データとシンクロすることでその実態を克明に提示し、地震や津波を乗り越えた人々が背負わされた「見えない恐怖」原子力災害の本質的な問題に迫ります。

滞った物流

避難指示区域の拡大とともに広がっていく「物流空白地帯」。物流全体の流れを追った後、「屋内退避」で外出を制限され、区域外からの物資の流入も滞ったことで「陸の孤島」と化した南相馬市にフォーカスし、ギリギリで命がけの選択を迫られた人々の苦悩と決断を、物流の観点から明らかにしていきます。



プロジェクターによる映像投影とLEDパネルによる大型の2画面構成により、多角的な情報を確認できるようにする。



コンテンツの選択はタッチパネルで行う・通常は来館者用の画面になっているが、切り替えて研修用の画面を出すことができる。

◇待機画面について


上部スクリーンのみを使用して、このコーナーのコンセプトを象徴する待機画面を背景に、3つのフォーカステーマをタッチパネルで選択することで映像が起動することを伝える文字情報をカラーシュします。来場者がタッチパネルで上記3つのフォーカステーマを選択すると、上部映像のスタートと同期した下部LEDの演出もスタートします。

●メッセージ案

“この映像はビッグデータを活用し、原子力発電所災害発災時からの7日間を3つの角度から検証したものです。
タッチパネルモニターに表示された3つのメニューから見たい映像をタッチしてください。”
といった内容の文字情報が、様々な言語でスクリーン上に流れます。

●待機画面例:1


3.11-3.18 日本版Seismic Monitor



2011年3月11日0:00から3月18日23:59までのM4.5以上の日本を震源とする地震を可視化した「Seismic Monitor」

●待機画面例:2

3.11-3.18 occurrence watch



2011年3月11日14:28から3月18日の7日間に起きた、映像で描かれる様々な出来事の原因時間を表示する「occurrence watch」

大項目: A3原子力発電所事故直後の対応	小項目: A3-2 県内に広がる不安	アイテム: ★A3-2-1 避難の推移など(原発避難の7日間)	工種: デジタルコンテンツ
----------------------	--------------------	---------------------------------	---------------

【コンテンツ仕様】 プロジェクター、200インチLEDモニター、24タッチパネル、パソコン

展示のねらい 「放射線」という目に見えない脅威に晒され、混乱する社会と人々。その様子を様々なデータにより再現することで、リアルに表現する。また、スタッフの操作による解説モードを設け、研修での利用者に対して様々な情報を提供する。

シナプシス構成案

7日間の事故の実像

映像		内容	映像		内容
上	下		上	下	
オープニング フラッシュ映像	Photo	福島、そして日本に深い傷を刻んだ、福島第一原子力発電所事故。あの時何が起きていたのか？これは、3月11日以降の7日間、全電源喪失という未曾有の事態の中で、何が起きていたのかを検証していきます。	Photo	15日 放射線物質飛散 シミュレーション ※後日解析データをもとに構成	3月15日 6時14分頃、大きな衝撃音と振動が発生し、その後4号機原子炉建屋の水素爆発とみられる損傷が確認されました。
Photo	F1周辺CGマップ 津波到達CG	3月11日14時46分 東北地方太平洋沖地震が発生 福島第一原子力発電所では震度6強の揺れを観測。6基の原子炉の内、発災当時、4号機から6号機は定期点検のため停止中で、稼働中の1号機から3号機は地震を感じて緊急停止しました。しかし、その約50分後に発電所を襲った津波が全交流電源喪失という壊滅的な被害をもたらします。 19時3分、政府は史上初めてとなる「原子力緊急事態宣言」を発令します。	Photo	16日 放射線物質飛散 シミュレーション ※後日解析データをもとに構成	3月16日 10時以降、観測される放射線量の上昇が続きます。原子力安全・保安院は、記者会見で「圧力抑制室が破損した2号機が原因である可能性が高い」と説明しました。
Photo	Photo		Photo	17日 放射線物質飛散 シミュレーション ※後日解析データをもとに構成	3月17日 9時48分、使用済み核燃料プールの水位が低下していた3号機に対し、陸上自衛隊ヘリコプター2機が消火バケットを使い、計4回30トンの放水を行いました。さらに、19時35分、自衛隊の各飛行場から集合した大型破壊機救難消防車と救難消防車計5台が3号機に対して約30トンの注入を行いました。
Photo	Photo	3月12日 早朝から、炉心融解の危険が迫る1号機の格納容器内の蒸気を外に逃がして圧力を下げる操作「ベント」を開始しますが、15時36分、1号機原子炉建屋は水素爆発を起こして大破しました。	Photo	18日 放射線物質飛散 シミュレーション ※後日解析データをもとに構成	3月18日 10時00分、各号機共用で使用済み核燃料を貯蔵するプールの水位が確保されていること、使用済み核燃料の乾式輸送容器建屋の外観に異常がないことが確認されます。14時からは自衛隊の消防車と東京電力の協力企業社員が操作する在日米軍提供の消防車を使って3号機に放水。2号機の非常用炉心冷却装置を復帰させるため、東京電力が外部送電線からの受電を完了し、建屋内への送電の準備が始まりました。
F1内部映像	13日 放射線物質飛散 シミュレーション ※後日解析データをもとに構成	3月13日 爆発した1号機には核分裂反応を抑制するホウ酸を添加した海水の注入作業が行われました。2号機と3号機は、全電源喪失に備えた注水装置が炉心に水を注入し続けていましたが、圧力容器の減圧がうまくいかず、圧力容器内の水位が低下し、3月13日4時15分に、炉心の露出が始まりました。	Photo	現場作業フラッシュ マルチスライド	これが、この先も続く原子力災害との闘いの、最初の1週間の記録です。
Photo	14日 放射線物質飛散 シミュレーション ※後日解析データをもとに構成	3月14日 11時1分、3号機原子炉建屋のオペレーションフロアから上が、1号機と同じように水素爆発し大破しました。この爆発で7人が負傷し、復旧作業も中断しました。その後数日間、3号機原子炉建屋からは何度も煙が上がるようになります。			

コメント


大項目: A3原子力発電所事故直後の対応	小項目: A3-2 県内に広がる不安	アイテム: ★A3-2-1 避難の推移など(原発避難の7日間)	工種: デジタルコンテンツ
----------------------	--------------------	---------------------------------	---------------

【コンテンツ仕様】 プロジェクター、200インチLEDモニター、24タッチパネル、パソコン

展示のねらい 「放射線」という目に見えない脅威に晒され、混乱する社会と人々。その様子を様々なデータにより再現することで、リアルに表現する。また、スタッフの操作による解説モードを設け、研修での利用者に対して様々な情報を提供する。

シナプシス構成案

避難を強いられた人々

映像		内容	映像		内容
上	下		上	下	
オープニング フラッシュ映像	Photo	3つの原子炉がメルトダウンし、7日間で14万人が避難した福島第一原子力発電所事故。 あの時刻が起きていたのか、これは、3月11日以降の7日間、福島第一原子力発電所の最も近くにいた人々が錯綜する情報の中で、懸命に対応を模索した行動の記録です。	Photo		6時9分、町は防災無線で全町民に対し、避難のため最寄りの集会所に集まるよう指示。国から派遣されていたバス約50台を主な移動手段として、全町避難が始まりました。町外へ全町民が避難するという事態に現場は混乱していました。避難先として目指した田村市の避難所は町に近い方から満杯になり、バスはさらに西へと誘導されます。町民は13日未明にかけて、田村市、三春町、小野町、郡山市に分散して避難することになりました。
Photo	Photo	3月11日14時46分 東北地方太平洋沖地震が発生 福島県に最大震度6強の揺れをもたらしました。地震発生約50分後、巨大な津波が数回にわたり沿岸部に押し寄せます。 そしてこの津波は、大熊町と双葉町にまたがる、福島第一原子力発電所に全交流電源喪失という壊滅的な被害をもたらします。	Photo		双葉町でも8時に川俣町への避難指示が広報されました。町民は川俣小学校をはじめ11か所の避難所へ出発します。 そして15時36分、1号機原子炉建屋が水素爆発を起こしました。
Photo		福島第一原子力発電所の1号機から4号機が建つ大熊町では、庁舎内に災害対策本部を立ち上げ、地震、津波の被害状況の把握など情報を収集するとともに、福島第一原子力発電所の状況確認も行っていました。発災後、福島第一原子力発電所との直通電話は不通になっていましたが、15時35分ごろ、隣接する福島第二原子力発電所を通じて「緊急停止」と「火災なし」が確認されます。本部では再度津波が押し寄せることを考え、町を縦断する国道6号から東側の住民を町総合スポーツセンターへ避難誘導を行いました。	Photo		3月13日 「ほんの2、3日のつもりだった」 大熊町も双葉町でも、多くの町民が着の身のままでバスに乗りました。しかし避難先のテレビで1号機建屋の水素爆発を知り、事態の深刻さを把握していきます。
Photo		福島第一原子力発電所の5号機と6号機が建つ双葉町も沿岸部が津波に襲われます。町では双葉中学校、双葉北小学校、ヘルスケアふたば等に避難所を開設し、2,500人以上の町民を収容。余震の続く中、不安な一夜を過ごしました。	Photo		3月14日 11時 3号機原子炉建屋が水素爆発を起こします。
Photo		19時3分、政府は史上初めてとなる「原子力緊急事態宣言」を発令。さらに、21時23分、福島第一原子力発電所の半径3Km圏内に避難指示が、半径10Km圏内に屋内退避指示が発令されました。	Photo	Photo	3月15日 この日、政府から20km～30Km圏内の住民に、屋内退避指示が出されました。
Photo		3月12日 早朝、政府から福島第一原子力発電所の半径10Km以内で避難指示が発令されます。10km圏内は大熊町の居住地のほぼ全域に当たり、この指示は「全町避難」を意味するに等しく、大熊町の災害対策本部に衝撃が走ります。			3月16日 屋内退避指示以降、多くの住民が留まっていた南相馬市も深刻な事態に直面します。原子力発電所事故の影響で、市内では必要な物資が足りなくなりました。
			Photo	Photo	3月17日 屋内退避に限界を感じた南相馬市は独自に市民に呼びかけ住民をバスなどで避難させることにしました。
			Photo	Photo	3月18日 南相馬市では、多くの住民が自主避難する中、高齢者など、自主避難が難しい人々もいました。 福島県で7日間に避難した人は14万人。病院や福祉施設からの避難の影響で死亡した人は、少なくとも99人に上りました。

コメント

青文字箇所はビックデータ情報確認中のため、差替可能性があります。

大項目: A3原子力発電所事故直後の対応	小項目: A3-2 県内に広がる不安	アイテム: ★A3-2-1 避難の推移など(原発避難の7日間)	工種: デジタルコンテンツ
----------------------	--------------------	---------------------------------	---------------

【コンテンツ仕様】 プロジェクター、200インチLEDモニター、24タッチパネル、パソコン

展示のねらい 「放射線」という目に見えない脅威に晒され、混乱する社会と人々。その様子を様々なデータにより再現することで、リアルに表現する。また、スタッフの操作による解説モードを設け、研修での利用者に対して様々な情報を提供する。

シナプシス構成案

滞った物流

映像		内容
上	下	
オープニング フラッシュ映像	Photo	福島、そして日本の社会や経済に大打撃を与えた福島第一原子力発電所事故。 あの時刻が起きていたのか、 3月11日以降の7日間、錯綜する情報に翻弄されながら、ギリギリの選択を迫られた人々の行動について、物流の観点から検証していきます。
Photo	F1周辺CGマップ 津波到達CG	3月11日14時46分 東北地方太平洋沖地震が発生 その50分後に襲った津波によって、福島第1原子力発電所は全電源喪失という壊滅的な被害を被ります。 19時3分、政府は史上初めてとなる「原子力緊急事態宣言」を発令。 20時50分には、半径2km以内の住民に避難指示が出されました。
Photo	半径2Km 避難指示区域・ オフサイトセンター位置 CG	
Photo	Photo	3月12日 事故が深刻化するにつれて避難指示範囲も拡大し、18時25分、半径20km以内に避難指示が出されます。 福島空港では、管制塔と保安施設の一部に被害があったものの、航空機の運航には支障がなかったため、被災地に向けた国内外からの救援物資の受け入れ拠点となり、津波被害を受けた仙台空港の代替空港としての役割も果たしていました。空港で受け入れた物資は、各地へ届けるべく、陸路等を使った懸命な対応がとられていましたが、一部の陸路は津波被害によって道路が寸断され、救援物資を届けようにも身動きの取れない状況が発生していました。
Photo	半径20Km 避難指示区域 寸断道路CG	
福島空港		3月13日 沿岸部は津波による被害で壊滅し、行方不明者の懸命な捜索が行われていました。一方、地震や津波の被害を免れながらも、避難指示対象に指定された地域の人々は、当初、避難の理由も、避難期間の見通しについての情報も無く、着の身着のままの状態、そのまま避難が長期化することになります。 人々の間に不安が広がる中、コンビニやスーパーは、自主的に炊き出しを行うなど、救援が来るまでの地域の生活を懸命に支えていました。
捜索活動 マルチスライド	Photo	
スーパー・コンビニの 自主的な炊き出し 助け合い マルチスライド		

映像		内容
上	下	
Photo	Photo	3月14日 地域の住民に物資を供給し続けたコンビニやスーパーも、 商品棚が空になり、閉鎖を余儀なくされますが、被災地域の外では、 被災地に物資を届けるべく、多くの民間事業者が努力を続けてました。
Photo	半径30Km 屋内避難指示区域 CG	3月15日 3月12日15時36分の1号機原子炉建屋、3月14日11時1分の3号機原子炉建屋に続き、この日の早朝、6時14分の4号機原子炉建屋の水素爆発が発生するなど、事故が拡大していく中、11時00分、半径20kmから30km圏内の地域に屋内退避が指示されました。この指示以降、30km圏内に留まった人々は思わぬ事態に巻き込まれていきます。
Photo	Photo	3月16日 原子力発電所近くから避難してきた多くの入院患者であふれかえっていた、南相馬市の災害拠点病院では、酸素や薬品のストックが底をつきかけていました。屋内退避指示が出た15日以降、原子力発電所事故の影響で物資が届かなくなっていたのです。
Photo	半径30kmからの 自主避難CG	3月17日 ガソリンや生活物資が底をついた南相馬市では、市外に向けて市長が窮状を訴えます。やがて、屋内退避に限界を感じた南相馬市は独自に市民に呼びかけ住民をバスなどで避難させることにしました。
Photo	空白地帯となった 半径30Km 屋内避難指示区域 CG	3月18日 屋内退避指示区域となった南相馬市でも、結果的に市外への避難を決定することとなり、住民は日常生活を奪われてしまったのです。

コメント

大項目: A3原子力発電所事故直後の対応	小項目: A3-2 県内に広がる不安	アイテム: ★A3-2-1 避難の推移など(原発避難の7日間)	工種: デジタルコンテンツ
----------------------	--------------------	---------------------------------	---------------

【コンテンツ仕様】 プロジェクター、200インチLEDモニター、24タッチパネル、パソコン

展示のねらい 「放射線」という目に見えない脅威に晒され、混乱する社会と人々。その様子を様々なデータにより再現することで、リアルに表現する。
また、スタッフの操作による解説モードを設け、研修での利用者に対して様々な情報を提供する。

シナプシス構成案

研修用ビッグデータ活用例

映像コンテンツに使用したCGをはじめ、ビッグデータを活用して震災時の様々な状況やその推移などをCGによって可視化した「震災ビッグデータ」を研修用の素材として編集。

映像	内容	映像	内容
Photo	2011年3月11日 地震発生時の浸水域人口 黄色い棒グラフが高いほど、多くの人が浸水域にいたことを示している。	Photo	震災前の被災3県企業の取引関係
Photo	地震から30分後の車速 赤: 時速10キロ以下の渋滞箇所	Photo	震災後の被災3県企業の取引関係
Photo	超渋滞現象 = グリッドロック	Photo	ヨウ素131の拡散 半減期 (8日) までのヨウ素131拡散シミュレーション
Photo	被害甚大地域にある約 4,500 社の所在地と移転場所 赤点が震災前の企業所在地, 黄点が震災後の移転先。黄色いラインは移転の軌跡。		※内容の詳細については、今後の協議により検討を進める

コメント

大項目:A3原子力発電所事故直後の対応	小項目:A3-2 県内に広がる不安	展示区分:実物資料	資料区分:「放射線の脅威・混乱、困惑する社会と人々の生活が伝わる資料」
---------------------	-------------------	-----------	-------------------------------------

資料区分理由:原子力発電所事故による想定外の事態と見えない不安、そして原子力災害への対応の困難さが実感として伝わる資料。

A3-2 県内に広がる不安

「放射線」という目に見えないものの脅威に初めて晒され、混乱、困惑する社会と人々の記録とその対応を、放射線の影響の範囲や避難指示区域や避難所の推移などの情報と共に伝える。このような有事の際の正しい情報の入手や初期行動の重要性を改めて訴求する。
また、放射線の影響は、福島県の産業、特に農林水産業へ大きな打撃を与えた。未だに続く風評の始まりとして、福島が被った経済的な影響の大きさを伝える。



・コメント

※実物資料候補については、未収集のものを含みます。収集可否の確認を含めて調整中のため、確定ではありません。

ゾーン	A3-2 県内に広がる不安	ゾーン	A3-2 県内に広がる不安	ゾーン	A3-2 県内に広がる不安	ゾーン	A3-2 県内に広がる不安
NO.	101	NO.	102	NO.	103	NO.	104
資料名	・スクリーニング済証	資料名	・食品等スクリーニング検査結果通知書	資料名	・除染通知文書など	資料名	・公益一時立入車両通行許可証
Photo	Photo	Photo	P97-98「除染」資料候補に移動	Photo	Photo	Photo	Photo
寸法W・H	W 146 × H 210	寸法	W 210 × H 300	寸法	W 250 × H 370	寸法	W 210 × H 300
保全・収集	○○○	保全・収集	○○○○	保全・収集	○○○○	保全・収集	○○○
出典・備考	○○○○○○○スクリーニング済証(名消し用ケース付)※裏面に「○○○において」とある	出典・備考	○○○○○○○○○○○○○○食品等放射能簡易分析結果通知書 A4	出典・備考	○○○○○○○○○○○○○○○の生活圏除染作業の実施について(お願い)A4 ※レターバック封筒付き	出典・備考	○○○○○○○○○公益一時立入車両通行許可証(3枚) 公益一時立入車両通行許可証(3枚)

ゾーン	A3-2 県内に広がる不安	ゾーン	A3-2 県内に広がる不安	ゾーン	A3-2 県内に広がる不安	ゾーン	A3-2 県内に広がる不安
NO.	105	NO.	106	NO.	107	NO.	108
資料名	・浪江町通行証	資料名	・広域環境モニタリングのための…調査報告書	資料名	・線量計と調整用ウラン鉱石	資料名	・マスク
Photo	Photo	Photo	※裏面に「○○○において」とある	Photo	Photo	Photo	Photo
寸法W・H	W 210 × H 300	寸法	W 210 × H 300	寸法	W 150 × H 150厚100	寸法	W 250 × H 250厚250
保全・収集	○○○	保全・収集	○○○	保全・収集	FURE	保全・収集	FURE
出典・備考	○○○○○○○○○公益一時立入車両通行許可証 長方形 A4	出典・備考	○○○○○○○○○広域環境モニタリングのための航空機を用いた放射性物質拡散状況調査報告書	出典・備考		出典・備考	

大項目: A3原子力発電所事故直後の対応	小項目: A3-2 県内に広がる不安	展示区分: 実物資料	資料区分: 「放射線の脅威・混乱、困惑する社会と人々の生活が伝わる資料」
----------------------	--------------------	------------	--------------------------------------

資料区分理由: 原子力発電所事故による想定外の事態と見えない不安、そして原子力災害への対応の困難さが実感として伝わる資料。

A3-2 県内に広がる不安

「放射線」という目に見えないものの脅威に初めて晒され、混乱、困惑する社会と人々の記録とその対応を、放射線の影響の範囲や避難指示区域や避難所の推移などの情報と共に伝える。このような有事の際の正しい情報の入手や初期行動の重要性を改めて訴求する。
また、放射線の影響は、福島産業、特に農林水産業へ大きな打撃を与えた。未だに続く風評の始まりとして、福島が被った経済的な影響の大きさを伝える。



・コメント

※実物資料候補については、未収集のものを含みます。収集可否の確認を含めて調整中のため、確定ではありません。

ゾーン	A3-2 県内に広がる不安	ゾーン	A3-2 県内に広がる不安	ゾーン	A3-2 県内に広がる不安	ゾーン	A3-2 県内に広がる不安
NO.	109	NO.	110	NO.	111	NO.	112
資料名	・フレキシブルコンテナバッグ	資料名	・タイベック各種、箱	資料名	・除染中(のぼり)	資料名	・除染中(ウマ)
寸法W・H	W 1000 × H 1000厚300	寸法	W 300 × H 400	寸法	W 350 × H 2100	寸法	H650×W300×D400
保全・収集	○○○○	保全・収集	○○○	保全・収集	○○	保全・収集	○○
出典・備考	○○○○○○○○○○ フレコン バック 袋状	出典・備考	○○○○○○○○○○○○○○○タイ ベックス ※ 段ボール(380×600× 530)に袋入り	出典・備考	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○○○○○		○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○○○○○

P97-98「除染」資料候補に移動

P97-98「除染」資料候補に移動

P97-98「除染」資料候補に移動

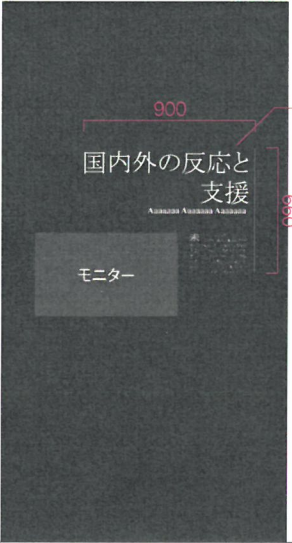
P97-98「除染」資料候補に移動

ゾーン	A3-2 県内に広がる不安	ゾーン	A3-2 県内に広がる不安	ゾーン	A3-2 県内に広がる不安	ゾーン	A3-2 県内に広がる不安
NO.	113	NO.	114	NO.	115 /116	NO.	117
資料名	・フジツボ付着アスファルト・瓦	資料名	・除染関係広報・DVD	資料名	・除染車パンフレット・DVD	資料名	・避難所で配布された安定ヨウ素剤
寸法W・H	W 400 × H 300	寸法	W150×H 200	寸法	W210×H 300 / W150×H 200	寸法	
保全・収集	○○○○	保全・収集	○○	保全・収集	○○/○○○	保全・収集	○○/○○○
出典・備考	○○○○○○○○○○ コンクリート 棧瓦に付着したフジツボ 照合番号 1123・1124 フジツボ付着アスファルト	出典・備考	環境省・JAEA ○○○○○○○○ 除染関係DVD1 点、冊子資料2点	出典・備考	○○○○○○○○○○ 道路除染車両力 タログ、DVD 1点 A4冊子1点	出典・備考	○○○○○○○○○○ 安定ヨウ素剤 安定ヨウ素剤 1 四角形 3.5×3.4

P97-98「除染」資料候補に移動

P97-98「除染」資料候補に移動

No. G3-3	項目名 国内外の反応と支援	種類 コーナー解説	中項目 A3-3国内外の反応と支援	大項目 A3原子力発電所事故直後の対応
-------------	------------------	--------------	----------------------	------------------------

 <p>※デザインは参考イメージです。</p>	<p>ねらい</p> <p>これまで経験したことのない原子力発電所事故の発生に寄せられた全国、世界中からの注目と支援について紹介する。原子力発電所事故を世界がどう報道したか、第三者の目で改めて見ることで、事故で起こったことへの客観的理解を促し、今後の教訓へとつなげる。さらに東日本大震災をきっかけとして始まったクラウドファンディングやツイッターを活用した支援など、これまでの大規模災害とは異なる取り組みを伝えるとともに、様々な支援に対する感謝を伝える。</p>	コメント
	<p>仕様</p> <p>シルク印刷 白</p>	
	<p>サイズ</p> <p>W900×H600</p>	
解説文(案)	<p>展示内容</p> <p>A3-3-0 ○証言映像 A3-3-1 ○世界が捉えた原子力発電所事故(解説) ○海外の報道・支援など関連映像 ○実物展示 ・海外がどう伝えたか示す資料 A3-3-2 ○実物展示 ・支援を寄せた人の思いがわかる資料、支援物資 ○東日本大震災をきっかけとしたクラウドファンディング(解説) ○ツイッターを用いた新たな支援(解説)</p> <p>備考</p>	

大項目: A3 原子力発電所事故直後の対応	小項目: A3-3 国内外の反応と支援	アイテム: A3-3-1 海外の報道・支援など関連映像	工種: 映像コンテンツ
【コンテンツ仕様】 表示機器:32inchモニター 映像尺:約2~3分 映像フォーマット:Hi-Vision ナレーション:なし 音楽:なし 効果音:なし プログラム:センサースタート			
展示のねらい これまで経験したことのない原子力発電所事故の発生に寄せられた全国、世界中からの注目と支援について紹介する。			
<p>展示のねらい</p> <p>※海外報道素材を調査の上、使用の可否、手続きを調査の上、詳細の検討をする</p> <div style="border: 2px solid #0056b3; border-radius: 15px; padding: 10px; text-align: center; margin: 10px auto; width: 80%;"> <p>世界は原子力発電所事故をどのように報道し、どのように日本を支援したのか。</p> <p>原子力発電所事故を世界がどう報道したか、第三者の目で改めて見ることで、 事故が起こったことへの客観的理解を促し、今後の教訓へとつなげる。</p> </div> <div style="border: 1px solid #ccc; height: 150px; margin: 10px auto; width: 80%; text-align: center;">Photo</div> <p>世界からも原子力発電所事故は大きな注目を受けました。水素爆発の映像も報道され、事故後に現地に立ち入りリポートする海外メディアもあった。 参考報道各社 CNN BBC ZDF CCTV 等</p> <div style="border: 1px solid #ccc; height: 150px; margin: 10px auto; width: 80%; text-align: center;">Photo</div> <p>甚大な被害を受けた日本に対し、海外からは資金援助や物資の提供の申し出があった。海外からの温かい支援を実際に報道された映像などで紹介。 各国支援金 米軍 トモダチ作戦 医療援助 等</p>	コメント		

大項目: A3原子力発電所事故直後の対応	小項目: A3-3 国内外の反応と支援	展示区分: 実物資料	資料区分: 国内外からの支援にまつわる資料
----------------------	---------------------	------------	-----------------------

資料区分理由: 東日本大震災、原子力災害に対する国内外からの支援の実態を伝える資料。

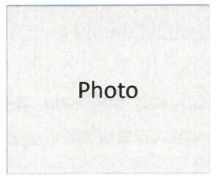
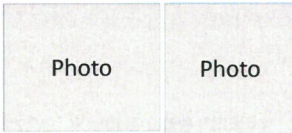


A3-3 国内外の反応と支援


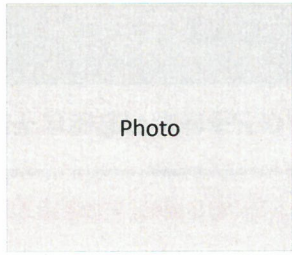


これまで経験したことのない原子力発電所事故の発生に寄せられた全国、世界中からの注目と支援について紹介する。原子力発電所事故を世界がどう報道したか、第三者の目で改めて見ることで、事故で起こったことへの客観的理解を促し、今後の教訓へとつなげる。さらに東日本大震災をきっかけとして始まったクラウドファンディングやツイッターを活用した支援など、これまでの大規模災害とは異なる取り組みを伝えるとともに、様々な支援に対する感謝を伝える。



・コメント

※実物資料候補については、未収集のものを含まず。収集可否の確認を含めて調整中のため、確定ではありません。

ゾーン	A3-3 国内外の反応と支援	ゾーン	A3-3 国内外の反応と支援	ゾーン	A3-3 国内外の反応と支援	ゾーン	A3-3 国内外の反応と支援
NO.	118	NO.	119	NO.	120	NO.	121
資料名	・民間からの支援物資	資料名	・民間からの支援物資	資料名	・民間からの支援物資	資料名	・玉寺町災害用備蓄毛布
							
寸法W・H	※700×700 (範囲)	寸法	※600×400 (範囲)	寸法	※600×400 (範囲)	寸法	W 400×D300 H 300
保全・収集	FURE	保全・収集	FURE	保全・収集	FURE	保全・収集	FURE
出典・備考	生活用品・日用品	出典・備考	デジタル機器	出典・備考	トイレトペーパー		

ゾーン	A3-3 国内外の反応と支援	ゾーン	A3-3 国内外の反応と支援	ゾーン	A3-3 国内外の反応と支援	ゾーン	A3-3 国内外の反応と支援
NO.	122	NO.	123	NO.	124	NO.	125
資料名	非常用保存食アルファ米炊き出しセット	資料名	・応援物資についていたラベル	資料名	・インディペンデント・オン・サンデー	資料名	・寄せ書
							
寸法W・H	W 300×H 400	寸法	W 360 ×D260H 180	寸法	W 300×H 400	寸法	
保全・収集	○○○	保全・収集	FURE	保全・収集		保全・収集	○○○・○○○○
出典・備考	※未開封五目ごはん、50食分、5年保証 ※FURE+○○○○○○	出典・備考		出典・備考	※英国新聞	出典・備考	FURE+○○○○○○

大項目:A3原子力発電所事故直後の対応

小項目:A3-3 国内外の反応と支援

展示区分:実物資料

資料区分:国内外からの支援にまつわる資料

資料区分理由:東日本大震災、原子力災害に対する国内外からの支援の実態を伝える資料。

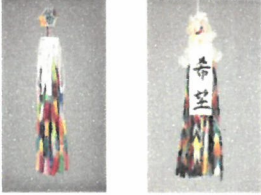
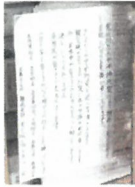

A3-3 国内外の反応と支援

これまで経験したことのない原子力発電所事故の発生に寄せられた全国、世界中からの注目と支援について紹介する。原子力発電所事故を世界がどう報道したか、第三者の目で改めて見ることで、事故で起こったことへの客観的理解を促し、今後の教訓へとつなげる。さらに東日本大震災をきっかけとして始まったクラウドファンディングやツイッターを活用した支援など、これまでの大規模災害とは異なる取り組みを伝えるとともに、様々な支援に対する感謝を伝える。



・コメント

※実物資料候補については、未収集のものを含みます。収集可否の確認を含めて調整中のため、確定ではありません。

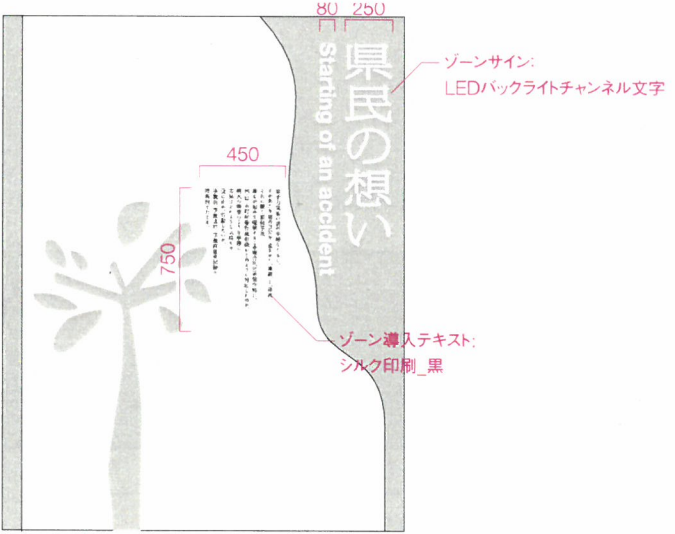
ゾーン	A3-3 国内外の反応と支援	ゾーン	A3-3 国内外の反応と支援	ゾーン	A3-3 国内外の反応と支援	ゾーン	A3-3 国内外の反応と支援
NO.	126	NO.	127	NO.	128	NO.	129
資料名	・折り鶴など	資料名	・支援企業社員一同メッセージ	資料名	・○○○○○○○○○○○寄せ書き	資料名	・応援物資についていたラベルなど
							
寸法W・H		寸法	W 210 × H 300	寸法	W 1100 × H 800	寸法	W 210 × H 300(A4ファイル)
保全・収集	○○○・○○○	保全・収集	FURE	保全・収集	FURE	保全・収集	FURE
出典・備考	※FURE同種資料収集済み	出典・備考		出典・備考			

ゾーン	A3-3 国内外の反応と支援	ゾーン	A3-3 国内外の反応と支援
NO.	130	NO.	131
資料名	・○○○○○○○サインボール	資料名	・衣料の支援物資
			
寸法W・H	220φh220	寸法	
保全・収集	○○○・○○○	保全・収集	○○○・○○○
出典・備考	FURE+○○○○○	出典・備考	※○○○支援品 ※FURE+○○○○○

A 4. 県民の想い



No. G4-0-1	項目名 県民の想いゾーン導入	種類 ゾーン解説	中項目 A4-0 ゾーンサイン&イントロ	大項目 A4県民の想い
---------------	-------------------	-------------	-------------------------	----------------

 <p>※デザインは参考イメージです。</p>	<p>ねらい</p> <p>安全神話の中にあった、平穏な「故郷の日常」と、原子力発電所事故後にその「日常」がどのように変わってしまったのか、県民の想いを、「記憶(証言・筆跡・手記等)」と、県下の「記録(事実・データ等)」を組み合わせ蓄積し発信。特に、原子力災害による風評、それに伴う産業への打撃、放射線に対する理解の違いなど、原子力災害特有の事象を中心に発信する。</p>	<p>コメント</p>
	<p>仕様</p> <p>ゾーンサイン: LEDバックライトチャンネル文字 ゾーン導入テキスト:シルク印刷 白</p>	
	<p>サイズ</p> <p>ゾーンサイン: 日(大)W250/英W80 ゾーン導入テキスト:約W450×H750</p>	
<p>解説文(案)</p>	<p>展示内容</p> <p>A4-0 ゾーンサイン&イントロ</p> <p>※以下証言映像及び実物展示のみ A4-1 災害時に感じた不安・恐れ A4-2 楽しかった学校生活と突然の別れ A4-3 家族との思い出や地域生活と別れ A4-4 生活基盤の喪失と将来への不安 A4-5 ★全体演出</p>	
	<p>備考</p>	

大項目: A4 県民の想い	小項目: A4-5 全体演出	アイテム: ★全体演出	工種: 映像コンテンツ(プロジェクター5台による投影)
---------------	----------------	-------------	-----------------------------

【コンテンツ仕様】 表示機器:プロジェクター5台投影 映像尺:約4~5分 ナレーション:あり 音楽:あり 効果音:あり 言語:日本語のみ プログラム:定時上映

展示のねらい 原子力発電所事故前と事故後の人々の暮らし、心情の変化をスクリーン全体を活かしたマルチ映像で表現。

《演出の考え方》

震災の関連展示物と映像の複合演出で 県民の想いをメッセージ

《通常時》

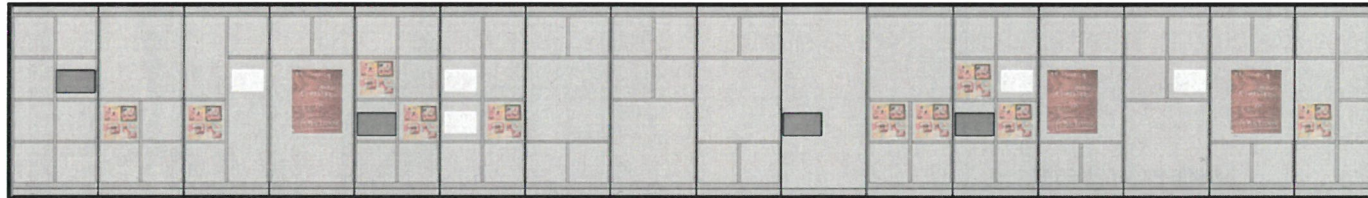
- ・震災関連の資料展示として活用

《映像演出時》

- ・映像の一部が透けて展示物が見える演出やプロジェクションマッピングの手法を用いて、来館者のイメージを増幅
- ・パノラマスクリーンとして来館者の没入感を演出

■ 通常時

震災関連資料展示



■ 映像演出時

映像と展示物の複合演出

Photo

パノラマスクリーン演出

Photo

コメント

大項目: A4 県民の想い	小項目: A4-5 全体	アイテム: ★全体演出	工種: 映像コンテンツ(プロジェクター5台による投影)
---------------	--------------	-------------	-----------------------------

【コンテンツ仕様】 表示機器: プロジェクター5台投影 映像尺: 約4~5分 ナレーション: あり 音楽: あり 効果音: あり 言語: 日本語のみ プログラム: 定時上映

展示のねらい 原子力発電所事故前と事故後の人々の暮らし、心情の変化をスクリーン全体を活かしたマルチ映像で表現。

《画面イメージ》

Photo

ブロック ①

《ブロックの主な流れ》

こころのふるさと 福島

豊かな自然や様々な文化、暮らし、そして笑顔溢れる県民の姿など、福島の平穏な日常を描きながら震災前の様子を振り返る。

《主な構成要素》

- ・緑豊かな自然
- ・広大に広がる海
- ・にぎわいを見せるお祭り
- ・県民の笑顔
- ・学校生活
- ・家族との思い出 など

ブロック ②

《ブロックの主な流れ》

震災発生による 影響

有識者へのインタビューを主軸に展開しながら、関連資料や映像をインサート。県民の想いを交えながら震災当時の様子をしっかりと伝える。

《主な構成要素》

- ・有識者の声
- ・新聞記事やニュース映像
- ・県民の声 など

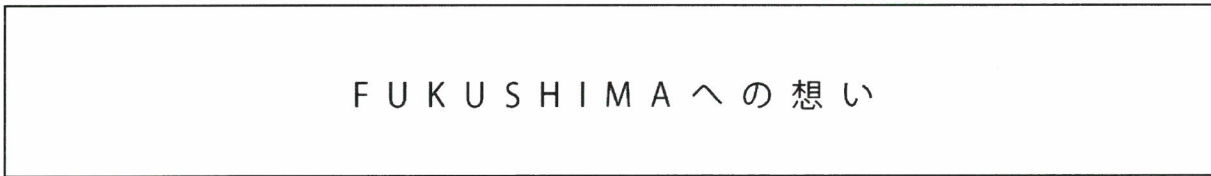
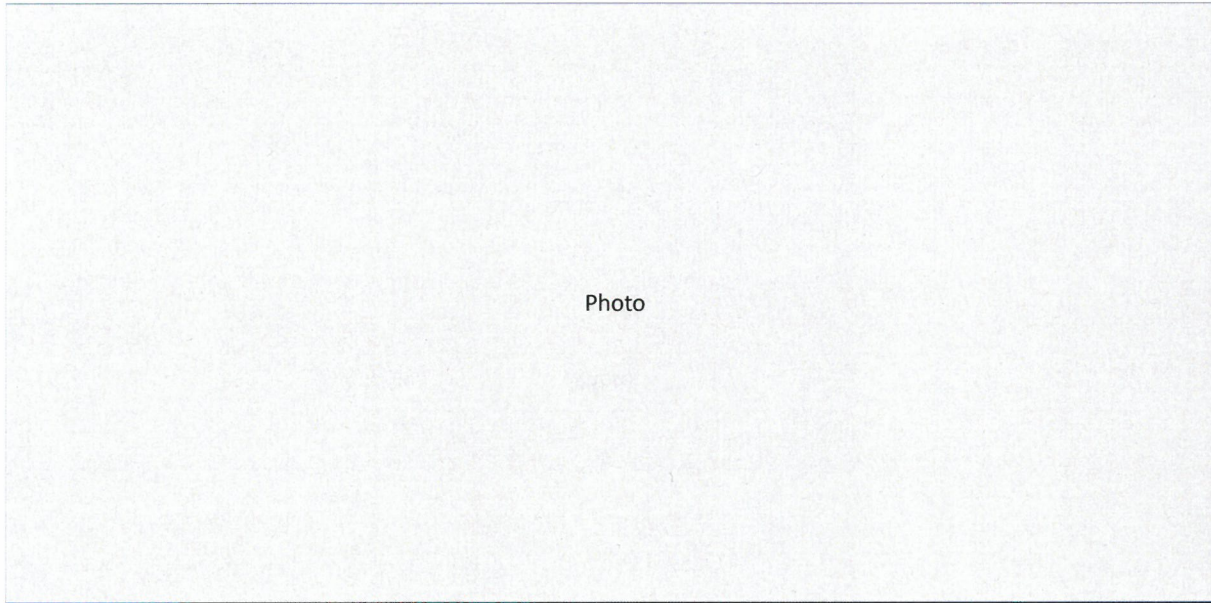
コメント

大項目: A4 県民の想い	小項目: A4-5 全体	アイテム: ★全体演出	工種: 映像コンテンツ(プロジェクター5台による投影)
---------------	--------------	-------------	-----------------------------

【コンテンツ仕様】 表示機器: プロジェクター5台投影 映像尺: 約4~5分 ナレーション: あり 音楽: あり 効果音: あり 言語: 日本語のみ プログラム: 定時上映

展示のねらい 原子力発電所事故前と事故後の人々の暮らし、心情の変化をスクリーン全体を活かしたマルチ映像で表現。

《画面イメージ》



コメント

ブロック ③

《ブロックの主な流れ》

住民の不安と恐怖

震災によって一変した日常生活。仮設住宅での生活や長期避難など被災直後から現在につづく不安など、被災者の声を主軸に関連資料と共に展開。展示資料との複合演出も検討。

《主な構成要素》

- ・被災者の声
- ・関連したインサート資料や映像

ブロック ④

《ブロックの主な流れ》

福島への想い

「家に帰りたい」「やっぱり福島が好き」など、住民の声を主軸に展開し、地元への想いを綴っていく。さらに、関連資料や展示資料を活用し、来館者のイメージを増幅していく。

《主な構成要素》

- ・住民の声
- ・関連したインサート資料や映像
- ・関連した展示物

大項目:A4県民の想い

小項目:A4-1 災害時に感じた不安・恐れ
A4-2 楽しかった学校生活と突然の別れ

展示区分:実物資料

資料区分:それぞれの県民の想いが伝わる資料

資料区分理由:災害によって失われてしまった、生活を取り巻く家族・友人・地域といった身近な存在や当たり前の日常を表す資料。

A4 県民の想い

安全神話の中にあつた、平穏な「故郷の日常」と、原子力発電所事故後にその「日常」がどのように変わってしまったのか、県民の想いを、「記憶(証言・筆跡・手記等)」と、県下の「記録(事実・データ等)」を組み合わせ蓄積し発信。特に、原子力災害による風評、それに伴う産業への打撃、放射線に対する理解の違いなど、原子力災害特有の事象を中心に発信する。

展示位置



・コメント

※実物資料候補については、未収集のものを含みます。収集可否の確認を含めて調整中のため、確定ではありません。

ゾーン	A4-1災害時に感じた不安・恐れ	ゾーン	A4-1災害時に感じた不安・恐れ	ゾーン	A4-1災害時に感じた不安・恐れ	ゾーン	A4-1災害時に感じた不安・恐れ
NO.	132	NO.	133	NO.	134	NO.	135
資料名	・「県民健康調査」	資料名	・子供用線量計	資料名	・各種相談案内書	資料名	賠償請求手続き書類
Photo		Photo		Photo		Photo	
寸法W・H	228×325	寸法		寸法	W 210 ×H 300	寸法	W 210 ×H 300
保全・収集	○○・○○○○	保全・収集	未入	保全・収集	○○/○○○○・○○○	保全・収集	未入
出典・備考	○○○○○○○○○○「県民健康調査」書類一式「県民健康調査」書類一式	出典・備考	※○○○でNPOIによる配布物	出典・備考	①○○○○○○○○○○ ②○○○○○○○○○○ ③○○○○○○○○○○	出典・備考	※「訪問相談チーム」による巡回相談・賠償請求手続き書類

ゾーン	A4-1災害時に感じた不安・恐れ	ゾーン	A4-1災害時に感じた不安・恐れ	ゾーン	A4-1災害時に感じた不安・恐れ	ゾーン	A4-1災害時に感じた不安・恐れ
NO.	141	NO.	142	NO.	143	NO.	144
資料名	・火災で溶けた街灯	資料名	・津波で流された交通標識	資料名	・津波で曲がった○○○欄干	資料名	津波で倒壊した○○小学校の案内看板
Photo Photo		Photo		Photo		Photo	
寸法	395×222×115	寸法		寸法	1900×540×53	寸法W・H	1000×299×4
保全・収集	○○・○○○○	保全・収集	○○・○○○○	保全・収集	○○・○○○○	保全・収集	○○・○○○
出典・備考	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○ 焼けた街灯看板と 溶けた街灯のフード破片	出典・備考	○○○○○	出典・備考	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○	出典・備考	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○ 案内板

大項目:A4県民の想い

小項目:A4-1 災害時に感じた不安・恐れ
A4-2 楽しかった学校生活と突然の別れ

展示区分:実物資料

資料区分:それぞれの県民の想いが伝わる資料

資料区分理由:災害によって失われてしまった、生活を取り巻く家族・友人・地域といった身近な存在や当たり前の日常を表す資料。

A4 県民の想い

安全神話の中にあつた、平穏な「故郷の日常」と、原子力発電所事故後にその「日常」がどのように変わってしまったのか、県民の想いを、「記憶(証言・筆跡・手記等)」と、県下の「記録(事実・データ等)」を組み合わせ蓄積し発信。特に、原子力災害による風評、それに伴う産業への打撃、放射線に対する理解の違いなど、原子力災害特有の事象を中心に発信する。

展示位置



コメント

※実物資料候補については、未収集のものを含みます。収集可否の確認を含めて調整中のため、確定ではありません。

ゾーン	A4-1災害時に感じた不安・恐れ	ゾーン	A4-2楽しかった学校生活と突然の別れ	ゾーン	A4-2楽しかった学校生活と突然の別れ	ゾーン	A4-2楽しかった学校生活と突然の別れ
NO.	145	NO.	136	NO.	137	NO.	138
資料名	・海岸保全区域表示板	資料名	・新学期席替え表	資料名	全校音楽コンクール、小学校の部(合唱)	資料名	-2年3組2011年の目標
寸法	900×640×2	寸法W・H	W600 ×H 450	寸法	130φ	寸法	W 200 ×H 300
Photo		Photo		Photo		Photo	
保全・収集	○○・○○○	保全・収集	○○○○・FURE	保全・収集	○○○	保全・収集	○○○○○・○○○
出典・備考	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ (○○○○○○○○)海岸保全区域表示板	出典・備考		出典・備考	※福島県下小中学校音楽祭記録映像、平成17年9月	出典・備考	※FURE+○○○○○○

ゾーン	A4-2楽しかった学校生活と突然の別れ	ゾーン	A4-2楽しかった学校生活と突然の別れ	ゾーン	A4-2楽しかった学校生活と突然の別れ	ゾーン	A4-2楽しかった学校生活と突然の別れ
NO.	139	NO.	140	NO.	146	NO.	147
資料名	・3年1組レク大会の記録	資料名	・今年の漢字	資料名	・遺足アルバム	資料名	・花がれき
寸法	W 1100 ×H 700	寸法W・H	W 200 ×H 300	寸法	W 200 ×H 150	寸法	W600×H 200
Photo		Photo		Photo		Photo	
保全・収集	○○○○○・○○○	保全・収集	○○○○○・○○○	保全・収集	○○○○○・○○○	保全・収集	FURE
出典・備考	※FURE+○○○○○○	出典・備考	※FURE+○○○○○○	出典・備考	FURE+○○○○○○	出典・備考	県立保原高校美術部製作

大項目:A4県民の想い

小項目:A4-1 災害時に感じた不安・恐れ
A4-2 楽しかった学校生活と突然の別れ

展示区分:実物資料

資料区分:それぞれの県民の想いが伝わる資料

資料区分理由:災害によって失われてしまった、生活を取り巻く家族・友人・地域といった身近な存在や当たり前の日常を表す資料。

A4 県民の想い

安全神話の中にあつた、平穏な「故郷の日常」と、原子力発電所事故後にその「日常」がどのように変わってしまったのか、県民の想いを、「記憶(証言・筆跡・手記等)」と、県下の「記録(事実・データ等)」を組み合わせ蓄積し発信。特に、原子力災害による風評、それに伴う産業への打撃、放射線に対する理解の違いなど、原子力災害特有の事象を中心に発信する。



コメント

※実物資料候補については、未収集のものを含みます。収集可否の確認を含めて調整中のため、確定ではありません。

ゾーン NO.	A4-2楽しかった学校生活と突然の別れ 148	ゾーン NO.	A4-2楽しかった学校生活と突然の別れ 149	ゾーン NO.	A4-2楽しかった学校生活と突然の別れ 150
資料名	・放置された大切な楽器と譜面台	資料名	・トモダチに渡す縦じり途中のプリント	資料名	・教室に残されたランドセル、手提げ袋
	Photo		Photo		Photo
寸法W・H	W 1000 × H 1000厚300	寸法	W 320 × H 300	寸法	W 320 × H 300
保全・収集	○○○・○○○○○	保全・収集	○○○・○○○○○	保全・収集	○○○・○○○○○
出典・備考		出典・備考		出典・備考	

大項目:A4県民の想い	小項目:A4-3 家族との思い出や地域生活と別れ A4-4 生活基盤の喪失と将来への不安	展示区分:実物資料	資料区分:それぞれの県民の想いが伝わる資料
-------------	---	-----------	-----------------------

資料区分理由:災害によって失われてしまった、生活を取り巻く家族・友人・地域といった身近な存在や当たり前の日常を表す資料。

A4 県民の想い

安全神話の中にあつた、平穏な「故郷の日常」と、原子力発電所事故後にその「日常」がどのように変わってしまったのか、県民の想いを、「記憶(証言・筆跡・手記等)」と、県下の「記録(事実・データ等)」を組み合わせ蓄積発信。特に、原子力災害による風評、それに伴う産業への打撃、放射線に対する理解の違いなど、原子力災害特有の事象を中心に発信する。



・コメント

※実物資料候補については、未収集のものを含まず。収集可否の確認を含めて調整中のため、確定ではありません。

ゾーン	A4-3家族との思い出や地域生活と別れ	ゾーン	A4-3家族との思い出や地域生活と別れ	ゾーン	A4-3家族との思い出や地域生活と別れ	ゾーン	A4-3家族との思い出や地域生活と別れ
NO.	151	NO.	152	NO.	153	NO.	154
資料名	七五三奉納のぼり	資料名	・命名書	資料名	だるま市繰起飾り	資料名	吊るし雛
Photo	Photo						
寸法W・H	600×L3600	寸法	250×360	寸法	L1200	寸法	L1200
保全・収集		保全・収集	○○○	保全・収集	双葉町	保全・収集	○○○○
出典・備考	※FUREにて1時保全	出典・備考	※除染等作業中収集した品を返却のため公開展示中	出典・備考	※FURE+○○○○○○		

ゾーン	A4-3家族との思い出や地域生活と別れ	ゾーン	A4-3家族との思い出や地域生活と別れ	ゾーン	A4-3家族との思い出や地域生活と別れ	ゾーン	A4-3家族との思い出や地域生活と別れ
NO.	155	NO.	156	NO.	157	NO.	158
資料名	○○○飾り	資料名	・子供の初ホームラン映像	資料名	・子供会、家族アルバム	資料名	・将棋盤
	Photo	Photo	Photo	Photo	Photo		
寸法W・H	400φ	寸法	130φ	寸法	W300×H 200	寸法	W360×D 360h250
保全・収集	○○○	保全・収集	○○○	保全・収集	○○○	保全・収集	○○○
出典・備考		出典・備考	※除染等作業中収集した品を返却のため公開展示中	出典・備考	※除染等作業中収集した品を返却のため公開展示中	出典・備考	※除染等作業中収集した品を返却のため公開展示中

大項目:A4県民の想い	小項目:A4-3 家族との思い出や地域生活と別れ A4-4 生活基盤の喪失と将来への不安	展示区分:実物資料	資料区分:それぞれの県民の想いが伝わる資料
-------------	---	-----------	-----------------------

資料区分理由:災害によって失われてしまった、生活を取り巻く家族・友人・地域といった身近な存在や当たり前の日常を表す資料。

A4 県民の想い

安全神話の中にあつた、平穏な「故郷の日常」と、原子力発電所事故後にその「日常」がどのように変わってしまったのか、県民の想いを、「記憶(証言・筆跡・手記等)」と、県下の「記録(事実・データ等)」を組み合わせて蓄積し発信。特に、原子力災害による風評、それに伴う産業への打撃、放射線に対する理解の違いなど、原子力災害特有の事象を中心に発信する。

展示位置



・コメント

※実物資料候補については、未収集のものを含みます。収集可否の確認を含めて調整中のため、確定ではありません。

ゾーン	A4-3家族との思い出や地域生活と別れ	ゾーン	A4-3家族との思い出や地域生活と別れ	ゾーン	A4-3家族との思い出や地域生活と別れ	ゾーン	A4-3家族との思い出や地域生活と別れ
NO.	159	NO.	160	NO.	161	NO.	162
資料名	・こいのぼり	資料名	・犬の鑑札札	資料名	・書き置き	資料名	・野生動物に荒らされた糞・量(建具)
Photo	Photo Photo		Photo	Photo			Photo
寸法W・H		寸法	W30×H 60	寸法	W 210 ×H 300	寸法	
保全・収集	○○○	保全・収集	○○○	保全・収集	未収集	保全・収集	未収集
出典・備考	※除染等作業中収集した品を返却のため公開展示中	出典・備考	※除染等作業中収集した品を返却のため公開展示中	出典・備考	○○○○○ : ○○○○○○	出典・備考	○○○○○ : ○○○○○

ゾーン	A4-3家族との思い出や地域生活と別れ	ゾーン	A4-3家族との思い出や地域生活と別れ	ゾーン	A4-4生活基盤の喪失と将来への不安	ゾーン	A4-4生活基盤の喪失と将来への不安
NO.	163	NO.	164	NO.	165	NO.	166
資料名	・火を使わない線香	資料名	・○○○時刻表	資料名	・バリケード	資料名	・陶芸体験教室のキャンセルのファクス
Photo	Photo	Photo	Photo	Photo			
寸法W・H	W100×H 100	寸法	W 360×H 520	寸法	W3500 × H1600	寸法	W 210 ×H 300
保全・収集	○○・○○○	保全・収集	○○・○○○	保全・収集	未収集	保全・収集	未収集
出典・備考	○○○○○	出典・備考	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ 時刻表 ※他に2点あり ○○○○○○○	出典・備考	○○○・○○○ ※6号線沿い一般住宅敷入口部分	出典・備考	※○○○○○内陶芸体験教室

大項目:A4県民の想い	小項目:A4-3 家族との思い出や地域生活と別れ A4-4 生活基盤の喪失と将来への不安	展示区分:実物資料	資料区分:それぞれの県民の想いが伝わる資料
-------------	---	-----------	-----------------------

資料区分理由:災害によって失われてしまった、生活を取り巻く家族・友人・地域といった身近な存在や当たり前の日常を表す資料。

A4 県民の想い

安全神話の中にあつた、平穏な「故郷の日常」と、原子力発電所事故後にその「日常」がどのように変わってしまったのか、県民の想いを、「記憶(証言・筆跡・手記等)」と、県下の「記録(事実・データ等)」を組み合わせ蓄積し発信。特に、原子力災害による風評、それに伴う産業への打撃、放射線に対する理解の違いなど、原子力災害特有の事象を中心に発信する。

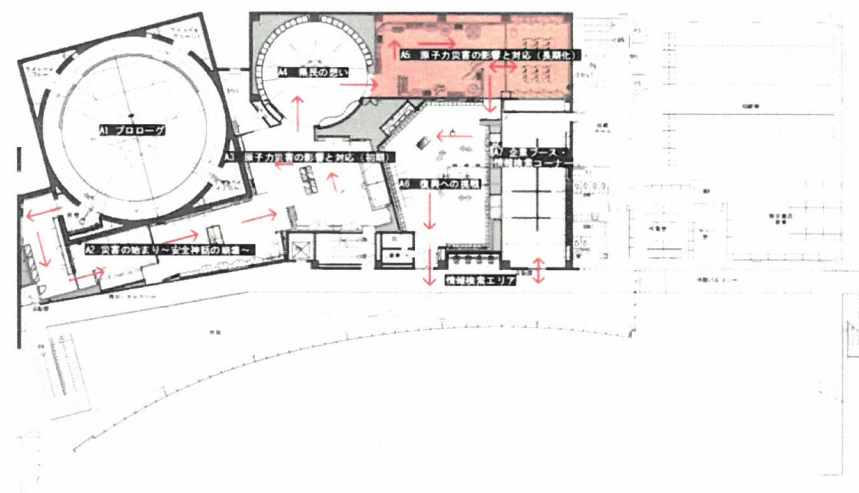


・コメント

※実物資料候補については、未収集のものを含みます。収集可否の確認を含めて調整中のため、確定ではありません。

ゾーン	A4-4生活基盤の喪失と将来への不安	ゾーン	A4-4生活基盤の喪失と将来への不安	ゾーン	A4-4生活基盤の喪失と将来への不安
NO.	167	NO.	168	NO.	169
資料名	・家畜処分指示書と取扱書	資料名	・農作物検体及び検査書類	資料名	・農作物出荷指示書及び通達
 <p>※安楽死処分方法に関して</p>				 <p>※原木しいたけに関して</p>	
寸法・H	W 210 × H 300	寸法	FURE	寸法	W 210 × H 300
保全・収集		保全・収集		保全・収集	
出典・備考	※農林水産省 ※安楽死処分方法に関して	出典・備考	※農作物検体はFUREにて保管	出典・備考	照会先不明:原木しいたけに関しての 通達書類

A 5. 長期化する原子力災害への対応



No. G5-0-1	項目名 長期化する原子力災害への対応	種類 ゾーン解説	中項目 A5-0 ゾーンサイン&イントロ	大項目 A5 長期化する原子力災害への対応
---------------	-----------------------	-------------	-------------------------	--------------------------

<p>ゾーンサイン: LEDバックライトチャンネル文字</p> <p>ゾーン導入テキスト: シルク印刷 黒</p> <p>※デザインは参考イメージです。</p>	<p>ねらい</p> <p>原子力災害が長期化する中で、ふくしま（特に避難市町村）がどのように対応してきたか、原子力災害の「影響」とその「対応」、そして「教訓」を資料や体験を通して学ぶことで、原子力防災につなげる。放射線測定機器や防護服など、場面場面で登場した機器を原子力防災に関する教育や企業等の研修に活用し、気づき・学びを提供する場とし、県民健康調査等の状況を伝える。</p>	コメント
	<p>仕様</p> <p>ゾーンサイン: LEDバックライトチャンネル文字 ゾーン導入テキスト:シルク印刷 白</p>	
	<p>サイズ</p> <p>ゾーンサイン: 日(大)W250/英W80 ゾーン導入テキスト:約W450×H750</p>	
解説文(案)	<p>展示内容</p> <p>A5-0 ゾーンサイン&イントロ A5-1 風評の払拭 A5-2 除染の取り組み A5-3 長期避難に対する取り組み A5-4 健康不安に対する取り組み</p> <p>備考</p>	

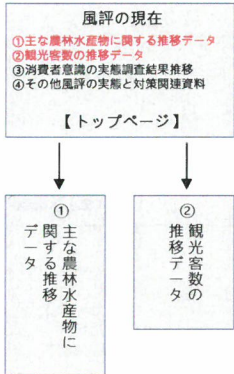
No. G5-1	項目名 風評の払拭	種類 コーナー解説	中項目 A5-1 風評の払拭	大項目 A5 長期化する原子力災害への対応
-------------	--------------	--------------	-------------------	--------------------------

<p>※デザインは参考イメージです。</p>	<p>ねらい</p> <p>震災後、県内で実施されてきた風評払拭に向けた取り組みを紹介し、安全性等について理解してもらうことにより、福島県に対するマイナスのイメージを払拭してもらうきっかけとする。</p>	コメント
	<p>仕様</p> <p>シルク印刷 黒</p>	
	<p>サイズ</p> <p>W750×H510</p>	
解説文(案)	<p>展示内容</p> <p>A5-1 ○研究者インタビュー ○風評の現在(デジタルコンテンツ) 1: 主な農林水産物に関する推移データ 2: 観光客数の推移データ 3: 消費者意識の実態調査結果推移 4: その他風評の実態と対策関連資料 ○実物資料 ・風評の実態を記録した資料 ・風評対策を記録した資料 ★数値データ</p>	
	備考	

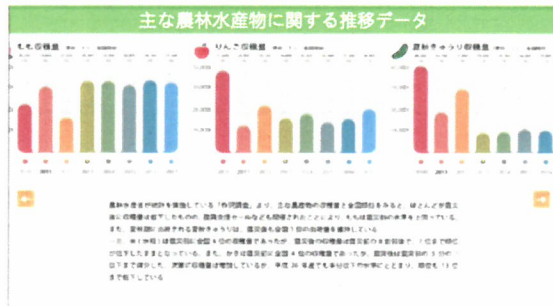
大項目: A5 長期化する原子力災害への対応	小項目: A5-1 風評の払拭	アイテム: 風評の現在	工種: デジタルコンテンツ
------------------------	-----------------	-------------	---------------

【コンテンツ仕様】 32インチタッチパネルディスプレイ、パソコン

展示のねらい 風評の実態は？原因はどこにあるのか？どうすれば払拭できるのか？解決策に結びつけるために、正確な実態の把握と、現在進められている対策を伝える。
農林水産物の推移データ、観光客数の推移データ、などのデータを蓄積と更新。消費者庁の風評に関する消費者意識の実態調査結果推移を紹介する。



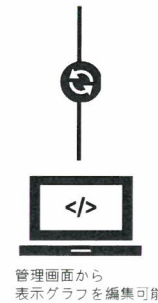
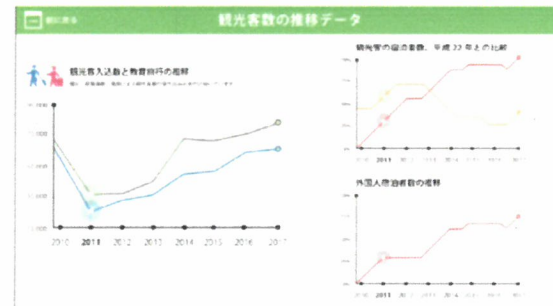
① 主な農林水産物に関する推移データ



- ・ 福島県内の主要な農産物に関する推移データをグラフで表示
- ・ グラフの解説文も合わせて表示
- ・ 左右のアイコンで表示画面を切り替え



② 観光客数の推移データ



コメント

大項目: A5 長期化する原子力災害への対応	小項目: A5-1 風評の払拭	アイテム: 風評の現在	工種: デジタルコンテンツ
------------------------	-----------------	-------------	---------------

【コンテンツ仕様】 32インチタッチパネルディスプレイ、パソコン

展示のねらい 風評の実態は？原因はどこにあるのか？どうすれば払拭できるのか？解決策に結びつけるために、正確な実態の把握と、現在進められている対策を伝える。農林水産物の推移データ、観光客数の推移データ、などのデータを蓄積と更新。消費者庁の風評に関する消費者意識の実態調査結果推移を紹介する。

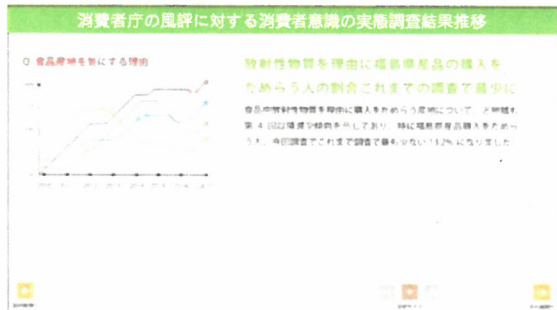
- 風評の現在
- ① 主な農林水産物に関する推移データ
 - ② 観光客数の推移データ
 - ③ 消費者意識の実態調査結果推移
 - ④ その他風評の実態と対策関連資料
- 【トップページ】

- ③ 対する消費者庁の風評に実態調査結果消費者意識の推移

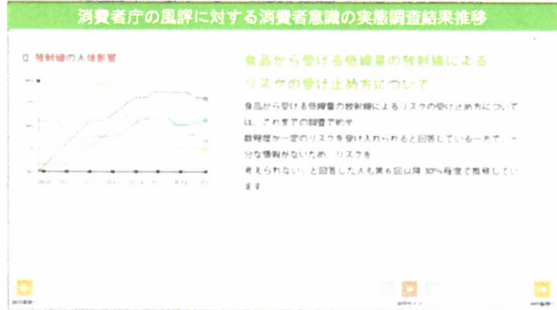


- ・トップ / 待機画面
- ・見たい項目をタッチして選択

③ 消費者庁の風評に対する消費者意識の実態調査結果推移



- ・風評に関する調査結果をグラフで表示
- ・グラフの解説文も合わせて表示
- ・左右下のアイコンから画面を切り替え



管理画面から表示するテキスト、グラフの編集可能

コメント

大項目: A5 長期化する原子力災害への対応	小項目: A5-1 風評の払拭	アイテム: 風評の現在	工種: デジタルコンテンツ
------------------------	-----------------	-------------	---------------

【コンテンツ仕様】 32インチタッチパネルディスプレイ、パソコン

展示のねらい 風評の実態は？原因はどこにあるのか？どうすれば払拭できるのか？解決策に結びつけるために、正確な実態の把握と、現在進められている対策を伝える。
農林水産物の推移データ、観光客数の推移データ、などのデータを蓄積と更新。消費者庁の風評に関する消費者意識の実態調査結果推移を紹介する。

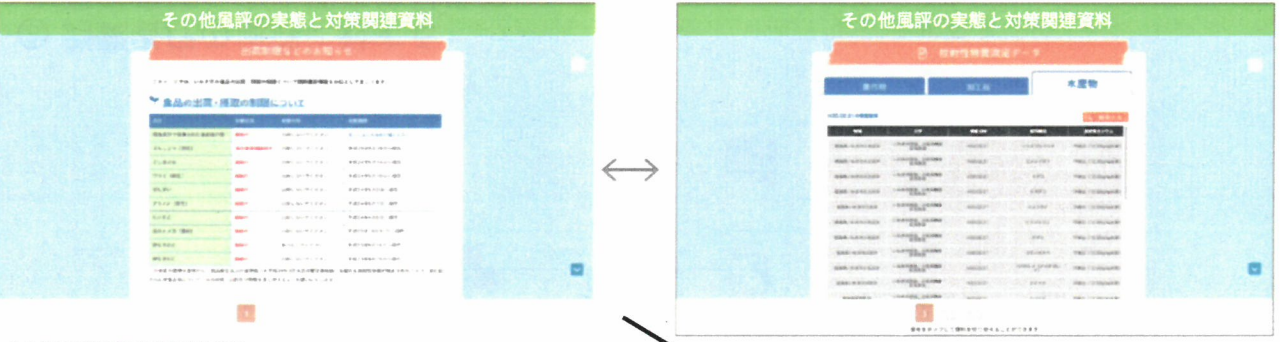
風評の現在
①主な農林水産物に関する推移データ
②観光客数の推移データ
③消費者意識の実態調査結果推移
④**その他風評の実態と対策関連資料**

【トップページ】



- ・ トップ / 待機画面
- ・ 見たい項目をタッチして選択

④ その他風評の実態と対策関連資料

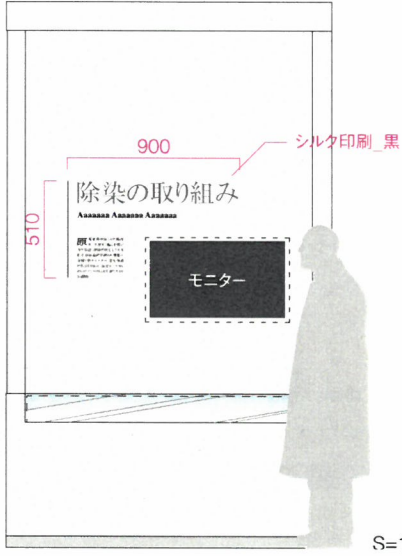


- ・ その他の風評に関する資料を表示
- ・ 情報量が多いページは上下に画面スクロール可能
- ・ 下の番号タブを選択して表示の切り替え可能

 管理画面から表示する写真、テキストの編集可能

コメント

No. G5-2	項目名 除染の取り組み	種類 コーナー解説	中項目 A5-2 除染の取り組み	大項目 A5 長期化する原子力災害への対応
-------------	----------------	--------------	---------------------	--------------------------

 <p>※デザインは参考イメージです。</p>	ねらい	コメント
	仕様	
	サイズ	
解説文(案)	<p>展示内容</p> <p>A5-2 ○研究者インタビュー</p> <p>○除染の現在(デジタルコンテンツ)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1: 除染とは? 2: 避難区域等の推移及び除染区域マップ 3: 除染の進捗と事後モニタリングの結果 4: 仮置場等での保管状況と、 中間貯蔵施設への搬出状況 5: 最新の情報など <p>○実物展示</p> <ul style="list-style-type: none"> ・除染の実態と対策を表す資料 <p>○除染のやり方(インタラクティブ)</p> <p>★数値データ</p>	
	備考	

大項目: A5 長期化する原子力災害への対応	小項目: A5-2 除染の取り組み	アイテム: 除染の現在	工種: デジタルコンテンツ
------------------------	-------------------	-------------	---------------

【コンテンツ仕様】 32インチタッチパネルディスプレイ、パソコン

展示のねらい 事故直後から、放射線に汚染された地域がどのように除染されてきたのか、子どもをはじめとした住民を放射線からどのように守ってきたのか、また避難解除のため帰還困難区域で現在進められている除染について紹介する。


除染の現在

①除染とは?
②避難区域等の推移及び除染区域マップ
③除染の進捗と事後モニタリングの結果
④仮置場等での保管状況と、中間貯蔵施設への搬出状況
⑤最新の情報など
【トップページ】

① 除染とは?

② 避難区域等の推移及び除染区域マップ

③ 福島県内の除染の進捗と事後モニタリングの結果



除染の現在

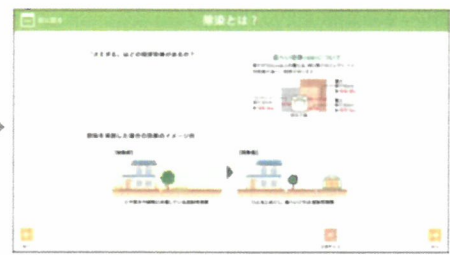
- ・ トップ / 待機画面
- ・ 見たい項目をタッチして選択

① 除染とは?



放射線やモニタリングの説明を見ることができる


- ・ 左右下のアイコンで画面の切り替えが可能



② 避難区域等の推移及び除染区域マップ




- ・ 左右下のアイコンで画面の切り替えが可能





③ 福島県内の除染の進捗と事後モニタリングの結果




- ・ 左右下のアイコンで画面の切り替えが可能
- ・ 情報量が多いページは上下に画面スクロール可能




管理画面から表示するテキスト、画像、図など編集可能

管理画面から表示するテキスト、画像、図など編集可能

管理画面から表示するテキスト、画像、図など編集可能



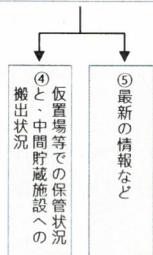

コメント

大項目: A5 長期化する原子力災害への対応	小項目: A5-2 除染の取り組み	アイテム: 除染の現在	工種: デジタルコンテンツ
------------------------	-------------------	-------------	---------------

【コンテンツ仕様】 32インチタッチパネルディスプレイ、パソコン

展示のねらい 事故直後から、放射線に汚染された地域がどのように除染されてきたのか、子どもをはじめとした住民を放射線からどのように守ってきたのか、また避難解除のため帰還困難区域で現在進められている除染について紹介する。

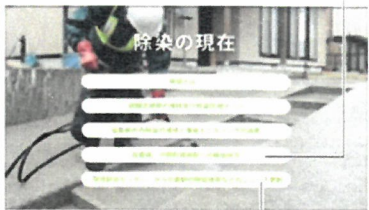
- 除染の現在**
- ① 除染とは?
 - ② 避難区域等の推移及び除染区域マップ
 - ③ 除染の進捗と事後モニタリングの結果
 - ④ 仮置場等での保管状況と、中間貯蔵施設への搬出状況
 - ⑤ 最新の情報など
- 【トップページ】



④ 仮置場等での保管状況と、中間貯蔵施設への搬出状況



- ・ 除去された土壌等の現場及び仮置場等での保管状況と、中間貯蔵施設への搬出状況について解説
- ・ 左右下のアイコンで画面の切り替えが可能
- ・ 情報量が多いページは上下に画面スクロール可能



- ・ トップ / 待機画面
- ・ 見たい項目をタッチして選択

⑤ 「環境創造センター」からの最新の情報など



- ・ 左右下のアイコンで画面の切り替えが可能

コメント

大項目: A5 長期化する原子力災害への対応	小項目: A5-2 除染の取り組み	アイテム: 除染のやり方(インタラクティブ)	工種: デジタルコンテンツ
------------------------	-------------------	------------------------	---------------

【コンテンツ仕様】 32インチタッチパネルディスプレイ、パソコン

展示のねらい: 住宅のどの場所に放射性物質は溜まりやすいのか? その除去方法は? 放射性物質を可視化して、最適な除染方法を学ぶ。子どもをはじめとした住民を放射線からどのように守ってきたのか、また避難解除のため帰還困難区域で現在進められている除染について紹介する。



タッチパネルに家屋等のイラストが表示され、除染ポイントが点滅します。ポイントをタッチすると、モニターに除染道具の情報が表示され、解説映像が流れます。解説映像はモニターをタッチすることで、早送りや繰り返し再生を行うことができます。

タッチする位置 (想定)

屋根 / 雨樋 / 壁 / 軒下 / 庭 / 植栽 / 駐車場 / 側溝

■アーカイブ拠点での「除染の取り組み」と、コミュニティ福島(福島県環境創造センター交流棟)の「放射性物質探索ウォール」との違い

	操作	除染範囲	理解させる内容
コミュニティ福島	壁のグラフィックに描かれた除染のポイントをタブレットでかざすとその場所の除染のやり方をアニメーションで見ることができる。	住宅から畑、山間部と広範囲 住宅・道路・公園・校舎工程・プール・水田・畑・果樹園・家畜・野生動物・キャンプ場・山菜・湖・河川敷・海水浴場・水産物浄水場	なぜ除染が必要か?、様々な場所でのどのような方法で除染されていることを理解
アーカイブ拠点	タッチパネルに描かれた家屋の除染ポイントにタッチすると、除染道具、除染の進め方など詳しい解説を見ることができる。	人々が暮らす家屋を中心とした範囲 屋根・雨樋・壁・軒下・庭・植栽・駐車場・側溝	使う道具、除染の進め方をより理解出来る

屋根



- ・モニターに解説を表示後、映像を再生
- ・タッチする模型(センサー)の位置に応じて解説が変わります。

※下の画像は映像のイメージです



- ・1分~1分半程度のアニメーション動画を再生します。
- ・タッチする模型(センサー)の位置に応じて映像の内容が変わります。

コメント

大項目: A5 長期化する原子力災害への対応	小項目: A5-2 除染の取り組み	アイテム: 除染のやり方(インタラクティブ)	工種: デジタルコンテンツ
------------------------	-------------------	------------------------	---------------


【コンテンツ仕様】 32インチタッチパネルディスプレイ、パソコン

展示のねらい 住宅のどの場所に放射性物質は溜まりやすいのか？その除去方法は？放射性物質を可視化して、最適な除染方法を学ぶ。
子どもをはじめとした住民を放射線からどのように守ってきたのか、また避難解除のため帰還困難区域で現在進められている除染について紹介する。


雨樋

雨樋の除染で使う道具


プラスチックヘラ




スポンジ



高圧洗浄機



雨樋の除染



雨樋はヘラなどで堆積物を除き、水をかけながらスポンジでこすり（均等に接触する）洗い流す。

- ・モニターに解説を表示後、映像を再生
- ・タッチする模型（センサー）の位置に応じて解説が変わります。

※下の画像は映像のイメージです




- ・1分～1分半程度のアニメーション動画を再生します。
- ・タッチする模型（センサー）の位置に応じて映像の内容が変わります。


壁

壁の除染で使う道具


ブラシ



高圧洗浄機



壁の除染



壁はブラシを使って水洗いする。高圧水は多量のホコリが付着している場合に効果がある。

- ・モニターに解説を表示後、映像を再生
- ・タッチする模型（センサー）の位置に応じて解説が変わります。

※下の画像は映像のイメージです



- ・1分～1分半程度のアニメーション動画を再生します。
- ・タッチする模型（センサー）の位置に応じて映像の内容が変わります。

コメント

大項目: A5 長期化する原子力災害への対応	小項目: A5-2 除染の取り組み	アイテム: 除染のやり方(インタラクティブ)	工種: デジタルコンテンツ
------------------------	-------------------	------------------------	---------------

【コンテンツ仕様】 32インチタッチパネルディスプレイ、パソコン

展示のねらい 住宅のどの場所に放射性物質は溜まりやすいのか？その除去方法は？放射性物質を可視化して、最適な除染方法を学ぶ。
子どもをはじめとした住民を放射線からどのように守ってきたのか、また避難解除のため帰還困難区域で現在進められている除染について紹介する。

軒下

軒下の除染で使う道具

 削スコップ	 草刈機	 掃・塵取り	 土嚢袋
---	---	---	---

軒下の除染

- 1 雑草を除去する。
- 2 スコップなどを使用して、軒下や雨樋下の表土を削り取る。
- 3 雨樋や軒下で雨水が集中して落下する場所や、地表面が砂利などの透水性がある場合は少し深めに削り取る。
- 4 雑草の根や茎に付着している土は土砂に、草部分は可燃ごみへと分別する。
- 5 削り取った汚染土の埋設場所は、その場で更にその下の土を削って入れ替える、いわゆる天地返しとするか、なるべく人が立ち入る機会が少ない場所を選定する。

- ・モニターに解説を表示後、映像を再生
- ・タッチする模型(センサー)の位置に応じて解説が変わります。

※下の画像は映像のイメージです



- ・1分～1分半程度のアニメーション動画を再生します。
- ・タッチする模型(センサー)の位置に応じて映像の内容が変わります。

庭

庭の除染で使う道具

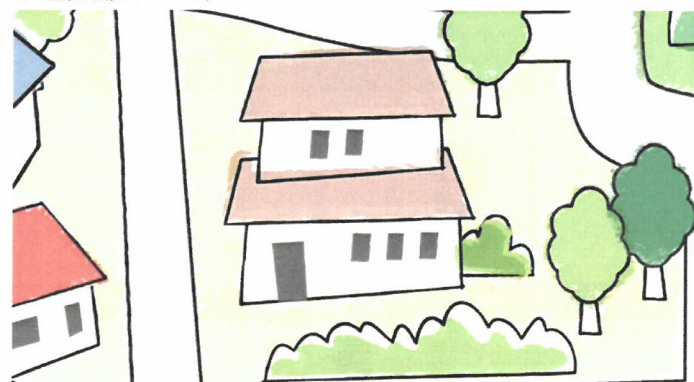
 角スコップ	 鍬	 土嚢袋
---	---	---

庭の除染

庭の除染は、表面部の剥ぎ取り、除去が中心となります。
植木剪定にあたっては造園業者等の専門家による判断が必要になります。

- ・モニターに解説を表示後、映像を再生
- ・タッチする模型(センサー)の位置に応じて解説が変わります。

※下の画像は映像のイメージです



- ・1分～1分半程度のアニメーション動画を再生します。
- ・タッチする模型(センサー)の位置に応じて映像の内容が変わります。

コメント

大項目: A5 長期化する原子力災害への対応	小項目: A5-2 除染の取り組み	アイテム: 除染のやり方(インタラクティブ)	工種: デジタルコンテンツ
------------------------	-------------------	------------------------	---------------

【コンテンツ仕様】 32インチタッチパネルディスプレイ、パソコン

展示のねらい 住宅のどの場所に放射性物質は溜まりやすいのか？その除去方法は？放射性物質を可視化して、最適な除染方法を学ぶ。
子どもをはじめとした住民を放射線からどのように守ってきたのか、また避難解除のため帰還困難区域で現在進められている除染について紹介する。

植栽

植栽の除染で使う道具

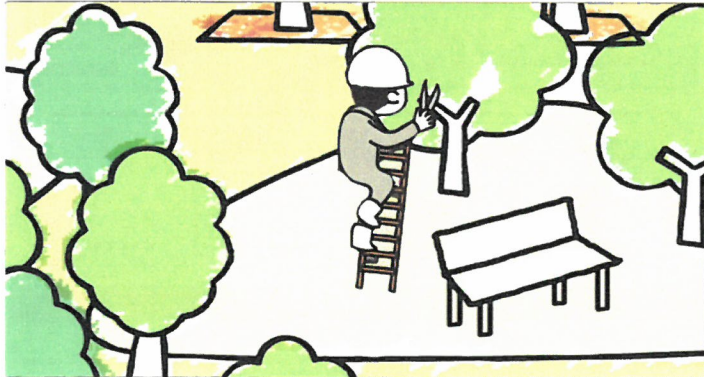
チェーンソー	高枝ノコギリ	ハシゴ	高所作業車
--------	--------	-----	-------

植栽の除染

チェーンソー・高枝ノコギリ等を用い人力で樹木の下半分の高さまでの枝を切り落とし集積します。
高所の枝については、梯子・高所作業車を使用します。

- ・モニターに解説を表示後、映像を再生
- ・タッチする模型(センサー)の位置に応じて解説が変わります。

※下の画像は映像のイメージです



- ・1分～1分半程度のアニメーション動画を再生します。
- ・タッチする模型(センサー)の位置に応じて映像の内容が変わります。

駐車場

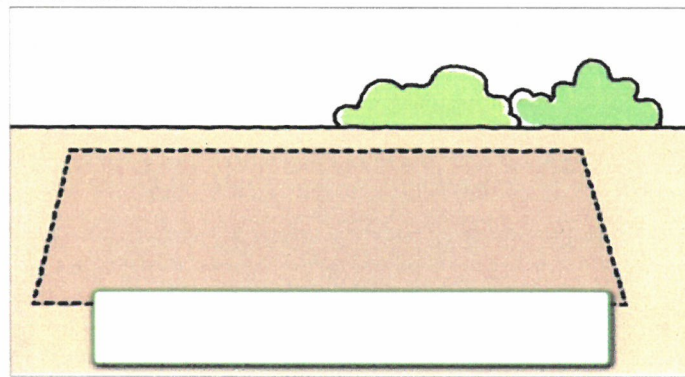
駐車場の除染で使う道具

バキュームプラスト	高圧洗浄機
-----------	-------

駐車場の除染

- ・モニターに解説を表示後、映像を再生
- ・タッチする模型(センサー)の位置に応じて解説が変わります。

※下の画像は映像のイメージです



- ・1分～1分半程度のアニメーション動画を再生します。
- ・タッチする模型(センサー)の位置に応じて映像の内容が変わります。

コメント





大項目: A5 長期化する原子力災害への対応	小項目: A5-2 除染の取り組み	アイテム: 除染のやり方(インタラクティブ)	工種: デジタルコンテンツ
------------------------	-------------------	------------------------	---------------

【コンテンツ仕様】 32インチタッチパネルディスプレイ、パソコン


展示のねらい 住宅のどの場所に放射性物質は溜まりやすいのか?その除去方法は?放射性物質を可視化して、最適な除染方法を学ぶ。
子どもをはじめとした住民を放射線からどのように守ってきたのか、また避難解除のため帰還困難区域で現在進められている除染について紹介する。

側溝

側溝の除染で使う道具

 角スコップ	 デッキブラシ	 ハンドタワシ	 高圧洗浄機
--	---	---	--

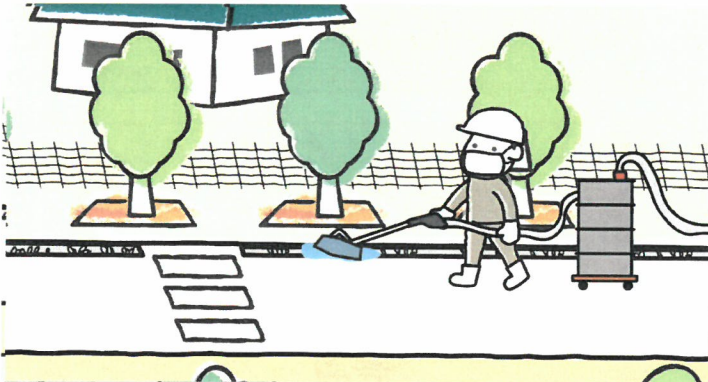
側溝の除染



側溝の枯葉、苔、草、泥、土等を、スコップ等を用いて手作業により除去します。
ゴミ等を除去した後、水を用いて、デッキブラシやタワシ等で洗浄、高圧洗浄機による放水洗浄を行います。

- ・モニターに解説を表示後、映像を再生
- ・タッチする模型(センサー)の位置に応じて解説が変わります。

※下の画像は映像のイメージです



- ・1分~1分半程度のアニメーション動画を再生します。
- ・タッチする模型(センサー)の位置に応じて映像の内容が変わります。

コメント

No. G5-3	項目名 長期避難に対する取り組み	種類 コーナー解説	中項目 A5-3 長期避難に対する取り組み	大項目 A5 長期化する原子力災害への対応
-------------	---------------------	--------------	--------------------------	--------------------------

	<p>ねらい</p> <p>長期避難がもたらす問題は、経済、住居、子育て、健康、鳥獣被害など複合的で、複雑な分解は容易でない。長期避難者が抱える諸問題を直視するとともに、その問題解決のため現在進められている取り組みを紹介し、これから何が出来るかを考えることにつなげる。また、この問題解決には物質的なケアだけでなく、心身のケアも合わせて両面から取り組まなくてはならないことを訴え、特に次世代を担う子ども達、若者への継続的な支援の必要性を理解してもらう。避難所から仮設住宅、そして帰還に向けて整備の進む復興公営住宅へと様々に移り変わった、避難者の住居の変遷を模型で辿り、改めて長期避難者の苦勞を知る。</p>	<p>コメント</p>
	<p>仕様</p> <p>シルク印刷 黒</p>	
	<p>サイズ</p> <p>W1150×H510</p>	
	<p>解説文(案)</p>	

展示内容

A5-3 ○研究者インタビュー

○長期避難の現在(デジタルコンテンツ)

- 1: 避難区域等の推移、12市町村の避難者数及び居住者数の推移と最新情報
- 2: 国、県、市町村が実施した「住民意向調査」の結果
- 3: 全国避難者数
- 4: 原発事故で避難した市町村の学校の児童・生徒数

○実物資料

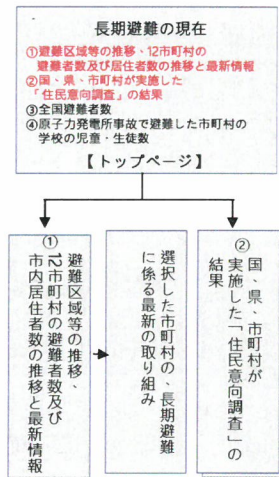
- ・長期避難の実態を表す資料
- ★数値データ

備考

大項目: A5 長期化する原子力災害への対応	小項目: A5-3 長期避難に対する取り組み	アイテム: 長期避難の現在	工種: デジタルコンテンツ
------------------------	------------------------	---------------	---------------

【コンテンツ仕様】 32インチタッチパネルディスプレイ、パソコン

展示のねらい 長期避難がもたらす問題は、経済、住居、子育て、健康、鳥獣被害など複合的で、複雑な分解は容易でない。長期避難者が抱える諸問題を直視すると共に、その問題解決のため現在進められている取り組みを紹介し、これから何ができるかを考えることにつなげる。国、県、市町村のデータ、取り組みを最新の情報として任意に調べることができる。



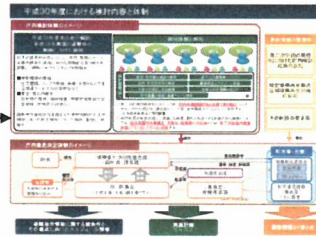
① 避難区域等の推移、12市町村の避難者数及び居住者数の推移と最新情報

「市町村の対応策」を押すと選択した市町村の現在の復興計画を紹介

※(1)～(4)各データにタブ設置



- ・福島県内の各市町村の登録人口、避難状況、などの状況を閲覧可能
- ・上部タブから市町村を選択
- ・情報量が多いものは画面の上下スクロール可能



長期避難に係る最新の取り組みを紹介・※定期的な更新が必要

② 国、県、市町村が実施した「住民意向調査」の結果

- ・トップ / 仕組み画面
- ・見たい



- ・福島県内の各市町村の「住民意向調査」の結果をグラフで紹介
- ・上部タブから市町村を選択
- ・情報量が多いものは画面の上下スクロール可能

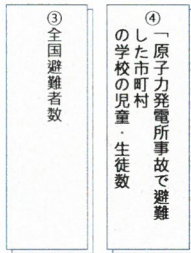
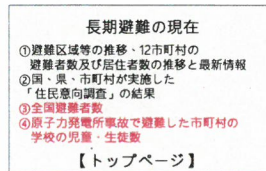


コメント

大項目: A5 長期化する原子力災害への対応	小項目: A5-3 長期避難に対する取り組み	アイテム: 長期避難の現在	工種: デジタルコンテンツ
------------------------	------------------------	---------------	---------------

【コンテンツ仕様】 32インチタッチパネルディスプレイ、パソコン

展示のねらい 長期避難がもたらす問題は、経済、住居、子育て、健康、鳥獣被害など複合的で、複雑な解決は容易でない。長期避難者が抱える諸問題を直視すると共に、その問題解決のため現在進められている取り組みを紹介し、これから何ができるかを考えることにつなげる。国、県、市町村のデータ、取り組みを最新の情報として任意に調べることができる。



③ 全国避難者数



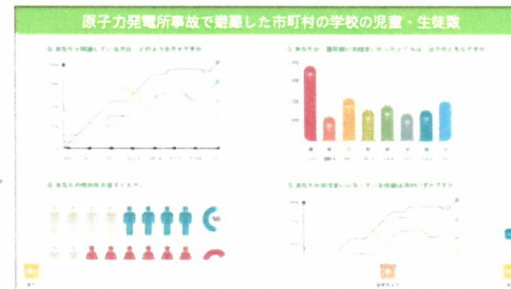
- ・全国避難者数の数値を一覧で紹介
- ・上部タブから市町村を選択、情報量が多いものは画面の上下スクロール可能

管理画面から表示するテキストなどを編集可能 (常に最新の情報に差し替え可能)



- ・トップ/待機画面
- ・見たい項目をタッチして選択

④ 原子力発電所事故で避難した市町村の学校の児童・生徒数



- ・「原子力発電所事故で避難した市町村の学校の児童・生徒数」の結果をグラフで表示
- ・情報量が多い場合は画面の縦スクロールで閲覧可能

管理画面から表示するグラフの情報を編集可能 (常に最新の情報に差し替え可能)

コメント

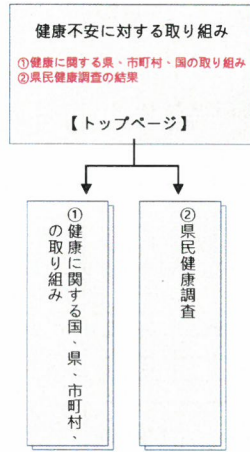
No. G5-4	項目名 健康不安に対する取り組み	種類 コーナー解説	中項目 A5-4 健康不安に対する取り組み	大項目 A5 長期化する原子力災害への対応
-------------	---------------------	--------------	--------------------------	--------------------------

	ねらい	コメント
	仕様	
	サイズ	
解説文(案)	<p>展示内容</p> <p>A5-4 ○研究者インタビュー ○健康不安の取り組み(デジタルコンテンツ) 1:健康に関する国、県、市町村の取り組み 2:県民健康調査 ★数値データ</p> <p>備考</p>	

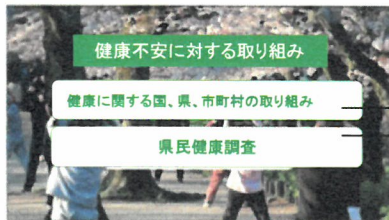
大項目: A5 長期化する原子力災害への対応	小項目: A5-4 健康不安に対する取り組み	アイテム: 健康不安に対する取り組み	工種: デジタルコンテンツ
------------------------	------------------------	--------------------	---------------

【コンテンツ仕様】 32インチタッチパネルディスプレイ、パソコン

展示のねらい 放射線の健康への影響は現時点で確認されていないが、前例がない状況の中で、住民の不安を減らすためにされている様々な対策について紹介する。また、事故以来実施されている県民健康調査について解説し、共有していくことで、放射線の健康への影響を客観的に伝える。



原子力発電所事故以来実施されている県民健康調査の結果推移を継続的に公開できるように、更新できるシステムを構築していく。

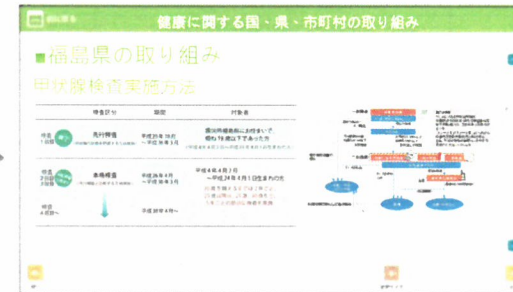


- ・トップ / 待機画面
- ・見たい項目をタッチして選択

①健康に関する国、県、市町村の取り組み



健康に関する調査、調査後の対応など、国、県、市町村の対応を検索する。



検査がある場合、実施方法、スケジュールを見ることができる

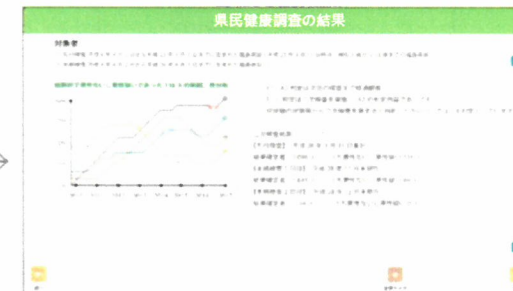


管理画面から表示するグラフ・テキストなど編集可能 (常に最新の情報に差し替え可能)

②県民健康調査



- ・「県民健康調査」とは
- ・「県民健康調査」の結果をグラフで紹介
- ・左右下のアイコンで画面切り替え、情報量が多いものは画面の上下スクロール可能



管理画面から表示するグラフ・テキストなど編集可能 (常に最新の情報に差し替え可能)

コメント

県民健康調査の他、国、市町村の取り組みから、個別に項目立てすることも検討。

大項目:A5 長期化する原子力災害への対応	小項目:A5-1 風評の払拭 A5-2 除染への取り組み	展示区分: 実物資料	資料区分: 風評の実態・対応と除染にまつわる資料
-----------------------	---------------------------------	------------	--------------------------

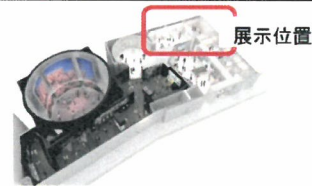
資料区分理由: 風評の実態とその払拭のために対応する様子が伝わる資料。/ 除染や放射線対策の取り組みを象徴する資料。

A5-1 風評の払拭

震災後、県内で実施されてきた風評払拭に向けた取り組みを紹介し、安全性等について理解してもらうことにより、福島県に対するマイナスのイメージを払拭してもらうきっかけとする。

A5-2 除染への取り組み

事故直後から、放射性物質がどのように除染されてきたのか、子どもを始めとした住民を放射線からどのように守ってきたのか、また避難解除のため帰還困難区域で現在進められている除染について紹介する。



・コメント

※実物資料候補については、未収集のものを含みます。収集可否の確認を含めて調整中のため、確定ではありません。

ゾーン NO.	A5-1風評の払拭 170	ゾーン NO.	A5-1風評の払拭 171	ゾーン NO.	A5-1風評の払拭 172	ゾーン NO.	A5-1風評の払拭 173
資料名	・宿キャンセル状況記録-1	資料名	・宿キャンセル状況記録-2	資料名	・精米用検査済シール	資料名	・食品等スクリーニング検査結果通知書
Photo		Photo		Photo		Photo	
寸法W・H	W 210 × H 300(A4出力)	寸法	W 210 × H 300(A4出力)	寸法	W 210 × H 300	寸法	W 210 × H 300
保全・収集	FURE	保全・収集	FURE	保全・収集	○○○	保全・収集	○○○○
出典・備考	※FUREにてPCデータ保全 ※データ記録、紙出力	出典・備考	※FUREにてPCデータ保全 ※データ記録、紙出力	出典・備考	○○○○○○○○○○○ふくしまの恵 安全対策協議会 精米用検査済シール「H24年産 新米」		

ゾーン NO.	A5-1風評の払拭 174	ゾーン NO.	A5-2除染への取り組み 175	ゾーン NO.	A5-2除染への取り組み 176	ゾーン NO.	A5-2除染への取り組み 177
資料名	・風評対策キャンペーンポスター、チラシなど	資料名	・リアルタイム線量計モニタ	資料名	・シンチレーションサーベイメータ	資料名	・個人線量計
Photo		Photo		Photo		Photo	
寸法W・H	W 210 × H 300	寸法	w700×h2200×d900	寸法		寸法	
保全・収集	福島県庁広報課	保全・収集		保全・収集		保全・収集	
出典・備考	※○○○と福島県庁広報課との連携協定の1環の取り組み	出典・備考	※○○○○製、類似資料 電源:AC100V、太陽電池、2次電池 質量:120kg以下	出典・備考	※○○○○○○○○○○○製、類似資料	出典・備考	※○○○○○製、類似資料

大項目:A5 長期化する原子力災害への対応

小項目:A5-1 風評の払拭
A5-2 除染への取り組み

展示区分:実物資料

資料区分:風評の実態・対応と除染にまつわる資料

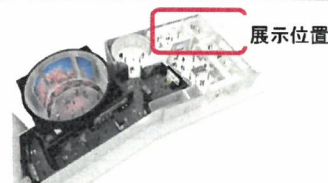
資料区分理由:風評の実態とその払拭のために対応する様子が伝わる資料。/除染や放射線対策の取り組みを象徴する資料。

A5-1 風評の払拭

震災後、県内で実施されてきた風評払拭に向けた取り組みを紹介し、安全性等について理解してもらうことにより、福島県に対するマイナスのイメージを払拭してもらうきっかけとする。

A5-2 除染への取り組み





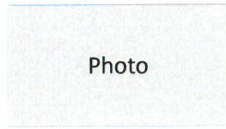

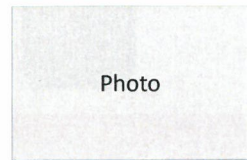


事故直後から、放射性物質がどのように除染されてきたのか、子どもを始めとした住民を放射線からどのように守ってきたのか、また避難解除のため帰還困難区域で現在進められている除染について紹介する。



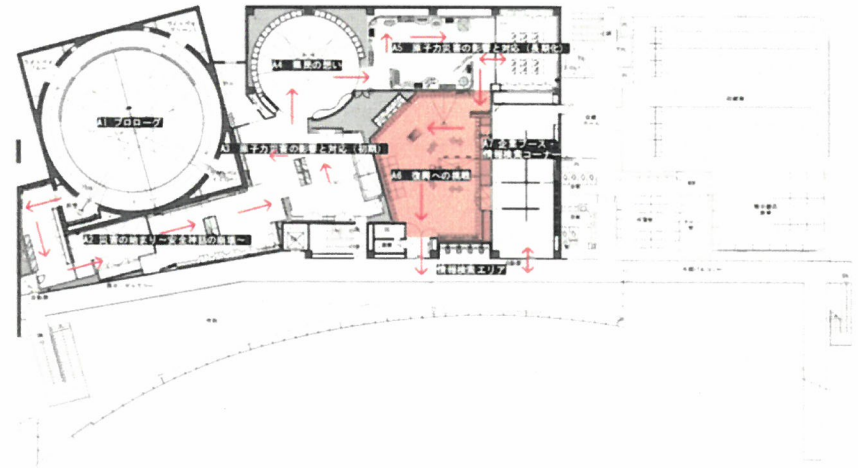
展示位置

・コメント
※実物資料候補については、未収集のものを含みます。収集可否の確認を含めて調整中のため、確定ではありません。

ゾーン	A5-2除染への取り組み	ゾーン	A5-2除染への取り組み	ゾーン	A5-2除染への取り組み
NO.	178	NO.	179	NO.	180
資料名	・防護服	資料名	・フレコンバッグ	資料名	・除染中表示板
	サイズが大きいため、他資料に先行して確定としたい		サイズが大きいため、他資料に先行して確定としたい		
	Photo				
寸法W・H		寸法	1100φ×h1060	寸法	W 550 × H1400
保全・収集		保全・収集		保全・収集	FURE
出典・備考	※IS適合品・防護服○○○○○○○ ○○○○○、類似資料 ※体験着用も考慮(新製品)	出典・備考		出典・備考	

大項目: A5 長期化する原子力災害への対応		小項目: A5-3 長期避難に対する取り組み A5-5 研修・ワークショップ		展示区分: 実物資料		資料区分: 長期避難とワークショップにまつわる資料		
資料区分理由: 長期避難により発生した日常生活面での苦勞と、継続される対応を想起させる資料。/ワークショップ・研修で活用できる検査器等の資料。								
<p>A5-3 長期避難への取り組み</p> <p>長期避難がもたらす問題は、経済、住居、子育て、健康、鳥獣被害など複合的で、複雑な解決は容易でない。長期避難者が抱える諸問題を直視するとともに、その問題解決のため現在進められている取り組みを紹介し、これから何が出来るかを考えることにつなげる。また、この問題解決には物質的なケアだけでなく、心身のケアも合わせて両面から取り組まなくてはならないことを訴え、特に次世代を担うことも連、若者への継続的な支援の必要性を理解してもらう。避難所から仮設住宅、そして帰還に向けて整備の進む復興公営住宅へと様々に移り変わった。避難者の住居の変遷を模型で辿り、改めて長期避難者の苦勞を知る。</p> <p>A5-5 研修・ワークショップ</p> <p>原子力防災学習やワークショップ、研修が実施できるスペース。様々な資料、機器、装置を活用したデモや体験が可能。</p>								<p>・コメント</p> <p>※実物資料候補については、未収集のものを含まず。収集可否の確認を含めて調整中のため、確定ではありません。</p>
ゾーン	A5-3長期避難に対する取り組み	ゾーン	A5-3長期避難に対する取り組み	ゾーン	A5-3長期避難に対する取り組み	ゾーン	A5-3長期避難に対する取り組み	
NO.	181	NO.	182	NO.	183	NO.	184	
資料名	・立入車両通行許可証申請書	資料名	・帰還困難区域立ち入り時申請書	資料名	・帰還困難区域表示看板	資料名	・被災証明書	
								
寸法W・H	W300 × H 210	寸法	W 210 × H 300	寸法	未収集	寸法	W300 × H 210	
保全・収集	福島県・生涯学習課	保全・収集	福島県・生涯学習課	保全・収集	未収集	保全・収集	個人蔵	
出典・備考		出典・備考		出典・備考	※候補として、○○○及び類似区域資料(既解除地区の同種看板)	出典・備考	※○○○発行	
ゾーン	A5-3長期避難に対する取り組み	ゾーン	A5-3長期避難に対する取り組み	ゾーン	A5-5研修・ワークショップスペース	ゾーン	A5-5研修・ワークショップスペース	
NO.	185	NO.	186	NO.	187	NO.	188	
資料名	・罹災証明書	資料名	・ふるさと帰還通行カード	資料名	・座椅子型ホールボディカウンター	資料名	・食品検査機	
								
寸法W・H	W300 × H 210	寸法	W100 × H 55	寸法	H1200 x W650 x D750	寸法	W600 x H 1000 x D900	
保全・収集	個人蔵	保全・収集	個人蔵	保全・収集	FURE	保全・収集	○○○・○○○○○	
出典・備考	※○○○発行	出典・備考	※○○○発行	出典・備考		出典・備考	※県より○○○への貸与品(期限あり)	

A 6. 復興への挑戦



No. G6-0-1	項目名 復興への挑戦ゾーン導入	種類 ゾーン解説	中項目 A6-0 ゾーンサイン&イントロ	大項目 A6 復興への挑戦
---------------	--------------------	-------------	-------------------------	------------------

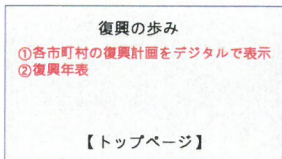
<p>※デザインは参考イメージです。</p>	<p>ねらい</p> <p>逆境を乗り越え、復興に挑戦するふくしまを紹介する。避難により離れざるを得なかった故郷にもう一度戻り、新しいまちづくりをすすめる、といった世界初の取り組み・将来像をリアルタイムに発信。人、産業、暮らし、など生活をとりまく多くのシーンでうけた風評払拭の過程、国を挙げてのチャレンジ、これらの状況を開示し、復興への理解を深めるとともに、避難者の帰還を促進する。</p>	コメント
	<p>仕様</p> <p>ゾーンサイン: LEDバックライトチャンネル文字 ゾーン導入テキスト:シルク印刷 白</p>	
	<p>サイズ</p> <p>ゾーンサイン: 日(大)W250/英W80 ゾーン導入テキスト:約W450×H750</p>	
解説文(案)	<p>展示内容</p> <p>A6-0 ゾーンサイン&イントロ A6-1 行政による復興への取り組み A6-2 廃炉の今 A6-3 福島イノベーション・コースト構想の取り組み A6-4 12市町村の復興への取り組み A6-5 ★みらいの街 A6-6 県民による復興への取り組み(チャレンジ! ふくしま)</p> <p>備考</p>	

No.	項目名 行政による復興への取り組み	種類 コーナー解説	中項目 A6-1 行政による復興への取り組み	大項目 A6 復興への挑戦
			<p>ねらい</p> <p>復興に関する県内の取り組みに関する最新情報を届ける。除染の進捗や県内産業の復興、新しいまちづくりに関する情報など、更新可能な展示システムとすることで、常に復興に関する新しい情報を得られる場所にする。また、災害の発生からこれまでの復興の歩みについても紹介する。</p>	コメント
			仕様	
			サイズ	
			<p>展示内容</p> <p>A6-1 ○証言映像 <u>○復興の歩み、県下の復興の様子と周囲の反応</u> <u>(最新情報)(デジタルコンテンツ)</u> ○実物資料 ○復興する街全体演出</p>	
解説文(案)			備考	

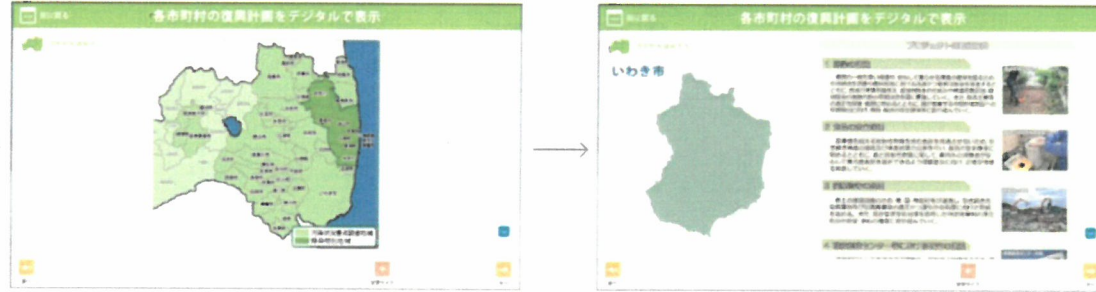
大項目: A6 復興への挑戦	小項目: A6-1 行政による復興への取り組み	アイテム: 復興への歩み、県下の復興の様子と周囲の反応 (最新情報)	工種: デジタルコンテンツ
----------------	-------------------------	---------------------------------------	---------------

【コンテンツ仕様】 65インチタッチパネルディスプレイ、パソコン

展示のねらい 復興に関する県内の取り組みに関する最新情報を届ける。除染の進捗や県内産業の復興、新しいまちづくりに関する方法など、更新可能な展示システムとすることで、常に復興に関する新しい情報を得られる場所とする。また、災害の発生からこれまでの歩みについても紹介する。

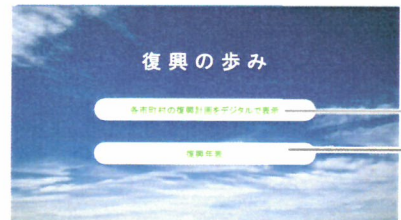


①各市町村の復興計画をデジタルで表示



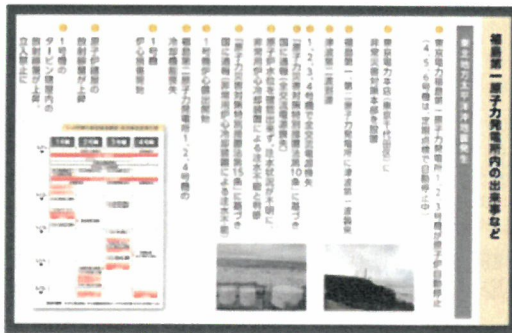
- ・「各市町村の復興計画」をテキスト、写真で紹介
- ・左右下のアイコンで画面切り替え
- ・情報量が多いものは画面の上下スクロール可能

アーカイブを常に最新にすることで、いつでも過去の現在を見ることができる。画像、PDFなどを取り替える



- ・トップ / 待機画面
- ・見たい項目をタッチして選択

②復興年表



2011年3月11日より2020年までの原子力災害から復興の様子が記録されている。指でモニターをスクロールさせたり、タッチすることで、画像や解説画面を表示。オープン以降も常に最新情報を見ることができる。

管理画面から表示するテキスト、写真など編集可能
(常に最新の情報に差し替え可能)

コメント

大項目: A6 復興への挑戦	小項目: A6-1 行政による復興への取り組み	アイテム: 復興する街全体演出(タイムラプス映像)	工種: 映像コンテンツ
----------------	-------------------------	---------------------------	-------------

【コンテンツ仕様】 表示機器: プロジェクター投影 映像尺: 約3分 映像フォーマット: Hi-Vision ナレーション: なし 音楽: あり 効果音: あり プログラム: ループ再生

展示のねらい 原子力発電所事故により避難を余儀なくされた地域における復興の進捗情報をタイムラプス映像で伝える。

※資料収集活動で設置される定点カメラの映像素材を活用してコンテンツを制作する



各地に設置された定点カメラにより定期的に記録された街の様子を、タイムラプス映像で紹介。
各箇所の地図や日付の情報を挿入し、要所でマルチ展開するなど、画面全体を使った演出とする。



Point 1

各地のタイムラプス映像の冒頭には定点カメラが設置された場所の地図と名称を表示する。

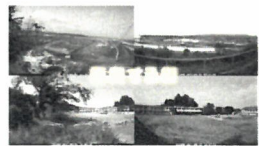


Point 2

画面全体に映像をマルチで構成し、各地の復興の様子をよりアクトティブに演出する。

■映像展開イメージ

イントロダクション
(マルチ画面)



各地の映像(静止画)がモノクロでマルチに組まれた画面にタイトルを表出。その中からカラーに色づいた1枚が画面手前に現れ、町と場所の名称の字幕が入る。

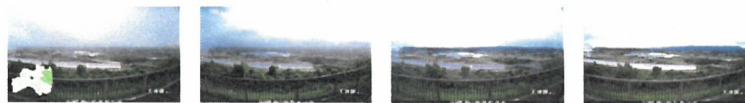
各地復興のタイムラプス映像

各タイムラプス映像の冒頭に、定点カメラが設置された場所の地図を表示する。

●マリンハウスより



●天神岬より



エンディング
(マルチ画面)



マルチで構成された各地の復興の様子を背景に、12市町村の地図が重なって輝きを放つ。

※映像構成は最終的に使用させていただくタイムラプス映像の内容によって再検討いたします。

コメント

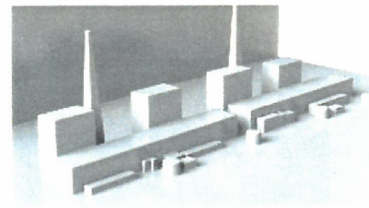
No.	項目名 廃炉の今	種類 コーナー解説	中項目 A6-2 廃炉の今	大項目 A6 復興への挑戦
			<p>ねらい</p> <p>福島第一原子力発電所における廃炉がどういった作業なのかを建屋に見立てたオブジェに立体映像を表示する技術により伝える。また、事故発生から現在に至るまでのタイムラインを自由に変え、その時の建屋の外、中など廃炉の経過を伝える。あわせてこれまでの経過や全体工程の中での進捗、廃炉に関連して開発された技術などの情報発信を行う。</p>	コメント
			仕様	
			サイズ	
解説文(案)			<p>展示内容</p> <p>A6-2 ○廃炉計画(解説) ○<u>廃炉の進め方(デジタルコンテンツ+模型)</u> ○<u>廃炉の歩み(デジタルコンテンツ)</u> ○廃炉作業進捗状況(解説)</p>	コメント
			備考	

大項目: A6 復興への挑戦	小項目: A6-2 廃炉の今	アイテム: ★廃炉の進め方	工種: ホログラムスクリーンとの合成映像
----------------	----------------	---------------	----------------------

【コンテンツ仕様】 32インチモニター4台、ハイビジョンプレーヤー 4台、スイッチによるスタート

展示のねらい 福島第一原子力発電所における廃炉がどういった作業なのかを建屋に見立てたオブジェクトに立体映像を表示する技術により伝える。
2011年の原子力災害から廃炉に向けた中長期ロードマップの解説と現在取り組んでいる廃炉の状況を1号機～4号機の模型に投影した映像で見せる。

建屋と周辺環境をグレースケールの模型構築。
その立体形状にホログラムスクリーンに映像を投影し事故発生から廃炉への経過、廃炉に向けて開発された最新技術などを立体的に紹介します。



これまでの廃炉実施計画と状況を各原子力発電所毎に伝える

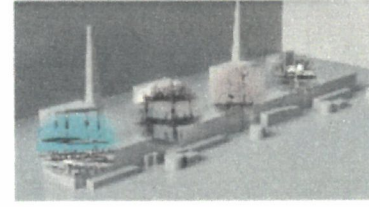
——— これまでの廃炉状況 ———

■ 1号機 (燃料体: 392本)

■ 2号機 (燃料体: 615本)

■ 3号機 (燃料体: 566本)

■ 4号機 (燃料体: 1533本取り出し)



進行中の工事内容をCG・アニメーションを使い伝える

現在進行中の廃炉計画 (2020年状況)

■ 1号機

■ 2号機

■ 3号機

■ 4号機

燃料プールから燃料の取り出しから、放射性物質の飛散を防ぐカバーの設置など各1～4号機までそれぞれの工程を紹介する。

経産省: 廃炉・汚染水対策ポータルサイトより
廃炉に向けた工程 (中長期ロードマップ2017年9月26日改訂)
廃炉・汚染水対策関係閣僚等会議決定内容を参考に
※製作時最新版を参考とする。

今後の工事内容、調査状況をCG・アニメーションを使い伝える



今後の廃炉計画 (2020年以降)

■ 1号機

■ 2号機

■ 3号機

■ 4号機

中長期計画内容

■ 1号機

■ 2号機

■ 3号機

■ 4号機

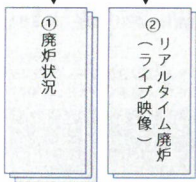
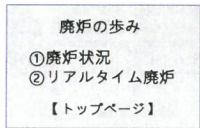
廃炉の中長期計画の概要を伝える

コメント
※展示手法を見直し、詳細を検討する

大項目：A6 復興への挑戦	小項目：A6-2 廃炉の今	アイテム：廃炉の歩み	工種：タッチパネルコンテンツ
---------------	---------------	------------	----------------

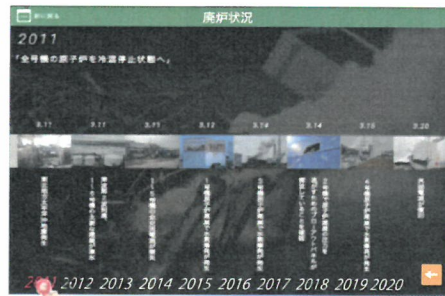
【コンテンツ仕様】 55インチタッチパネルディスプレイ、パソコン、外部インターネット環境

展示のねらい 事故発生から現在に至るまでのタイムラインを自由に変え、その時の建屋の外、中など廃炉の経過を伝える。あわせてこれまでの経過や全体工程の中の進捗、廃炉に関連して開発された技術などの情報発信を行う。タッチパネルにより、自由にタイムラインを操作することができる。



- ・トップ / 待機画面
- ・見たい項目をタッチして選択

廃炉作業は、30年～40年かかると見込まれていますが、少しずつ前進しています。“福島第一原子力発電所の廃炉作業の経過”“いま向き合っている課題は何か”をこのコンテンツで見ることができます。



廃炉状況を年で選ぶと、廃炉状況の写真と作業内容一覧が表示される。写真を右左に動かして、見たい作業内容をタッチする。



作業内容の写真が拡大され、解説文が表示される。左右の矢印ボタンで、同じ日の別作業の写真が表示される。



リアルタイム廃炉を選ぶと、東京電力のリアルタイムでの作業映像を見ることができる。画面には原子力発電所の位置状況、カメラ位置を表示。



見たい原子力発電所をタッチすると映像が拡大される。

コメント

No.	項目名 福島イノベーション・コースト構想の取り組み	種類 コーナー解説	中項目 A6-3 福島イノベーション・コースト構想の取り組み	大項目 A6 復興への挑戦
			<p>ねらい</p> <p>震災、原子力災害によって失われた浜通りの産業・雇用回復を目指す福島イノベーション・コースト構想と連携した、先端技術の紹介や企業との連携スペースとする。新産業のフィールドへの回遊の誘導、ツーリズムの紹介などを行うゲートウェイとして機能する。</p> <p>未来の福島復興に関わる再生エネルギー、そのほか先端科学技術のデモンストレーションを行い、未来のビジョンを共有し、復興を推し進める契機となるような場づくりを行う。また、週末や団体対応時などには、12市町村を始めとする県下の「語り部」の方が、自らの経験、復興や郷土への想いを語るステージとして利用。若手の語り部育成の場としても活用。</p>	コメント
			仕様	
			サイズ	
			<p>展示内容</p> <p>A6-3 <u>○解説映像</u> ○福島イノベーション・コースト構想の取り組み(解説) ○実物展示 ○未来技術デモンストレーションエリア</p>	
解説文(案)				備考

大項目: A6 復興への挑戦	小項目: A6-3 福島イノベーション・コースト構想の取り組み	アイテム: 解説映像	工種: 映像コンテンツ
----------------	---------------------------------	------------	-------------

【コンテンツ仕様】 表示機器: 32inchモニター 映像尺: 約5分 映像フォーマット: Hi-Vision ナレーション: あり 音楽: あり 効果音: あり プログラム: センサースタート

展示のねらい 震災、原子力災害によって失われた浜通りの産業・雇用回復を目指す「福島イノベーション・コースト構想」の概要を来館者に分かりやすく紹介する。

※今後の福島イノベーション・コースト構想の進捗を踏まえコンテンツを制作する

コメント



浜通りの新たな産業基盤構築を目指す、国家プロジェクト「福島イノベーション・コースト構想」。本映像では、このプロジェクトの概要と具体的な取り組みについて、「ロボット」「廃炉研究」「エネルギー」「教育・人材育成」「農林水産」の5つのカテゴリに分け、それぞれを解説。プロジェクトがもたらす大きな可能性と浜通りの未来の姿を、来館者にわかりやすく伝える。



ロボット



廃炉研究



エネルギー



教育・人材育成



農林水産

映像展開イメージ

**プロローグ
構想の誕生と目的**

2014年、国家プロジェクト「福島イノベーション・コースト構想」が誕生した経緯や、プロジェクトの目的を紹介する。

浜通りの
新たな産業基盤構築へ
イノベーション・コースト構想推進会議

一紹介項目一

- プロジェクトの目的
- プロジェクト誕生に携わった方々 など

**プロジェクト①
ロボット**

南相馬市、浪江町の福島ロボットテストフィールドで行われている、物流やインフラ点検、大規模災害に活躍が期待されるロボットの実証実験の様子やその計画を紹介する。

ロボット
実証実験

一紹介項目一

- 福島ロボットテストフィールド(南相馬市および浪江町) など

**プロジェクト②
廃炉研究**

富岡町の廃炉国際共同研究センターや楢葉町の遠隔技術開発センター、大熊町の分析・研究センターを取り上げ、福島第一原子力発電所の廃炉への取り組みを紹介する。

廃炉研究
廃止措置

一紹介項目一

- 廃炉国際共同研究センター(富岡町)
- 楢葉遠隔技術開発センター(楢葉町)
- 大熊分析・研究センター(大熊町) など

**プロジェクト③
エネルギー**

高効率石炭火力、LNG基地、洋上風力等に関連した産業エネルギー、避難指示区域での再生可能エネルギーの導入についての取り組みを紹介する。

エネルギー
洋上風力

一紹介項目一

- 再エネ由来大規模水素製造実証拠点(浪江町)
- LNG火力発電(新地町)
- 浮体式洋上風力発電設備(双葉郡沖) など

大項目: A6 復興への挑戦	小項目: A6-3 福島イノベーション・コースト構想の取り組み	アイテム: 解説映像	工種: 映像コンテンツ
----------------	---------------------------------	------------	-------------

【コンテンツ仕様】 表示機器: 32inchモニター 映像尺: 約5分 映像フォーマット: Hi-Vision ナレーション: あり 音楽: あり 効果音: あり プログラム: センサースタート

展示のねらい 震災、原子力災害によって失われた浜通りの産業・雇用回復を目指す「福島イノベーション・コースト構想」の概要を来館者に分かりやすく紹介する。

■映像展開イメージ(続き)

プロジェクト④
教育・人材育成

企業や高等教育機関と連携した、未来を担う人材を創出する特色あるキャリア教育の展開や、浜通りで研究活動を行っている大学の研究成果などを紹介する。



—紹介項目—

- ・ふたば未来学園(広野町)
- ・平工業高校(いわき市) など

プロジェクト⑤
農林水産

農林水産業に関する作業の効率化、省力化に資するロボットの研究開発でのスマート農業の実現や、水産研究施設の強化への取り組みを紹介する。



—紹介項目—

- ・水産海洋研究センター(いわき市)
- ・浜地域農業再生研究センター(南相馬市)
- ・先端技術の導入によるスマート農業 など

エビローグ
世界からも注目

世界からも注目を集める「福島イノベーション・コースト構想」。国内外の有識者からのメッセージやコメントを交えて、ダイジェストにこれまでの紹介映像を展開する。来館者に、生まれ変わる浜通りの未来像を感受させる。



—紹介項目—

- ・情報発信拠点として創設された本館
- ・国内外の有識者のメッセージ(テキスト)やコメント など

※有識者については今後の検討

コメント

No.	項目名 12市町村の復興への取り組み	種類 コーナー解説	中項目 A6-4 12市町村の復興への取り組み	大項目 A6 復興への挑戦
			<p>ねらい</p> <p>原子力発電所事故により避難を余儀なくされた福島県の12市町村について、目指す将来像を提示するとともに、12市町村の復興の進捗情報と未来のビジョンについて共有する場。この場を活用し、帰還へのさらなる足がかりとする。常に最新の情報を提供するため、グラフィック、映像、実物展示などに対応したフレキシブルな展示システムとする。</p>	コメント
			仕様	
			サイズ	
解説文(案)			<p>展示内容</p> <p>A6-4 <input type="radio"/>解説映像 <input type="radio"/>12市町村の復興への取り組み(解説) <input type="radio"/>実物展示</p>	
			備考	

大項目: A6 復興への挑戦	小項目: A6-4 12市町村の復興への取り組み(新タイトル案)	アイテム: 解説映像	工種: コンテンツ
----------------	----------------------------------	------------	-----------

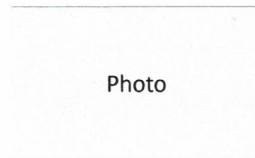
【コンテンツ仕様】 表示機器: 32inchモニター 映像尺: 約3分 映像フォーマット: Hi-Vision ナレーション: あり 音楽: あり 効果音: あり プログラム: センサースタート

展示のねらい 原子力発電所事故により避難を余儀なくされた福島県の12の市町村について、目指す将来像を提示するとともに、12市町村の復興の進捗状況と未来のビジョンについて共有する。

※今後の12市町村の復興への取り組みを踏まえコンテンツを制作する

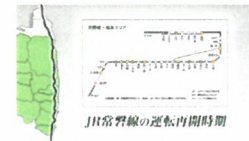


復興を続ける福島12市町村の現在。各市町村の未来へ向けた様々な取り組みの様子を、当事者のコメントやインフォメーショングラフィックを用いて展開。産業、教育、まちづくりの分野で元気ある地元の様子を紹介する。目指す将来像と復興の進捗を伝え、帰還へのさらなる足がかりとする。



Point 1

各パートに住民や当事者のコメントを挿入し、復興する様々な様子を、生の声を通して伝える。



Point 2

要所にインフォメーショングラフィックを用いて、誰にでもわかりやすい情報解説映像とする。

コメント

■映像展開イメージ

再生

プロローグ
「歩き出した12市町村」

避難指示の解除が徐々に進み、新たな一歩を踏み出した町の姿を映し出し、本編のプロローグとする。

一紹介項目—

- 復興の集い(富岡町)
- 川内の郷かえるマラソン(川内村)
- 浮船まつり(南相馬市)など

産業

農林水産業の再生
「ふたたび美味しい福島へ」

アシストスーツやロボット農機など先端技術を導入したスマート農業の様子など、農林水産業の新しい挑戦を紹介する。

一紹介項目—

- アシストスーツ
- ドローンによる農薬散布
- 環境制御型施設園芸 など

教育

様々な教育現場から
「未来を担う子どもたち」

避難指示解除にともない、次々と再開される小中学校や、合併されて新しく生まれ変わる高校など。未来を担う子どもたちの集う教育現場を紹介する。

一紹介項目—

- スポーツフェスタ開催(楢葉町)
- なみえ創成小・中学校再開(浪江町) など

生活

まちづくりの取り組み
「より安心に暮らす」

運行再開したJR常磐線などのインフラ、救急医療の体制を強化した消防署。新しくオープンした大型商業施設など、暮らしを支える町の様子を紹介する。

一紹介項目—

- JR常磐線運行再開
- 「さくらモールとみおか」開業(富岡町)
- 「まいでい館」開業(飯館村) など

No.	項目名 みらいの街	種類 コーナー解説	中項目 A6-5 みらいの街	大項目 A6 復興への挑戦
			<p>ねらい</p> <p>災害や事故を乗り越えて、これまで以上に魅力ある新たな街に生まれ変わる福島未来に期待し、展示の締めくくりとする。ここでは震災・原子力発電所事故後、様々な困難に遭い、未だ立ち直れない人、悩んでいる人、新しい一歩を踏み出した人、被災した方を応援する人など、様々な人々がいる中、来館者が「住んでみたい」と思い描く未来の街と一緒に想像してもらおう。</p>	コメント
			仕様	
			サイズ	
			<p>展示内容</p> <p>A6-5 ○実物展示 ★みんなで作るみらいの街(デジタルコンテンツ)</p>	
解説文(案)			備考	

大項目: A6 復興への挑戦	小項目: A6-5 미래の街	アイテム: ★みんなで作る未来の街	工種: デジタルコンテンツ
----------------	-----------------	-------------------	---------------

【コンテンツ仕様】 プロジェクター2台(テーブル、壁面)、制御用パソコン

展示のねらい 震災・原子力発電所事故後、様々な困難にあり、未だに立ち直れない人、悩んでいる人、新しい一歩を踏み出した人、被災した方を応援する人など、様々な人々がいる中、来館者が「住んでみたい」と思い描く未来の街と一緒に創造してもらおう。

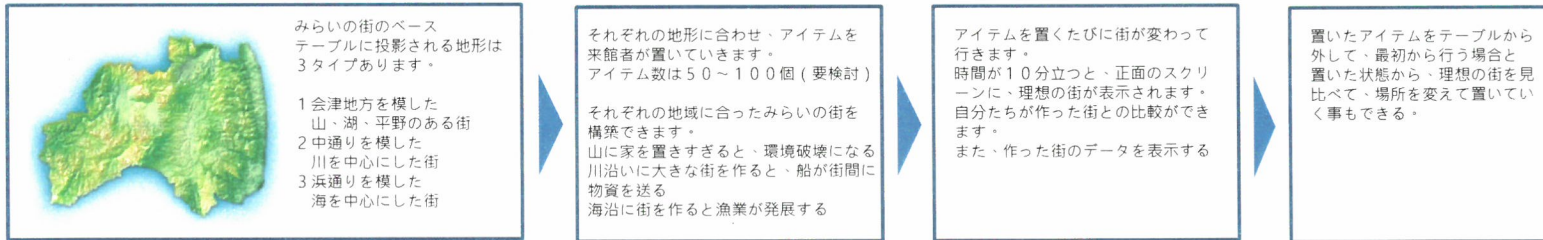
来館者が思う、「こうなったらいいな」という福島のみらいの街の姿を、デジタルメディアを使って、みんなで作り上げていきます。未来の街づくりは時間内でいくつかのオブジェ(家、電車、発電所等)をテーブル上に投影された地形に置くことで様々な街が出現します。

コメント

みんなで作る未来の街

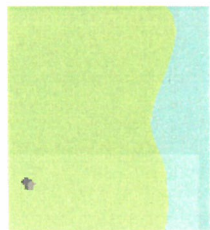
テーブルの上にアイテムを置いていきます。一人が置くと、アイテムを中心に街ができて上がる。他の来館者が、別の場所にアイテムを置くと街ができるが、他のアイテムと連携し、線路や道路が引かれ、電車やバスが走り出す。アイテムが増える事によって、街が大きくなっていく。福島の中期・長期の理想とするロードマップと来館者が作り上げた未来の街を比較を体験する。
※アイテムは何種類かの形と目的がある

コンテンツの流れ
福島の長期ロードマップに関連した未来の街を作る

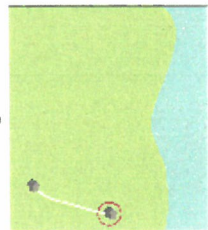


テーブル面に町並みをプロジェクターで投射
壁面は現在の街の様子を数値化して投射する

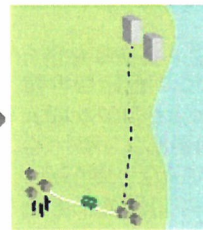
※一人だけの意見が大幅に他に影響を与えないため、同一アイテム使用は1回限り(何件も同じ建物を立てられない)。
※目的を明確にするために、自分の街タイプの街アイテムだけを操作させるのか、どれを選べばいいのかを考える
部分も含めて自由にさせる。



来館者の一人がテーブルにアイテムを置き
ます。そこには一つのビルが建ちあがりま
す。時間経過とともに、幾つかのビルや風
力発電所も建っていきます。アイテムを置
くポイントによって、ビルではなく、農場
やスポーツ施設ができます。

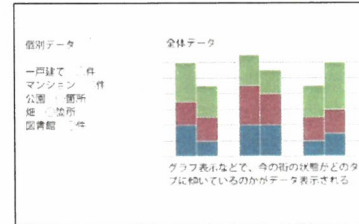


違う来館者がテーブルにアイテムを置き
ます。そうすると、街に線路ができて、
新しい街と繋がります。そして水素の自
動車が走るようになります。



街が繋がって行くと大きな街が形成され
ます。ある一定の配置によって、飛行場
や港もできていきます。置くアイテムが
無くなった場合、未来の街のデータが
記録され、再び新しい街を作ります。

壁面には、今の街の全体傾向データが表示される



No.	項目名 県民による復興への取り組み(チャレンジ!ふくしま)	種類 コーナー解説	中項目 A6-6 県民による復興への取り組み(チャレンジ!ふくしま)	大項目 A6 復興への挑戦
			<p>ねらい</p> <p>原子力災害によって住民に課せられた数々の課題。それを乗り越えるため、地元の特産や銘品などを再生させ、ブランドとして価値向上させるなど、前向きに復興へ踏み出す数々のビジネスや生活の取り組みについてを紹介する。展示の内容については、随時更新可能とし、常に新しい取り組みを紹介するとともに、未来への県民の想いを伝える。</p>	コメント
			仕様	
			サイズ	
			解説文(案)	
			備考	

大項目: A6 復興への挑戦	小項目: A6-6 県民による復興への取り組み	アイテム: 未来への想いメッセージ	工種: 映像コンテンツ
----------------	-------------------------	-------------------	-------------

【コンテンツ仕様】 表示機器: 65inchモニター 映像尺: 3分 映像フォーマット: Hi-Vision ナレーション: なし 音楽: あり 効果音: あり 言語: 日本語のみ プログラム: センサースタート

展示のねらい 前向きに復興へ踏み出す方々のコメントで、未来への希望に満ちた想いを紹介する。

展開イメージ

※テーマは順不同、テーマに沿った資料映像にテーマ文字をテロップ表示、映像を見せた上で、関係する県民インタビューを流す。各テーマ20～30秒程度

オープニング: 県民の復興に寄せる想い タイトル映像短く

テーマ①観光の再生



テーマ①に関する県民インタビュー
候補: 観光名所、旅館・ホテル関係者 ※候補者未定

テーマ②農林水産業の再生



テーマ②に関する県民インタビュー
候補: 米作りを再開した農家
試験操業を続ける漁師 ※候補者未定

テーマ③故郷のにぎわい創出

Photo

Photo

テーマ③に関する県民インタビュー
候補: 故郷に帰還し事業を再開した人
○○○○○○○○○、○○○○○○○○○

テーマ④伝統文化の継承



テーマ④に関する県民インタビュー
候補: 伝統産業や祭りの継承に取り組む人たち
浪江の田植え踊り、大堀相馬焼など ※候補者未定

テーマ⑤福島食と日本酒



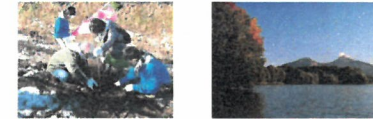
テーマ⑤に関する県民インタビュー
候補: 金賞受賞の日本酒の蔵元 ※候補者未定

テーマ⑥新しい産業の創出



テーマ⑥に関する県民インタビュー
候補: ロボットテストフィールドや
○○○○○○○○○○○○○○○○○○ など

テーマ⑦美しい自然環境の保全



テーマ⑦に関する県民インタビュー
※候補者未定

<エンディング>

※様々な映像バックに
「私たちは震災と原発事故を乗り越え
未来に向かって歩んでいきます」的なコメント

コメント

大項目:A6 復興への挑戦	小項目:A6-1 行政による復興への取り組み A6-6 みらいの街	展示区分:実物資料	資料区分:復興への取り組みや、「みらい」が伝わる資料
---------------	--------------------------------------	-----------	----------------------------

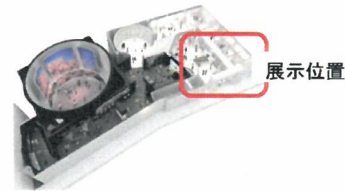
資料区分理由:継続する復興への新たな取り組みや、地域の子供たちが考えた「みらい」が伝わる資料。

A6-1 行政による復興への取り組み

復興に関する県内の取り組みに関する最新情報を届ける。除染の進捗や県内産業の復興、新しいまちづくりに関する情報など、更新可能な展示システムとすることで、常に復興に関する新しい情報を得られる場所にする。また、災害の発生からこれまでの復興の歩みについても紹介する。

A6-6 みらいの街

災害や事故を乗り越えて、これまで以上に魅力ある新たな街に生まれ変わる福島の実現に期待し、展示の締めくくりとする。ここでは震災・原子力発電所事故後、様々な困難に遭い、未だ立ち直れない人、悩んでいる人、新しい一歩を踏み出した人、被災した方を応援する人など、様々な人々がいる中、来館者が「住んでみたい」と思い描く未来の街と一緒に想像してもらおう。



・コメント

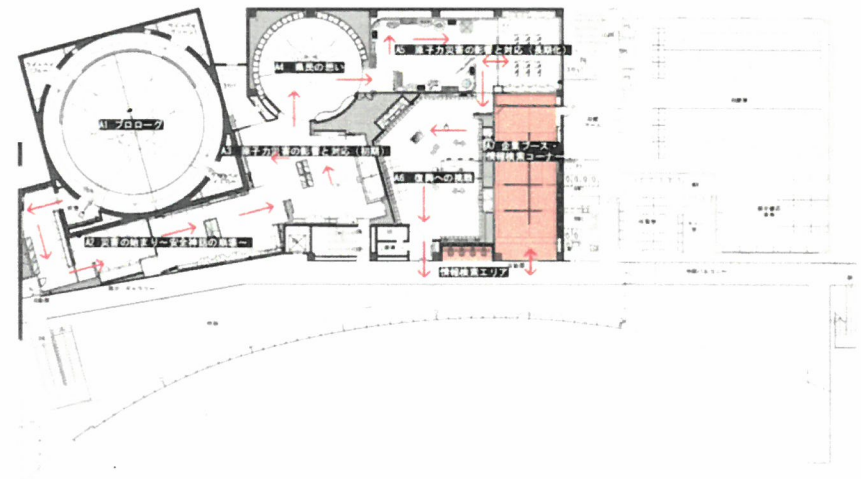
※実物資料候補については、未収集のものを含みます。収集可否の確認を含めて調整中のため、確定ではありません。

ゾーン	A6-1行政による復興への取り組み	ゾーン	A6-6みらいの街	ゾーン	A6-6みらいの街	ゾーン	A6-6みらいの街
NO.	189	NO.	190	NO.	191	NO.	192
資料名	・掃選支援アプリ及びチラシ	資料名	・子供が作る未来の街模型	資料名	・子供達が描いた『みらいのまち』の原画	資料名	・○○○の昔の街の様子模型
寸法W・H	W 210 × H 300	寸法	W900 x D600 h500/点	寸法	W1800 x D900	寸法	W1000 x D1000 h200
保全・収集	○ ○ / ○ ○ ○ ○ ○	保全・収集	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ・FURE	保全・収集	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ・FURE	保全・収集	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ・FURE
出典・備考	※ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ 掃選支援アプリ チラシ(A4表のみ)	出典・備考	※ ○ ○ の子供達が描いた『みらいのまち』の原画を地図上に配置後、子供たちが模型を作った。	出典・備考	※ ○ ○ の子供達が描いた『みらいのまち』の原画を地図上に配置後、子供たちが模型を作った。	出典・備考	※ ○ ○ ○ ○ 6点1組

「みらいの街」デジタルコンテンツの参考に来館者に利用してほしいため、確定としたい。
※類似作品があれば差替検討

「みらいの街」デジタルコンテンツの参考に来館者に利用してほしいため、確定としたい。
※類似作品があれば差替検討

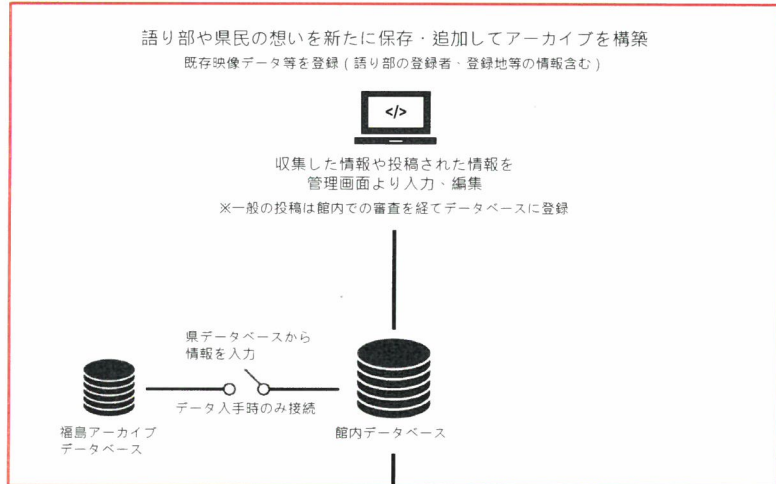
A 7. 企業ブース・情報検索コーナー



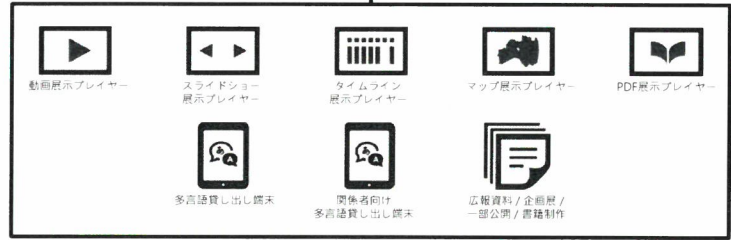
大項目: A7 企業ブース・情報検索コーナー	小項目: A7-1 情報コーナー	アイテム: デジタルアーカイブ	工種: タッチパネルコンテンツ及び館内構築データベースシステム
------------------------	------------------	-----------------	---------------------------------

【コンテンツ仕様】 24インチタッチパネル4台、パソコン4台、館内サーバーシステム3セット

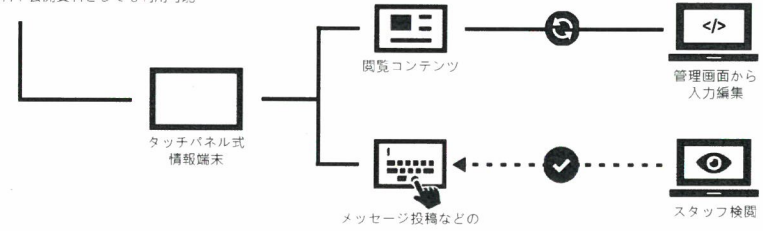
展示のねらい デジタルアーカイブの情報を来館者に提供し、資料によっては資料閲覧室での確認を可能とする。また、東日本大震災・原子力災害は、社会にスマートフォンが普及してからはじめての大規模災害だったこともあり、県民の多くが位置情報を持った写真や動画を撮影していることが想定されるため、そのデータの連携も考慮する。



語り継ぐべき被災地域や復興を牽引する企業・団体の取り組みを紹介し、震災の記憶や、未来に向かうふくしまの姿を動画や写真でみせる、スマートフォン及びタブレット向けに公開された「ふくしま記憶と未来体験アプリ」のデータをアーカイブとして保存します。



各館内端末運動・更新・公開機能
 体験型各館内端末と連携します。編集・更新・入れ替え、タイムテーブルなどの設定が可能。アーカイブデータを広報資料や公開資料としても利用可能。



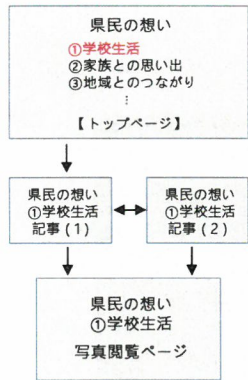
情報検索 (県民の想い)

コメント

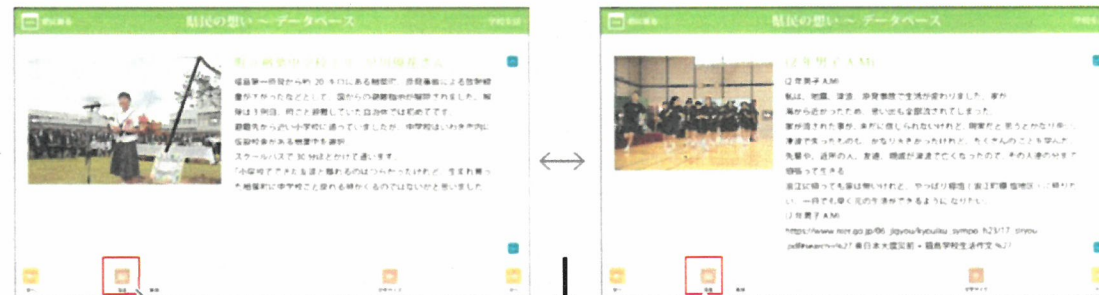
大項目: A7 企業ブース・情報検索コーナー	小項目: A7-1 情報コーナー	アイテム: デジタルアーカイブ	工種: タッチパネルコンテンツ及び館内構築データベースシステム
------------------------	------------------	-----------------	---------------------------------

【コンテンツ仕様】 24インチタッチパネル4台、パソコン4台、館内サーバーシステム3セット

展示のねらい デジタルアーカイブの情報を来館者に提供し、資料によっては資料閲覧室での確認を可能とする。また、東日本大震災・原子力災害は、社会にスマートフォンが普及してからはじめての大規模災害だったこともあり、県民の多くが位置情報を持った写真や動画を撮影していることが想定されるため、そのデータの連携も考慮する。



- ・「県民の想い」に関する記事、写真などを表示
- ・情報量が多い画面は上下にスクロールして表示可能
- ・左右下のアイコンで画面の切り替えが可能



文字の大きさや切り替えることが可能



管理画面から表示するテキスト、写真など編集可能



- ・トップ/待機画面
- ・見たい項目をタッチして選択



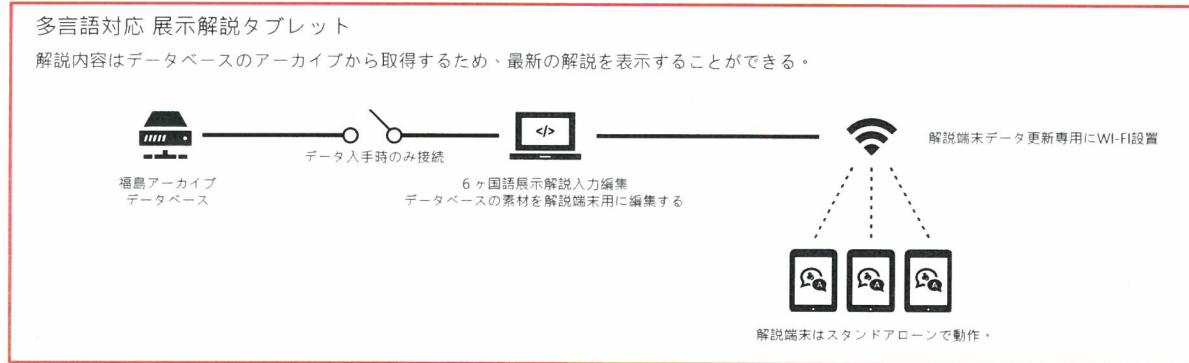
- ・「観光の取り組み」をテキスト、写真で紹介
- ・左右下のアイコンで画面切り替え
- ・情報量が多いものは画面の上下スクロール可能

コメント

大項目: A8 館内共通	小項目: A8-1 展示解説タブレット	アイテム: 展示解説タブレット	工種: タブレットによる解説
--------------	---------------------	-----------------	----------------

【コンテンツ仕様】 館内Wi-Fi構築、10インチタブレット50台

展示のねらい 貸出用のタブレットにより、多言語対応、展示の詳細解説等を可能にする。館内データベース・サーバーより常に最新のデータを読み出し、各国の来館者の情報を伝える。



コメント

言語選択画面



日本語・英語・中文（簡体字）・中文（繁体字）
韓国・仏・露など6ヶ国語をベースに外国語対応する

※外国語対応に加え、タブレット解説に「子ども用解説」を追加する。

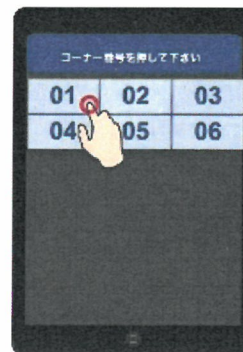
※グラフィック上はタイトルのみを多言語表記として、解説文はタブレットで画面・音声で対応、タイトルを何言語表示するかはデザインバランスを見て検討する。

コーナー選択画面



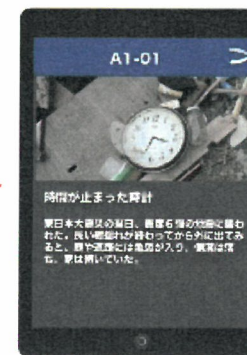
館内のコーナーを一覧表示し、自分のいるコーナーを選択する

アイテム選択画面



アイテムの番号を打ち込む、もしくはアイテム名を選択

解説表示画面



見たい内容の画像もしくは動画を表示して、解説文を表示する。音声の再生も可能。その場合はイヤホン等別途用意



イヤホンを用意することで、フロログ映像の各国語の音声を聞くことが可能です。
※映像に合わせてボタンを押すことで始まります。